
MassPlan_{for} ARCHICAD

リファレンスマニュアル

(Windows 版及び Mac 版共通)

(Archicad28 対応版 Ver14)

目次

1 システムについて	1
1-1 はじめに	2
1-1-1 主な機能	2
1-1-2 本リファレンスマニュアルについて	3
2 システムの操作	5
2-1 本システムの起動と終了	6
2-1-1 本システムを起動する	6
2-1-2 本システムを終了する	6
3 メインパレット	7
3-1 メインパレットについて	8
4 ゾーン集計/モルフ集計	9
4-1 はじめに	10
4-2 ゾーン集計/モルフ集計サブパレット	10
4-3 ゾーン集計/モルフ集計のワークフロー	11
4-4 ゾーン集計/モルフ集計の対象となる Archicad の要素	12
4-4-1 ゾーン集計の対象となるゾーン	12
4-4-2 モルフ集計の対象となるモルフ	13
4-5 変換テーブルを編集	14
4-5-1 「変換テーブル」ダイアログ	14
4-5-2 変換テーブルを追加する	15
4-5-3 変換テーブルの名前を変更する	15
4-5-4 変換テーブルを削除する	15
4-5-5 集計項目リスト	16
4-5-6 ゾーンカテゴリリスト	16
4-5-7 集計項目の集計対象を割り当てる	17
4-5-8 任意の名前の集計項目を追加する	18
4-5-9 ゾーンカテゴリリストと集計項目を一致させる	19
4-5-10 集計項目テンプレートを作成する	20
4-5-11 集計項目テンプレートから集計項目を設定する	20
4-5-12 集計項目からテンプレートを作成する	22
4-5-13 集計項目を削除する	23
4-5-14 ゾーンカテゴリリストを更新する	23
4-5-15 変換テーブルをインポートする	24
4-5-16 変換テーブルをエクスポートする	25
4-6 Easy	26
4-6-1 テンプレートを作成する	26
4-6-2 テンプレートを読み込む	27
4-7 ゾーン集計を実行/モルフ集計を実行	29
4-7-1 ゾーン集計/モルフ集計を実行する	29

4-8 リストパレットを表示	30
4-8-1 「集計」ダイアログー「概要」タブ	30
4-8-2 「集計」ダイアログー「詳細」タブ	31
4-9 表出力	32
4-9-1 「表出力」ダイアログ	32
4-9-2 Excel 形式で出力する	33
4-9-3 CSV 形式で出力する	35
4-9-4 ワークシートに出力する	37
4-10 環境設定	38
4-10-1 「環境設定」ダイアログ	38
4-10-2 「環境設定」ダイアログー「参照」タブ	39
4-10-3 「環境設定」ダイアログー「面積」タブ	40
4-10-4 「環境設定」ダイアログー「階」タブ	41
4-10-5 「環境設定」ダイアログー「ワークシート」タブ	45
4-11 エlementに変換	46
4-11-1 「Element変換の設定」ダイアログ(ゾーン集計)	46
4-11-2 「Element変換の設定」ダイアログ(モルフ集計)	49
4-11-3 「Elementに変換」によって作成される各要素	51
4-11-4 「Elementに変換」によって削除される各Element	60
4-11-5 「属性解除」について	60
4-11-6 「お気に入り」を選択する	61
4-11-7 外壁を作成する	62
4-11-8 窓を作成する	63
4-11-9 カーテンウォールを作成する	66
4-11-10 外壁を削除する	68
4-11-11 内壁を作成する	69
4-11-12 内壁を削除する	70
4-11-13 スラブを作成する	71
4-11-14 スラブを削除する	73
4-11-15 ゾーンを作成する	74
4-11-16 ゾーンを削除する	76
5 カテゴリ集計	77
5-1 はじめに	78
5-2 カテゴリ集計サブパレット	78
5-3 カテゴリ集計のワークフロー	79
5-4 カテゴリ集計の準備	80
5-4-1 プロジェクトファイルを保存する	80
5-4-2 ゾーンをカテゴリ集計に反映する	80
5-4-3 カテゴリ集計テンプレートファイルについて	80
5-4-4 カテゴリ集計テンプレートを作成する	81
5-5 分類項目の編集	83
5-5-1 「分類項目の編集」ダイアログ	83
5-5-2 大分類を追加する	84

5-5-3 中分類を追加する	85
5-5-4 中分類を削除する	86
5-5-5 小分類を追加する	86
5-5-6 小分類を削除する	87
5-5-7 分類項目の設定をカテゴリ集計テンプレートに反映する	87
5-6 リストパレットを表示	88
5-6-1 「集計」ダイアログ	88
5-6-2 大分類を設定する	89
5-6-3 中分類を設定する	89
5-6-4 小分類を設定する	89
5-7 分類自動設定	90
5-7-1 分類項目の自動設定とゾーンの関係	90
5-7-2 分類項目を自動設定する	91
5-8 Excel 出力	92
5-8-1 カテゴリ集計結果を出力する	92
5-8-2 出力ファイルについて	93
5-9 環境設定	94
5-9-1 「環境設定」ダイアログ	94
5-10 チームワークでの利用について	95
6 干渉チェック	97
6-1 はじめに	98
6-2 干渉チェックサブパレット	98
6-3 干渉チェックのワークフロー	99
6-4 干渉チェックを実行	100
6-4-1 「干渉チェック」ダイアログ	100
6-4-2 干渉チェックを実行する	100
6-4-3 重複	101
6-4-4 隙間	101
6-4-5 離れ	102
6-4-6 線上	103
6-4-7 線上以外	103
6-5 基準線チェックを実行	104
6-5-1 「基準線チェックの設定」ダイアログ	104
6-5-2 基準線チェックを実行する	104
6-5-3 ゾーンをチェックする	105
6-5-4 スラブをチェックする	106
6-5-5 壁をチェックする	107
6-5-6 カーテンウォールをチェックする	109
6-6 リストパレットを表示	111
6-6-1 「干渉チェックリスト」ダイアログ	111
6-6-2 チェック結果を確認する	111
6-7 削除	112
6-7-1 チェック結果塗りつぶしを削除する	112

6-8 環境設定	113
6-8-1 「環境設定」ダイアログ	113
7 ゾーン更新	115
7-1 はじめに	116
7-2 「ゾーン更新」サブパレット	116
7-3 ゾーン更新のワークフロー	117
7-4 取得	118
7-4-1 ゾーンを取得する	118
7-5 リストパレットを表示	118
7-5-1 「ゾーン更新リスト」ダイアログ	118
7-5-2 ゾーン取得結果を確認する	119
7-5-3 ゾーンの「組み立て法」を変更する	119
8 建具配置計画	121
8-1 はじめに	122
8-2 「建具配置計画」サブパレット	122
8-3 建具配置計画のワークフロー	123
8-4 建具テーブル編集	124
8-4-1 「建具の編集」ダイアログ	124
8-4-2 登録建具を Archicad Library より追加する	125
8-4-3 登録建具をお気に入りより追加する	126
8-4-4 登録建具を Archicad Library より選択して変更する	127
8-4-5 登録済みの登録建具をお気に入りから選択して変更する	127
8-4-6 登録建具を削除する	128
8-5 建具を選択	129
8-5-1 配置する登録建具を選択する	129
8-6 配置	130
8-6-1 ゾーンに建具を配置する	130
8-7 リストパレットを表示	131
8-7-1 「建具リスト」ダイアログ	131
8-7-2 「距離」の基点について	131
8-7-3 配置建具の「距離」を変更する	132
8-7-4 配置建具の「幅」を変更する	132
8-7-5 配置建具の「高さ」を変更する	133
8-7-6 配置建具の「記号」を変更する	134
8-7-7 配置建具の「番号」を変更する	134
8-7-8 寸法線を非表示にする	135
8-7-9 寸法線を反転する	135
8-8 寸法線表示を切替	136
8-8-1 寸法線表示を切り替える	136
8-9 変換	137
8-9-1 「変換の設定」ダイアログ	137
8-9-2 「変換」によって作成される各要素	138

8-9-3 「変換」によって削除される各要素	139
8-9-4 「お気に入り」を選択する.....	140
8-9-5 外壁を作成する	141
8-9-6 外壁を削除する	141
8-9-7 内壁を作成する	142
8-9-8 内壁を削除する	142
8-10 環境設定.....	143
8-10-1 「環境設定」ダイアログ.....	143
9 その他.....	145
9-1 体験版の制限	146
9-2 各種設定ファイルの保存場所.....	146
9-3 サポートに関して.....	146

1 システムについて

1-1 はじめに

- 「MassPlan for ARCHICAD」(以下、本システムという)は Archicad のアドオンプログラムです。
- ゾーンまたはモルフを基にしたボリューム検討や、面積集計を行うことができます。
- Archicad の要素の干渉チェックを行うことができます。
- ゾーンの作成方法の一括管理や、ゾーンへの建具配置を行うことができます。

1-1-1 主な機能

- 本システムの主な機能は以下の通りです。

面積集計

ゾーン集計

ゾーンを基に面積を集計します
ゾーンを基に壁等の要素を自動作成します

モルフ集計

モルフを基に面積を集計します
モルフを基に壁等の要素を自動作成します

カテゴリ集計

ゾーン名及びゾーンカテゴリを基に、カテゴリの面積を集計します

干渉チェック

干渉チェック

ゾーン同士の干渉、またはゾーン・スラブ・壁・カーテンウォールの基準線からのズレをチェックします

ゾーンアシスト

ゾーン更新

ゾーンの組み立て法を変更します

建具配置計画

ゾーンに建具を配置し、壁エレメントを自動作成します

1-1-2 本リファレンスマニュアルについて

- 本リファレンスマニュアルは Windows 版/Mac 版共通です。
- 本リファレンスマニュアルの画面廻りの画像は、Windows 版での表示です。
- 本リファレンスマニュアルは、体験版と共通です。
- 本システムをインストールすると Archicad ヘルプメニュー/ドキュメント内に本リファレンスマニュアルが登録されます。

2 システムの操作

2-1 本システムの起動と終了

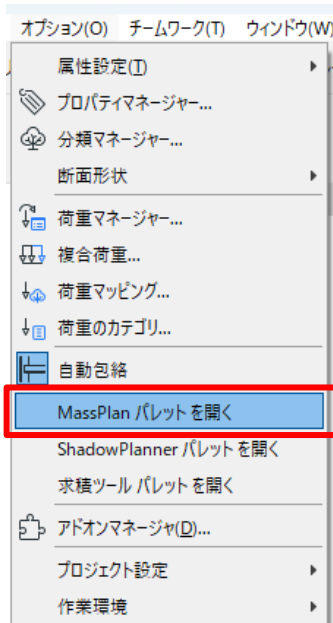
2-1-1 本システムを起動する

○ Archicad メニューから起動します。

[操作手順]

- 1) Archicad オプションメニューより、「MassPlan パレットを開く」を選択します。
- 2) 本システムのメインパレットが開きます。

2-1-1-1 Archicad オプションメニュー



2-1-1-2 メインパレット



2-1-2 本システムを終了する

- Archicad オプションメニューより、「MassPlan パレットを閉じる」を選択します。
- メインパレットの「×」を選択します。

3 メインパレット

3-1 メインパレットについて

○ メインパレットより、メニューを選択すると、各メニューのサブパレットが開きます。



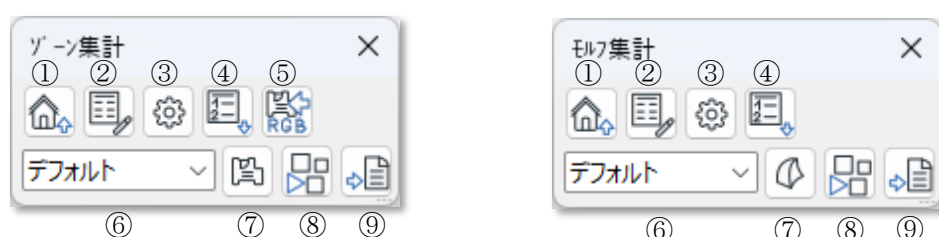
番号	項目名	概要
①	ゾーン集計	ゾーンカテゴリに対して集計項目及び法規属性を設定し、ゾーンの面積を集計します ゾーンを基に、壁・カーテンウォール・スラブ各要素を自動作成します
②	モルフ集計	ゾーンカテゴリに対して集計項目及び法規属性を設定し、モルフにゾーンカテゴリを割り当てて、モルフの面積を集計します モルフを基に、壁・カーテンウォール・スラブ各要素を自動作成します
③	カテゴリ集計	ゾーンカテゴリベースの分類項目毎に、ゾーンの面積を集計します ※Windows 版のみの機能です
④	干渉チェック	ゾーン・壁・カーテンウォール・スラブ各要素の干渉または基準線からのズレをチェックします
⑤	ゾーン更新	ゾーンの「組み立て法」を一括管理します
⑥	建具配置計画	ゾーンに建具を配置し、壁を自動作成します

4 ゾーン集計/モルフ集計

4-1 はじめに

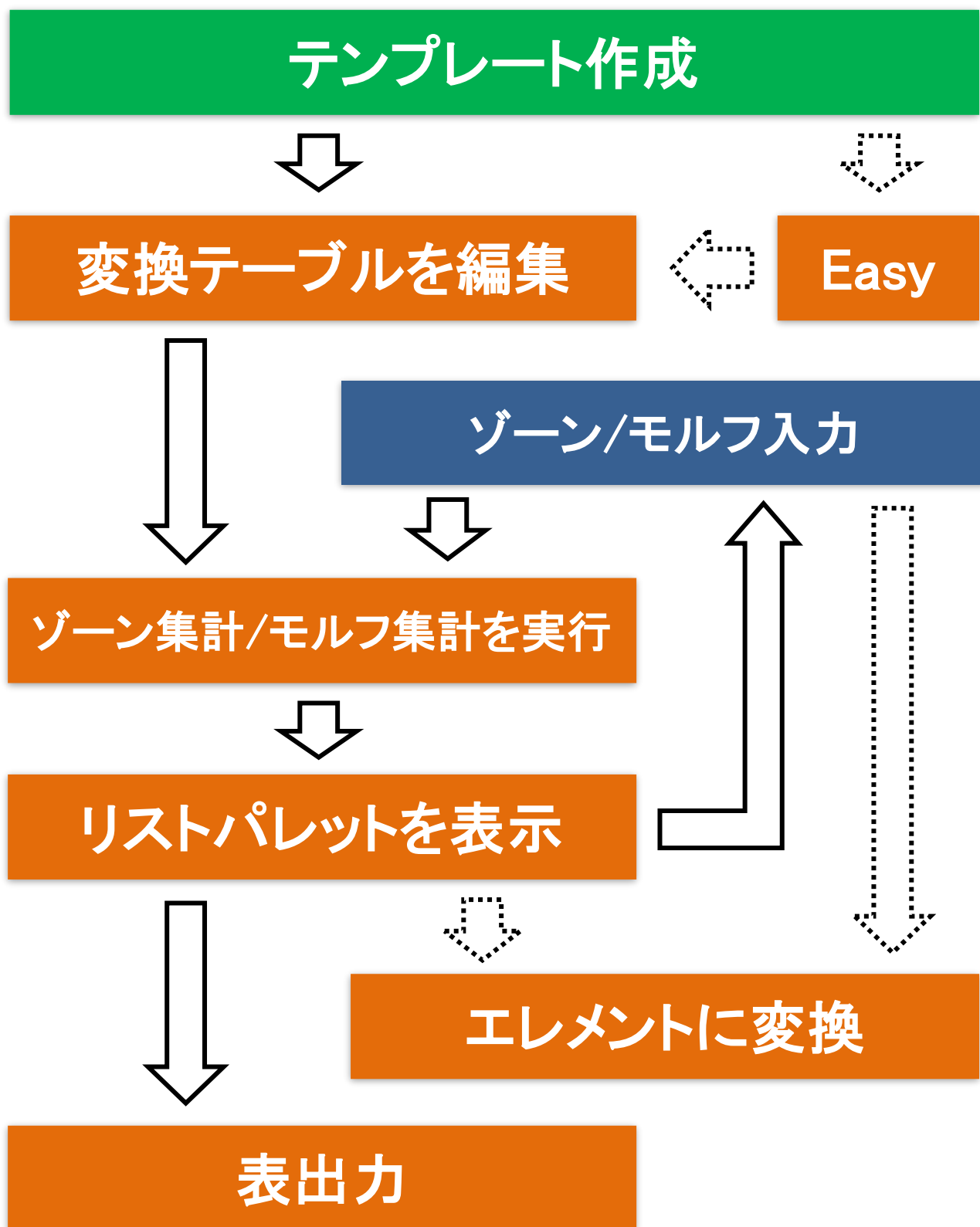
- ゾーンカテゴリに対して集計項目及び法規属性を設定し、ゾーンまたはモルフの面積を集計します。
- 建蔽率及び容積率による、許容建築面積及び許容床面積の確認、容積率のチェックが可能です。
- ゾーンまたはモルフを基に、壁・カーテンウォール・スラブ・ゾーン各要素及び窓オブジェクトを自動作成します。
- Excel データを読み込み、ゾーンカテゴリを作成することができます。

4-2 ゾーン集計 / モルフ集計 サブパレット



番号	項目名	概要
①	メインパレットに戻る	メインパレットに戻ります
②	変換テーブルを編集	集計項目や集計対象となるゾーンカテゴリの設定を行います
③	環境設定	各種設定を行います
④	リストパレットを表示	面積集計概要及び面積集計の詳細を表示します
⑤	Easy	Excel データからゾーンカテゴリを読み込み、変換テーブルを作成します ※ゾーン集計のみの機能です
⑥	テーブルの選択	変換テーブルを選択します
⑦	ゾーン集計を実行 モルフ集計を実行	ゾーンによる面積集計を実行します
⑧	エレメントに変換	ゾーンまたはモルフを基に壁・カーテンウォール・スラブ・ゾーン各要素及び窓オブジェクトを自動作成します
⑨	表出力	面積集計結果を出力します

4-3 ゾーン集計 / モルフ集計 のワークフロー



・凡例



:本システムの操作



:Excel の操作



:Archicad の操作

4-4 ゾーン集計 / モルフ集計の対象となる Archicad の要素

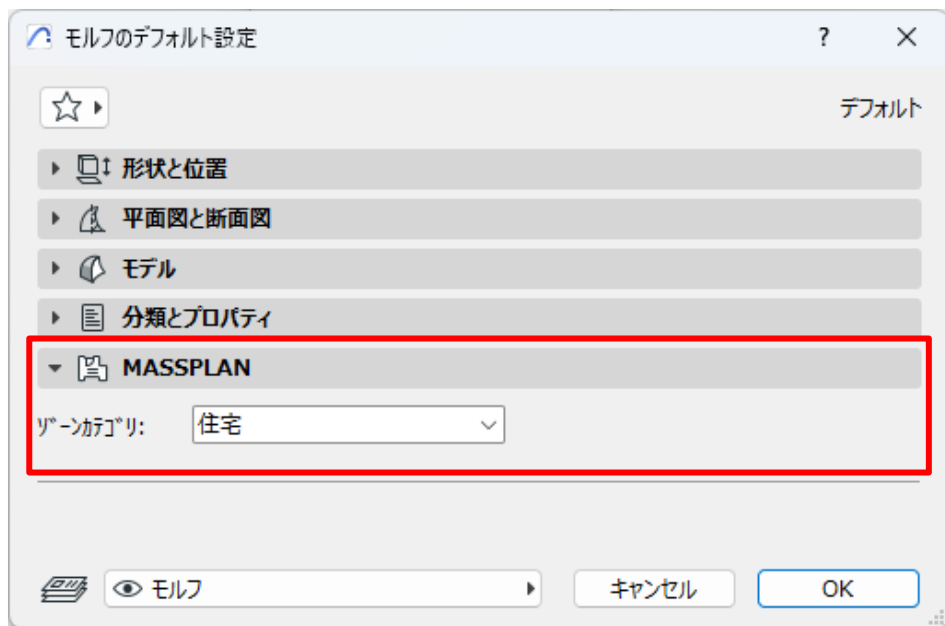
4-4-1 ゾーン集計の対象となるゾーン

- 集計項目の対象となるゾーンカテゴリのゾーンが集計対象です。
- 選択しているビューで表示しているレイヤーのゾーンが集計対象です。
- 集計対象となるレイヤーの設定は下表の通りです。

平面図ビューでの レイヤー設定	集計対象
	×
	○
	×
	○
	×
	○
	×
	○

4-4-2 モルフ集計の対象となるモルフ

- 「選択したモルフのデフォルト設定」で、「ゾーンカテゴリ」を割り当てたモルフが集計対象です。
- 「ゾーンカテゴリ」が「未設定」の場合は集計されません。



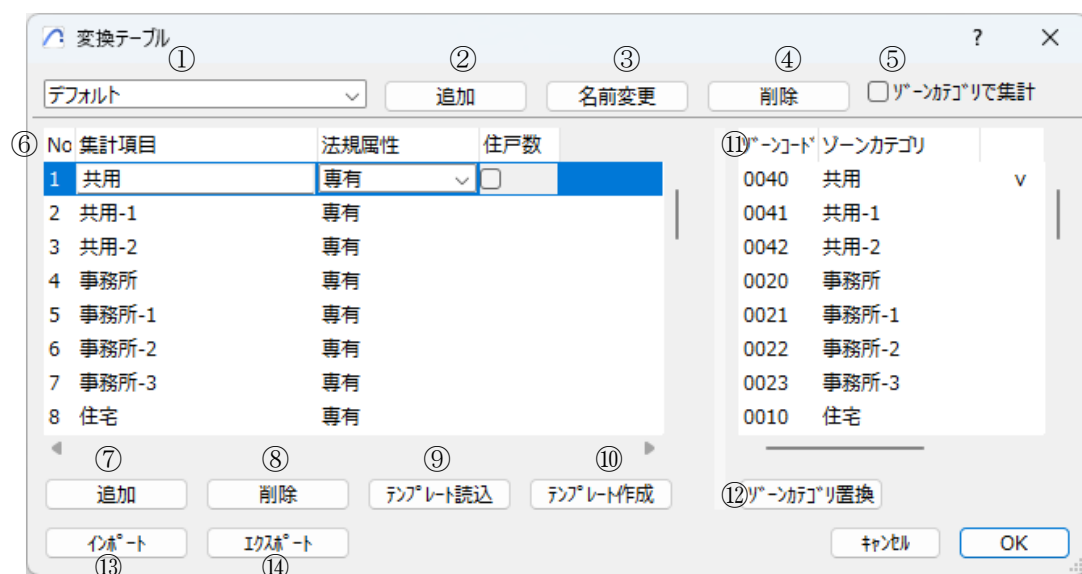
- 選択しているビューで表示しているレイヤーのゾーンが集計対象です。
- 集計対象となるレイヤーの設定は下表の通りです。

平面図ビューでの レイヤー設定	集計対象
	×
	○
	×
	○
	×
	○
	×
	○

4-5 変換テーブルを編集

- 集計項目及び法規属性を設定します。
- 集計項目に対して、集計対象となるゾーンカテゴリの設定を行います。

4-5-1 「変換テーブル」ダイアログ

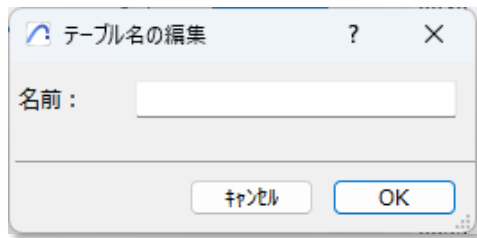


番号	項目名	概要
①	変換テーブル選択	編集する変換テーブルを選択します
②	追加	変換テーブルを追加します
③	名前変更	選択中の変換テーブルの名前を変更します
④	削除	選択中の変換テーブルを削除します
⑤	ゾーンカテゴリで集計	チェックを入れると、ゾーンカテゴリリストに表示中のゾーンカテゴリと同じ名前の集計項目を作成します
⑥	集計項目リスト	集計項目を設定します
⑦	追加	集計項目を追加します ※「ゾーンカテゴリで集計」にチェックが入っている場合、選択できません
⑧	削除	選択中の集計項目を削除します
⑨	テンプレート読込	Excel データから変換テーブルを読み込みます
⑩	テンプレート作成	選択中の変換テーブルのテンプレート Excel データを作成します
⑪	ゾーンカテゴリリスト	ゾーンカテゴリを集計項目に割り当てます ※「ゾーンカテゴリで集計」にチェックが入っている場合、割り当てられません
⑫	ゾーンカテゴリ置換	ゾーンカテゴリを、現在のゾーンカテゴリと置き換えます
⑬	インポート	MassPlan 変換テーブルファイル(.massplantable)をインポートします
⑭	エクスポート	MassPlan 変換テーブルファイル(.massplantable)をエクスポートします

4-5-2 変換テーブルを追加する

[操作手順]

- 1) 「追加」を選択します。
- 2) 「テーブル名の編集」ダイアログが開きます。

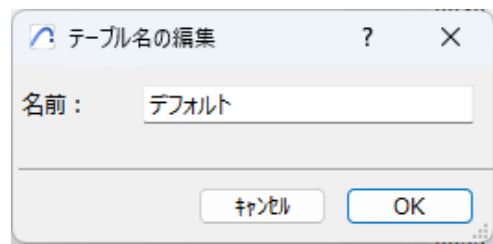


- 3) 追加する変換テーブルの名前を設定します。
- 4) 「OK」を選択します。

4-5-3 変換テーブルの名前を変更する

[操作手順]

- 1) 「変換テーブル選択」プルダウンメニューより、名前を変更する変換テーブルを選択します。
- 2) 「名前変更」を選択します。
- 3) 「テーブル名の編集」ダイアログが開きます。



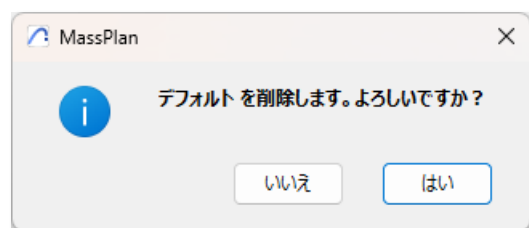
- 4) 変更する変換テーブルの名前を設定します。
- 5) 「OK」を選択します。

4-5-4 変換テーブルを削除する

- 変換テーブルが 2 つ以上ある場合に削除できます。

[操作手順]

- 1) 「変換テーブル選択」プルダウンメニューより、削除する変換テーブルを選択します。
- 2) 「削除」を選択します。
- 3) 確認ダイアログが開きます。



- 4) 「はい」を選択します。

4-5-5 集計項目リスト

① No	② 集計項目	③ 法規属性	④ 住戸数
1	専有1	対象外	☐
2	専有2	対象外	
3	専有3	対象外	
4	共用1	対象外	
5	共用2	対象外	
6	共用3	対象外	
7	共用4	対象外	
8	共用廊下等1	対象外	

番号	項目名	概要
①	No	集計項目 No です
②	集計項目名	面積を集計する項目名です ※「ゾーンカテゴリで集計」にチェックが入っている場合、編集できません
③	法規属性選択	法規属性を設定します
④	住戸数	チェックを入れると、ゾーンの数に住戸数として集計します

4-5-5-1 法規属性について

- 法規属性は下表の 4 項目から選択します。
- 選択した法規属性によって、計上される面積が異なります。

法規属性	床面積	延床面積	施工面積
専有	○	○	○
共用	×	○	○
共用廊下等	×	×	○
対象外	×	×	×

・凡例

- : 面積に計上される
- ×: 面積に計上されない

4-5-6 ゾーンカテゴリリスト

① ゾーンコード	② ゾーンカテゴリ	③	④ 集計項目
0010	住宅	✓	専有1
0011	住宅-1	✓	専有1
0012	住宅-2	✓	専有1
0013	住宅-3		専有2
0014	住宅-4		専有2
0015	住宅-5		専有3
0016	住宅-6		専有3
0020	事務所		

※ゾーンカテゴリの確認または編集は、Archicad オプションメニュー＞属性設定＞ゾーンカテゴリ、または属性マネージャーで行います。

番号	項目名	概要
①	ゾーンコード	カテゴリコードを表示します
②	ゾーンカテゴリ	ゾーンカテゴリ名を表示します
③	割り当て	ゾーンカテゴリを集計項目に割り当てます ※「ゾーンカテゴリで集計」にチェックが入っている場合、割り当てられません
④	集計項目	ゾーンカテゴリを割り当てた集計項目を表示します ※「ゾーンカテゴリで集計」にチェックが入っている場合、ゾーンカテゴリ名と集計項目名が一致します

4-5-7 集計項目の集計対象を割り当てる

○ ゾーンカテゴリリストから集計項目の集計対象を割り当てます。

[操作手順]

- 1) 「変換テーブル選択」プルダウンメニューより、集計対象を設定する変換テーブルを選択します。
- 2) 「集計項目リスト」より、集計対象を割り当てる集計項目を選択します。

ex.「専有 2」の集計対象を設定する場合

No	集計項目	法規属性	住戸数	ゾーンコード	ゾーンカテゴリ	集計項目
1	専有1	専有		0010	住宅	
2	専有2	専有	☐	0020	事務所	
3	専有3	専有		0030	店舗	
4	共用1	共用		0040	共用	
5	共用2	共用		0050	バルコニー	

- 3) 「ゾーンカテゴリリスト」より、集計対象とするゾーンカテゴリを選択します。

※ゾーンカテゴリは複数選択できます。

ex.ゾーンカテゴリ「事務所」を、「専有 2」の集計対象として割り当てる場合

No	集計項目	法規属性	住戸数	ゾーンコード	ゾーンカテゴリ	集計項目
1	専有1	専有		0010	住宅	
2	専有2	専有	☐	0020	事務所	☐
3	専有3	専有		0030	店舗	
4	共用1	共用		0040	共用	
5	共用2	共用		0050	バルコニー	

- 4) 選択したゾーンカテゴリの「割り当て」欄にチェックを入れます。

ex.ゾーンカテゴリ「事務所」を、「専有 2」の集計対象として割り当てる場合

No	集計項目	法規属性	住戸数	ゾーンコード	ゾーンカテゴリ	集計項目
1	専有1	専有		0010	住宅	
2	専有2	専有	☐	0020	事務所	☒ 専有2
3	専有3	専有		0030	店舗	
4	共用1	共用		0040	共用	
5	共用2	共用		0050	バルコニー	

4-5-8 任意の名前の集計項目を追加する

[操作手順]

- 1) 「変換テーブル選択」プルダウンメニューより、集計項目を追加する変換テーブルを選択します。
- 2) 「集計項目リスト」より、集計項目を追加する集計項目 No を選択します。

※集計項目 No を選択しない場合は、No1 に集計項目が追加されます。

ex. 集計項目 No4 に集計項目を追加する場合、No4 の集計項目を選択します。

No	集計項目	法規属性	住戸数
1	専有1	専有	
2	専有2	専有	
3	専有3	専有	
4	共用1	共用	☐
5	共用2	共用	
6	共用3	共用	

- 3) 「追加」を選択します。

ex. 集計項目 No4 に集計項目を追加した場合。

No	集計項目	法規属性	住戸数
1	専有1	専有	
2	専有2	専有	
3	専有3	専有	
4		専有	
5	共用1	共用	
6	共用2	共用	

- 4) 「集計項目リスト」より、追加した集計項目を選択し、任意の集計項目名を設定します。

ex. 追加した集計項目 No4 の集計項目名を設定。

No	集計項目	法規属性	住戸数
1	専有1	専有	
2	専有2	専有	
3	専有3	専有	
4		専有	☐
5	共用1	共用	
6	共用2	共用	

集計項目名を設定します

- 5) 「法規属性選択」プルダウンメニューより、法規属性を選択します。
- 6) 必要に応じて、「住戸数」にチェックを入れます。

4-5-9 ゾーンカテゴリリストと集計項目を一致させる

[操作手順]

- 1) 「変換テーブル選択」プルダウンメニューより、ゾーンカテゴリリストと集計項目を一致させる変換テーブルを選択します。
- 2) 「ゾーンカテゴリで集計」にチェックを入れます。

・「ゾーンカテゴリで集計」チェック無

The screenshot shows the '変換テーブル' (Conversion Table) dialog box. The 'ゾーンカテゴリで集計' (Summarize by Zone Category) checkbox is unchecked. The dialog contains two tables: a main table on the left and a summary table on the right.

No	集計項目	法規属性	住戸数
1	住宅	専有	
2	事務所	専有	
3	店舗	専有	
4	共用	専有	
5	バルコニー	専有	
6	駐車場	専有	

ゾーンコード	ゾーンカテゴリ	集計項目
0010	住宅	
0020	事務所	
0030	店舗	
0040	共用	
0050	バルコニー	
0060	駐車場	

・「ゾーンカテゴリで集計」チェック有

The screenshot shows the '変換テーブル' (Conversion Table) dialog box with the 'ゾーンカテゴリで集計' (Summarize by Zone Category) checkbox checked. The dialog contains two tables: a main table on the left and a summary table on the right. Red boxes highlight the '集計項目' (Summary Item) column in both tables, and red arrows point to the text below.

No	集計項目	法規属性	住戸数
1	共用	専有	
2	共用-1	専有	
3	共用-2	専有	
4	事務所	専有	
5	事務所-1	専有	
6	事務所-2	専有	

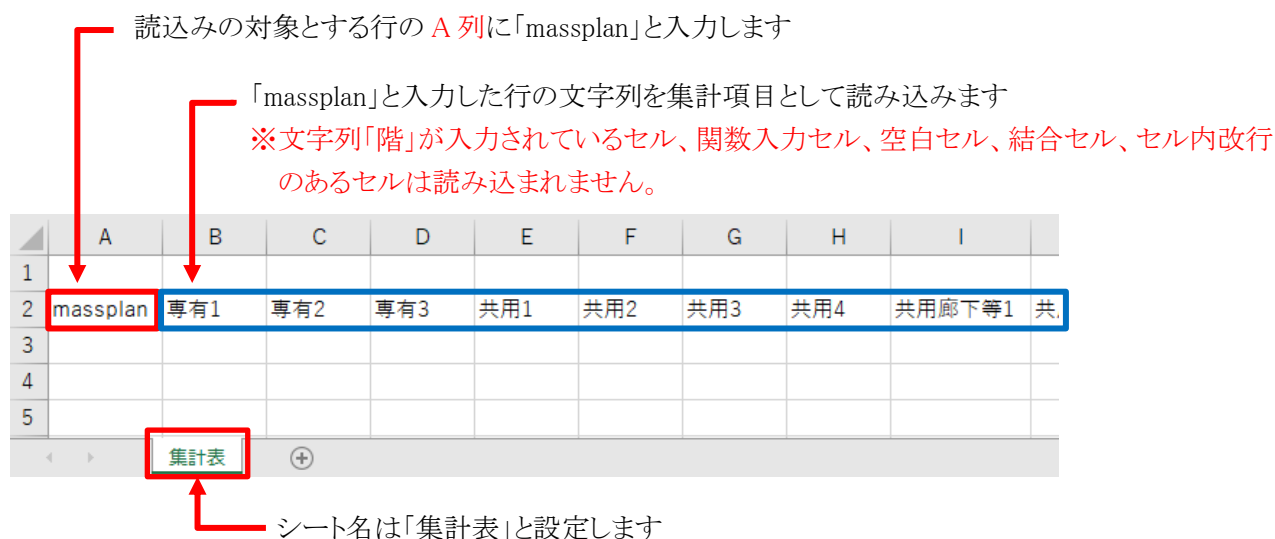
ゾーンコード	ゾーンカテゴリ	集計項目
0040	共用	共用
0041	共用-1	共用-1
0042	共用-2	共用-2
0020	事務所	事務所
0021	事務所-1	事務所-1
0022	事務所-2	事務所-2

集計項目名とゾーンカテゴリ名が一致します

名前が一致する集計項目が集計対象に設定されます

4-5-10 集計項目テンプレートを作成する

- Excel のシートの名称を「集計表」とします。
- A 列に「massplan」と入力した任意の行が読み込み対象となります。
- 表出力で Excel を選択すると、選択したテンプレートファイルに上書きして出力します。

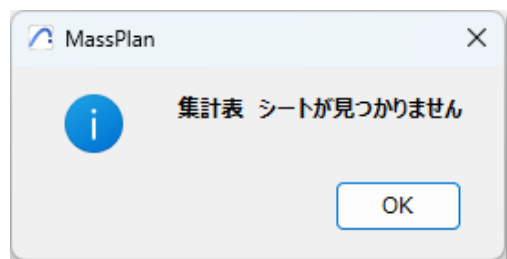


4-5-11 集計項目テンプレートから集計項目を設定する

- テンプレートファイル (.xls 形式または.xlsx 形式)を読み込みます。

[操作手順]

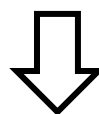
- 1) 「変換テーブル選択」プルダウンメニューより、集計項目を設定する変換テーブルを選択します。
- 2) 「テンプレート読込」を選択します。
- 3) 「ファイルを開く」ダイアログが開きます。
- 4) テンプレートファイルを選択します。
※デフォルト集計項目のテンプレートファイルは、Archicad インストールフォルダ > Add-Ons > EPCOT Software > MassPlan 内の、「集計項目テンプレート.xls」です。
- 5) 「開く」を選択します。
※選択したテンプレートファイルの A 列に「massplan」がない場合は、読み込みエラーになります。
※シート名に「集計表」がない場合、エラーメッセージが表示されます。



・テンプレートファイル読み込み前の変換テーブル

・読み込むテンプレートファイル サンプルテンプレート(「集計項目テンプレート.xls」)

7行目を読み込みます



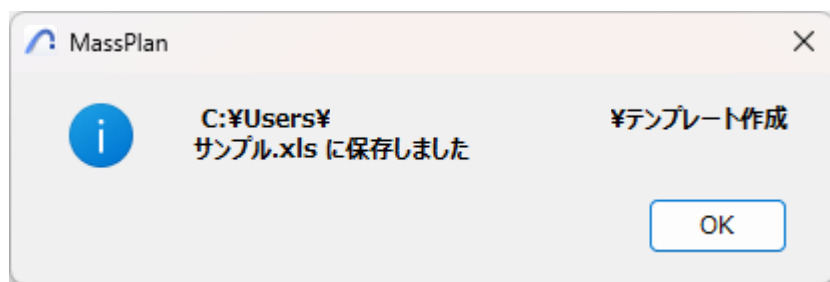
テンプレート読み込み

集計項目が設定されます

4-5-12 集計項目からテンプレートを作成する

[操作手順]

- 1) 「変換テーブル選択」プルダウンメニューより、テンプレートを作成する変換テーブルを選択します。
- 2) 「テンプレート作成」を選択します。
- 3) 「名前を付けて保存」ダイアログが開きます。
- 4) ファイル名を設定します。
- 5) 「保存」を選択します。
- 6) 確認ダイアログが開きます。

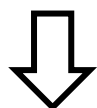


- 7) 「OK」を選択します。

4-5-12-1 作成されるテンプレートファイルについて

・テンプレートを作成する集計項目リスト

No	集計項目	法規属性	住戸数
1	A	専有	
2	B	専有	
3	C	専有	
4	D	専有	
5	E	専有	



A 列 1 行目に「massplan」セルが設定されます

1 行目に集計項目が設定されます

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	massplan	A	B	C	D	E		
2								
3								
4								
5								

集計表

「集計表」シートが設定されます

4-5-13 集計項目を削除する

[操作手順]

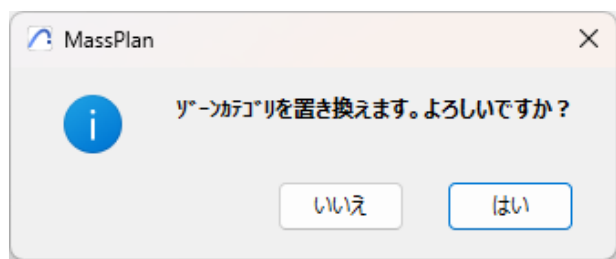
- 1) 「集計項目リスト」より、削除する集計項目を選択します。
- 2) 「削除」を選択します。

4-5-14 ゾーンカテゴリリストを更新する

○ゾーンカテゴリの追加・削除・変更がある場合に更新して下さい。

[操作手順]

- 1) 「変換テーブル選択」プルダウンメニューより、ゾーンカテゴリリストを更新する変換テーブルを選択します。
- 2) 「ゾーンカテゴリ置換」を選択します。
- 3) 確認ダイアログが開きます。



- 4) 「はい」を選択します。

・ゾーンカテゴリ変更前

ゾーンコード	ゾーンカテゴリ	集計項目
0010	住宅	
0020	事務所	
0030	店舗	
0040	共用	
0050	バルコニー	
0060	駐車場	

ゾーンカテゴリ置換

ゾーンカテゴリ				
	#		コード	名前
✓	1		0010	住宅
✓	2		0020	事務所
✓	3		0030	店舗
	4		0040	共用
	5		0050	バルコニー
	6		0060	駐車場
	7		0070	その他

※属性マネージャー

↓
「0010 住宅」の名前を変更
「0030 店舗」を削除

ゾーンコード	ゾーンカテゴリ	集計項目
0010	住宅	
0020	事務所	
0040	共用	
0050	バルコニー	
0060	駐車場	
0070	その他	

ゾーンカテゴリ置換

ゾーンカテゴリリストが更新されます

ゾーンカテゴリ				
	#		コード	名前
✓	1		0010	住宅1
✓	2		0020	事務所
	4		0040	共用
	5		0050	バルコニー
	6		0060	駐車場
	7		0070	その他

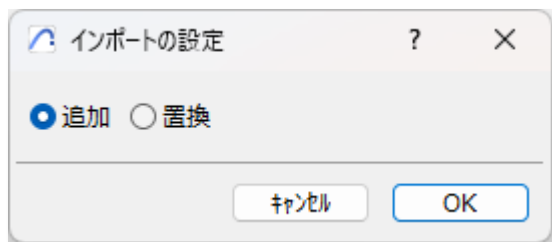
※属性マネージャー

4-5-15 変換テーブルをインポートする

○ MassPlan 変換テーブルファイル(.massplantable 形式)をインポートします。

[操作手順]

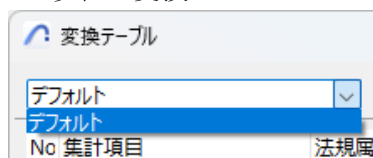
- 1) 「インポート」を選択します。
- 2) 「ファイルを開く」ダイアログを開きます。
- 3) インポートする MassPlan 変換テーブルファイルを選択します。
- 4) 「開く」を選択します。
- 5) 「インポートの設定」ダイアログが開きます。



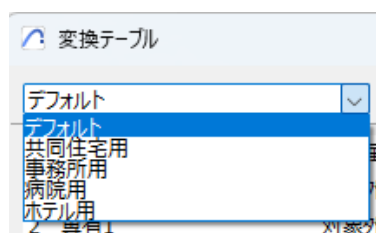
項目	内容
追加	現在の変換テーブルに追加します
置換	現在の変換テーブルと置換します

- 6) 「追加」または「置換」を選択します。
- 7) 「OK」を選択します。

・現在の変換テーブル



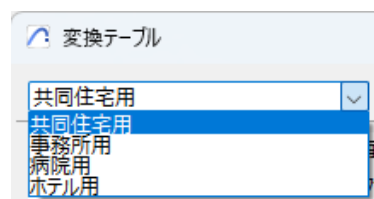
追加



現在の変換テーブルに、インポートした変換テーブルが追加されます。



置換



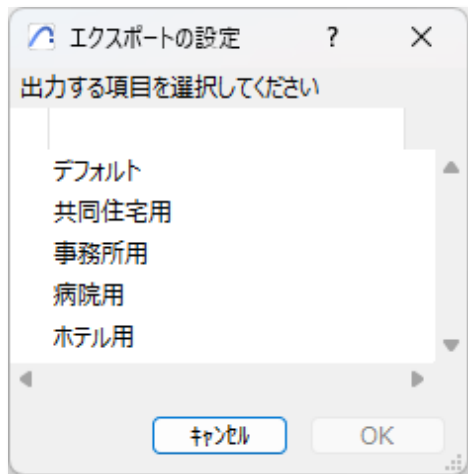
現在の変換テーブルと、インポートした変換テーブルが置き換わります。

4-5-16 変換テーブルをエクスポートする

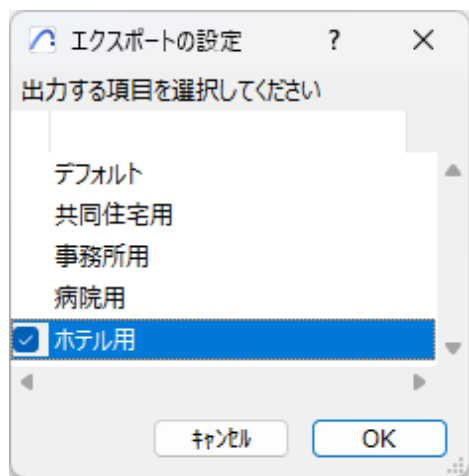
○ MassPlan 変換テーブルファイル(.massplantable 形式)をエクスポートします。

[操作手順]

- 1) 「エクスポート」を選択します。
- 2) 「エクスポートの設定」ダイアログが開きます。



- 3) エクスポートする変換テーブルを選択します。



- 4) 「OK」を選択します。
- 5) 「名前を付けて保存」ダイアログが開きます。
- 6) ファイル名を設定します。
- 7) 「保存」を選択します。

4-6 Easy

- Excel ファイルを読み込み、ゾーンカテゴリを一括で追加します。
- ゾーンカテゴリ名及びカテゴリカラーを設定可能です。
- 読込んだゾーンカテゴリでテーブルを作成します。
- ※ ゾーン集計のみの機能です。
- ※ Windows 版のみの機能です。

4-6-1 テンプレートを作成する

- Excel のシートの名称を「集計表」とします。
- A 列に「massplan」と入力した任意の行が読み込み対象となります。

読み込みの対象とする行の **A 列** に「massplan」と入力します

「massplan」と入力した行の文字列を集計項目及びゾーンカテゴリのゾーンカテゴリ名として、セルの色をゾーンカテゴリのゾーンカテゴリカラーとして読み込みます

文字列	集計項目、ゾーンカテゴリ名
セルの色	ゾーンカテゴリカラー

※文字列「階」が入力されているセル、関数入力セル、空白セル、結合セル、セル内改行のあるセルは読み込まれません。

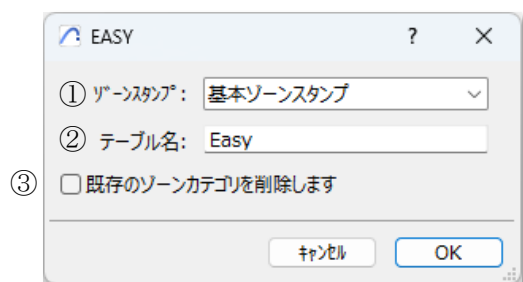
シート名は「集計表」と設定します

※ Archicad インストールフォルダ>Add-Ons>EPCOT Software>MassPlan 内の、「Easy テンプレート.xls」を参照して下さい。

4-6-2 テンプレートを読み込む

[操作手順]

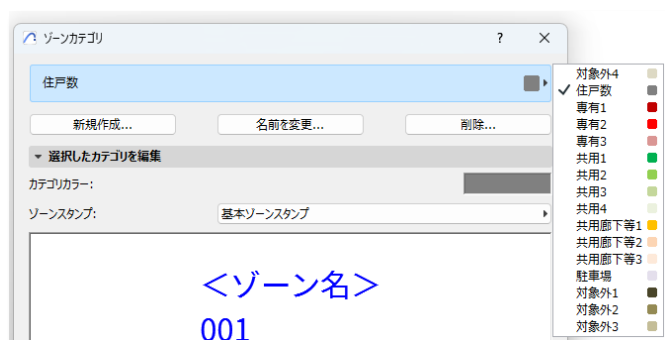
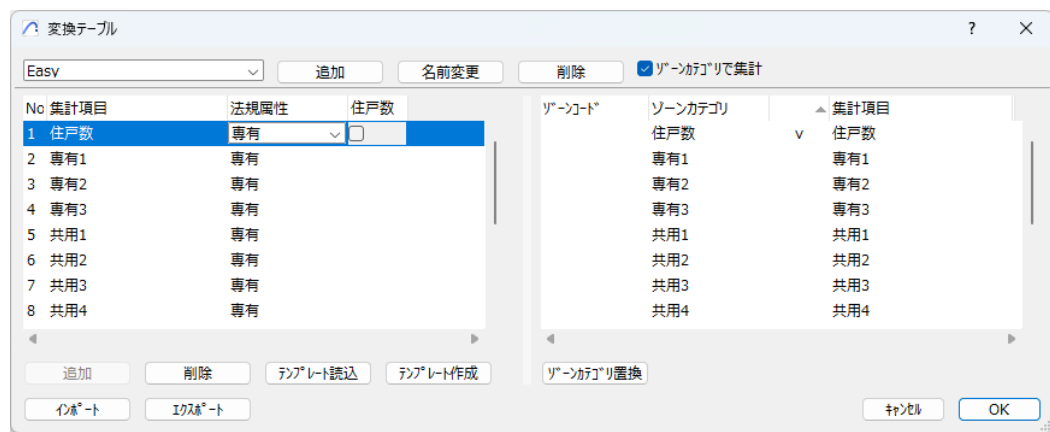
- 1) 読み込みを行う Excel ファイルを選択します。
- 2) 「EASY」ダイアログが開きます。



番号	項目名	概要
①	ゾーンスタンプ	追加するゾーンカテゴリのゾーンスタンプを、Archicad に登録されているゾーンスタンプから選択します
②	テーブル名	作成する変換テーブル名を設定します
③	既存のゾーンカテゴリを削除します	チェックを入れると、既存のゾーンカテゴリを削除します

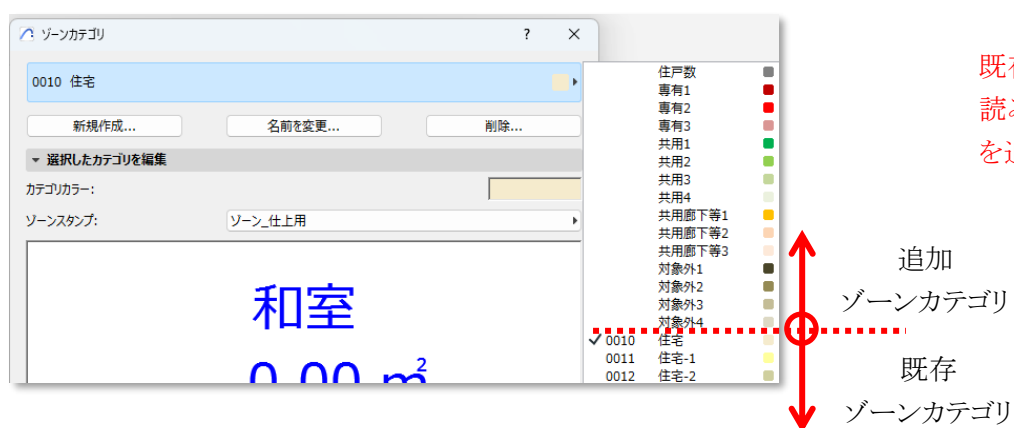
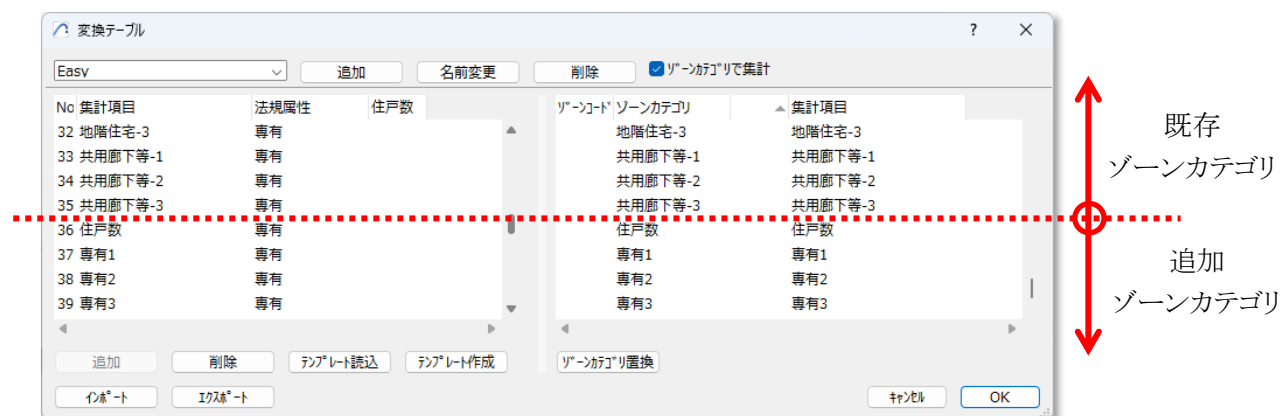
- 3) 設定を確認し、「OK」を選択します。
- 4) ゾーンカテゴリが追加され、テーブルが作成されます。

4-6-2-1 「既存のゾーンカテゴリを削除します」にチェックを入れた場合



既存のゾーンカテゴリを削除し、読込んだゾーンカテゴリを追加します。

4-6-2-2 「既存のゾーンカテゴリを削除します」のチェックを外した場合



既存のゾーンカテゴリに、読み込んだゾーンカテゴリを追加します。

4-7 ゾーン集計を実行 / モルフ集計を実行

- ゾーンまたはモルフによる面積集計を実行します。
 - フロア設定のフロア毎に面積が集計されます。
 - ゾーン集計/モルフ集計を実行すると、リストパレットに面積集計結果が反映されます。
- ※ 集計対象の基準となるフロアの高さは、「環境設定」/「階」タブの設定によって異なります。「環境設定」ダイアログ「階」タブを参照して下さい。

4-7-1 ゾーン集計/モルフ集計を実行する

[操作手順]

- 1) 「ゾーン集計」サブパレット/「モルフ集計」サブパレットより、「ゾーン集計を実行」/「モルフ集計を実行」を選択します。
- 2) 集計結果はリストパレットに表示されます。

4-8 リストパレットを表示

- 面積集計概要及び面積集計の詳細を表示します。
- 「ゾーン集計」または「モルフ集計」を実行すると、面積集計結果が更新されます。

4-8-1 「集計」ダイアログー「概要」タブ

- 敷地面積や建蔽率等の与条件を、設定または表示します。
- 与条件は、ADS-BT for ARCHICAD またはプロジェクト情報の設定を反映することができます。
- ADS-BT for ARCHICAD またはプロジェクト情報の設定の反映は、「環境設定」で設定します。
- 変換テーブルで設定した法規属性に基づく面積集計結果を表示します。
- 与条件及び面積集計結果による容積率を表示します。



番号	項目名	概要
①	敷地面積	敷地面積を設定または表示します ADS-BT for ARCHICAD またはプロジェクト情報の設定を反映可能です
②	許容建築面積	許容建蔽率から算出される、許容建築面積を表示します
③	許容床面積	許容容積率から算出される、許容床面積を表示します
④	床面積	容積率算定の対象となる面積の集計結果を表示します 法規属性が「専有」及び「共用」が集計対象です 「床面積」>「許容床面積」となった場合に、数値が赤色表示になります
⑤	延床面積	「床面積」に、法規属性「共用廊下等」を加算した集計結果を表示します 法規属性が「専有」、「共用」及び「共用廊下等」が集計対象です
⑥	施工面積	「延床面積」に、法規属性「対象外」を加算した集計結果を表示します 法規属性が「専有」、「共用」、「共用廊下等」及び「対象外」が集計対象です
⑦	許容建蔽率	敷地に適用される、緩和後の建蔽率を設定または表示します
⑧	許容容積率	敷地に適用される、緩和または低減後の容積率を設定または表示します
⑨	容積率	容積率を表示します 「床面積」/「敷地面積」によって算定されます 「容積率」>「許容容積率」となった場合に、数値が赤色表示になります

4-8-2 「集計」ダイアログ「詳細」タブ

- フロア設定によるフロア毎の、集計項目の集計結果を表示します。
- 「変換テーブルを編集」で、「ゾーンカテゴリで集計」にチェックが入っている場合、集計項目列にゾーンカテゴリカラーが反映されます。

集計

概要 詳細

階	住宅	事務所	店舗	共用	バルコニー	駐車場	その他	地階住宅	共用廊下等
最高高さ	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RFL	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
3FL	330.57	0.00	0.00	0.00	59.43	0.00	0.00	0.00	53.95
2FL	164.46	152.18	0.00	52.76	27.31	0.00	0.00	0.00	19.80
1FL	0.00	90.95	285.89	51.83	55.45	182.29	109.34	0.00	0.00
基礎下端	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	495.03	243.13	285.89	104.59	142.19	182.29	109.34	0.00	73.75

変換テーブル

Easv 追加 名前変更 削除 ☒ ゾーンカテゴリで集計

No	集計項目	法規属性	住戸数
1	住宅	専有	
2	事務所	専有	
3	店舗	専有	
4	共用	専有	
5	バルコニー	専有	
6	駐車場	専有	
7	その他	専有	
8	地階住宅	専有	
9	共用廊下等	専有	

追加 削除 テンプレート読み込み テンプレート作成

ゾーンカテゴリ

ゾーンコード	ゾーンカテゴリ	集計項目
	住宅	住宅
	事務所	事務所
	店舗	店舗
	共用	共用
	バルコニー	バルコニー
	駐車場	駐車場
	その他	その他
	地階住宅	地階住宅
	共用廊下等	共用廊下等

ゾーンカテゴリ置換

キャンセル OK

フロアの設定

番号	名前	高度	階高	
5	最高高さ	9700.0	0.0	☒
4	RFL	9000.0	700.0	☒
3	3FL	6000.0	3000.0	☒
2	2FL	3000.0	3000.0	☒
1	1FL	0.0	3000.0	☒
-1	基礎下端	-2000.0	2000.0	☒

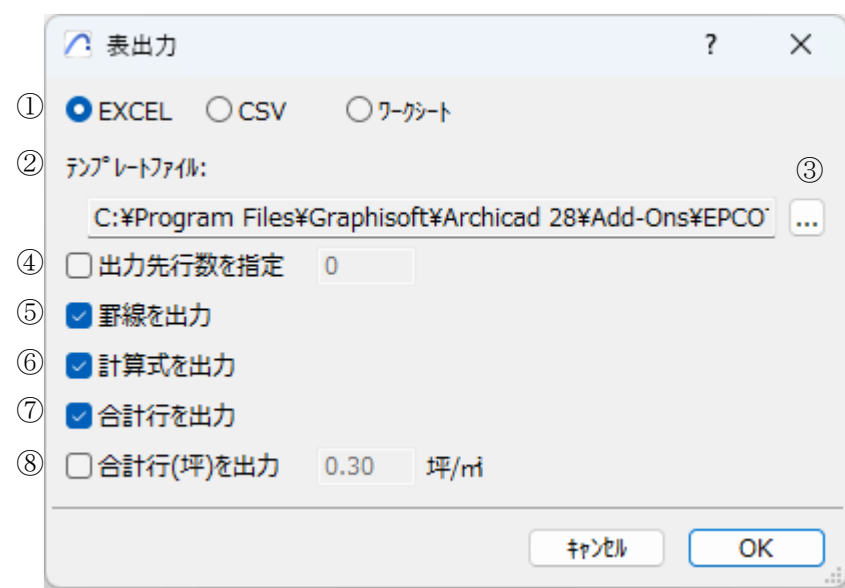
上に挿入 下に挿入 フロア削除

キャンセル OK

4-9 表出力

- 面積集計結果を出力します。
- Excel (.xls形式または.xlsx 形式)、CSV (.csv 形式)、またはワークシートに出力できます。
- Excel 出力の場合は、出力するテンプレートファイルを指定します。
- ※ Excel 出力は Windows 版のみの機能です。
- ※ ビルド番号が「16.0」以降の Excel のバージョンに対応しています。ビルド番号「15」以前のバージョンの場合、出力できない場合があります。

4-9-1 「表出力」ダイアログ



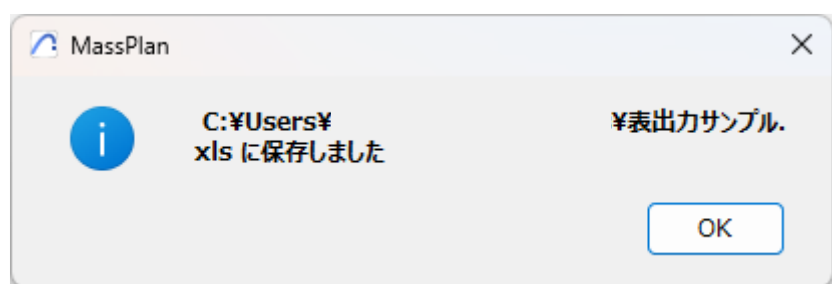
番号	項目名	内容
①	出力形式選択	出力形式を選択します
		EXCEL .xls 形式または.xlsx 形式で面積集計結果を出力します ※Windows 版のみの機能です
		CSV .csv 形式で面積集計結果を出力します
		ワークシート ワークシートに面積集計結果を出力します
②	テンプレートファイル	選択している集計項目テンプレートファイルを表示します
③	テンプレートファイル選択	集計項目テンプレートファイルを選択します
④	出力先行数を指定	チェックを入れると、出力する最大行数を指定できます Excel 出力の場合のみ選択可能です
⑤	罫線を出力	チェックを入れると、罫線を出力します Excel 出力の場合のみ選択可能です
⑥	計算式を出力	チェックを入れると、計算式を出力します 「massplan」行の関数が、同列の各行に適用されます Excel 出力の場合のみ選択可能です
⑦	合計行を出力	チェックを入れると、集計項目の合計を出力します
⑧	合計行(坪)を出力	チェックを入れると、設定した坪換算値によって算出した、集計項目の合計の坪換算値を出力します

4-9-2 Excel 形式で出力する

- プロジェクトファイルと同じ場所に、「プロジェクトファイル名 集計表.xls または.xlsx」の名前で保存されます。
- プロジェクトファイルの名前が「名称未設定」の場合、保存するファイル名と保存する場所を指定します。
- テンプレートファイルを選択した場合、集計結果をテンプレートファイルに上書きします。

[操作手順]

- 1) 「出力形式選択」より、「EXCEL」を選択します。
- 2) テンプレートファイルを選択する場合は、「テンプレートファイル選択」を選択し、テンプレートファイルを選択します。
- 3) 各種設定をします。
- 4) 「OK」を選択します。
- 5) 確認ダイアログが開きます。



- 6) ※プロジェクトファイルの名前が「名称未設定」の場合、「名前を付けて保存」ダイアログが開きます。
- 7) 「OK」を選択します。
- 8) Excel が開きます。

4-9-2-1 集計表

- 「集計表」シートに出力されます。
- A 列が「massplan」の行のセル名と、変換テーブルの集計項目が一致する場合に、集計結果が出力されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7	massplan	階	住戸数														
8		最高高さ															
9		RFL															
10		3FL															
11		2FL															
12		1FL															
13		基礎下端															
14		合計	0	560.48	74.40	158.01	792.89	318.23	132.90	120.78	23.73	595.64	1,388.53	141.93	49.92	49.92	241
15		合計(坪)		169.55	22.51	47.80	239.85	96.26	40.20	36.54	7.18	180.18	420.03	42.93	15.10	15.10	73
16																	
17																	

・「集計」ダイアログ

集計

概要 詳細

集計項目

階	専有1	専有2	専有3	共用1	共用2	共用3	共用4	共用廊下等1	共用廊下等2
最高高さ	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RFL	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
3FL	185.99	24.80	49.67	101.19	44.30	40.26	7.91	47.31	
2FL	185.99	24.80	49.67	101.19	44.30	40.26	7.91	47.31	
1FL	188.50	24.80	58.67	115.85	44.30	40.26	7.91	47.31	
基礎下端	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
合計	560.48	74.40	158.01	318.23	132.90	120.78	23.73	141.93	

集計項目と、「massplan」行のセル名が一致した場合に、面積集計結果を出力します

・Excel 出力

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2							
3							
4		階	住戸数				
5							
6							
7	massplan	階	住戸数	専有1	専有2	専有3	② 0
8		最高高さ		0.00	0.00	0.00	0.00
9		RFL		0.00	0.00	0.00	0.00
10		3FL		185.99	24.80	49.67	260.46
11		2FL		185.99	24.80	49.67	260.46
12		1FL		① 188.50	24.80	58.67	③ 271.97
13		基礎下端		0.00	0.00	0.00	0.00
14		合計	0	④ 560.48	74.40	158.01	792.89
15		合計(坪)		169.55	22.51	47.80	239.85

「massplan」行のセル名に、「階」がある場合に、「階」列にフロアの名前を出力します

①:集計項目の集計結果は、「数値」として出力されます。

D12	:	X	✓	fx	188.5
-----	---	---	---	----	-------

②、③:「計算式を出力」にチェックを入れて出力すると、「massplan」行に、関数が設定されている場合に、同列の合計行までの各行に同じ関数が適用されます。

② G7 : X ✓ fx =SUM(D7:F7) 「massplan」行に設定されている関数

③ G12 : X ✓ fx =SUM(D12:F12) 同列の合計行までの各行に同じ関数が適用

④:集計項目の各行の合計が、関数として出力されます。

D14	:	X	✓	fx	=SUM(D8:D13)
-----	---	---	---	----	--------------

4-9-2-2 プロジェクト情報

- 「プロジェクト情報」シートに出力されます。
- プロジェクト情報は、Archicad ファイルメニュー＞情報＞プロジェクト情報より設定できます。

	A	B
1	プロジェクト名	PROJECTNAME
2	プロジェクトの説明	PROJECT_DESCRIPTION
3	プロジェクトID	PROJECT_ID
4	プロジェクトコード	PROJECT_CODE
5	プロジェクト番号	PROJECTNUMBER
6	プロジェクトステータス	PROJECTSTATUS
7	キーワード	KEYWORDS
8	注記	NOTES
9	敷地の名前	SITE_NAME
10	敷地の説明	SITE_DESCRIPTION
11	敷地ID	SITE_ID
12	敷地の住所	SITEFULLADDRESS
13	敷地の住所1	SITEADDRESS1
14	敷地の住所2	SITEADDRESS2
15	敷地の住所3	SITEADDRESS3
16	敷地の私書箱	SITEPOSTBOX
17	敷地の市区町村	SITECITY
18	敷地の都道府県	SITESTATE
19	敷地の郵便番号	SITEPOSTCODE
20	敷地の国	SITECOUNTRY
21	総敷地境界線長さ	SITEGROSSPERIMETER
22	総敷地面積	SITEGROSSAREA

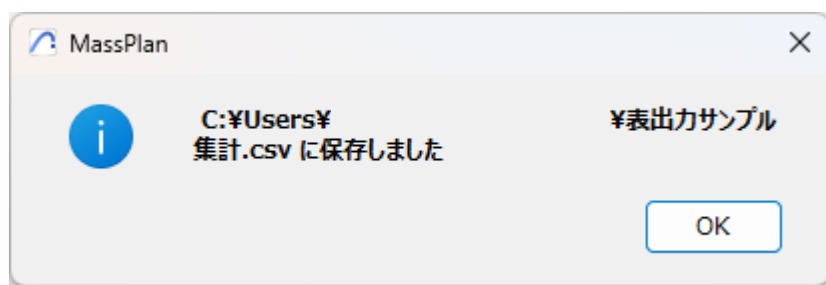
集計表 プロジェクト情報 Sheet3

4-9-3 CSV 形式で出力する

- プロジェクトファイルと同じ場所に、「プロジェクトファイル名 集計表.csv」の名前で保存されます。
- プロジェクトファイルの名前が「名称未設定」の場合、保存するファイル名と保存する場所を指定します。

[操作手順]

- 1) 「出力形式選択」より、「CSV」を選択します。
- 2) 各種設定をします。
- 3) 「OK」を選択します。
- 4) 確認ダイアログが開きます。



- 5) 「OK」を選択します。

4-9-4 ワークシートに出力する

- 「面積表 MassPlan」ワークシートに出力されます。
- 一度出力した集計表を再度出力した場合、集計表が更新されます。
- ワークシート出力に関する Archicad の要素の設定は、「環境設定」で行います。

[操作手順]

- 1) 「出力形式選択」より、で「ワークシート」を選択します。
- 2) 各種設定をします。
- 3) 出力するフロアを選択します。
- 4) 「OK」を選択します。
- 5) ワークシートが開きます。

・「集計」ダイアログ

階	専有1	専有2	専有3	共用1	共用2	共用3	共用4	共用廊下等1	共用廊下等2
最高高さ	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RFL	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
3FL	185.99	24.80	49.67	101.19	44.30	40.26	7.91	47.31	
2FL	185.99	24.80	49.67	101.19	44.30	40.26	7.91	47.31	
1FL	188.50	24.80	58.67	115.85	44.30	40.26	7.91	47.31	
基礎下端	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	560.48	74.40	158.01	318.23	132.90	120.78	23.73	141.93	

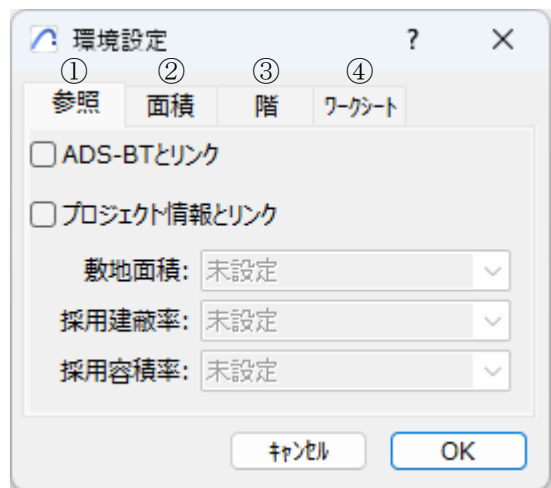
・ワークシート出力

階	専有1	専有2	専有3	共用1	共用2	共用3	共用4	共用廊下等1	共用廊下等2
最高高さ	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RFL	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
3FL	185.99	24.80	49.67	101.19	44.30	40.26	7.91	47.31	
2FL	185.99	24.80	49.67	101.19	44.30	40.26	7.91	47.31	
1FL	188.50	24.80	58.67	115.85	44.30	40.26	7.91	47.31	
基礎下端	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	560.48	74.40	158.01	318.23	132.90	120.78	23.73	141.93	
合計(坪)	169.55	22.51	47.80	96.26	40.20	36.54	7.18	42.93	

4-10 環境設定

- ゾーン集計/モルフ集計に関する環境設定を行います。
- 設定した内容は、ゾーン集計/モルフ集計に共通で適用されます。

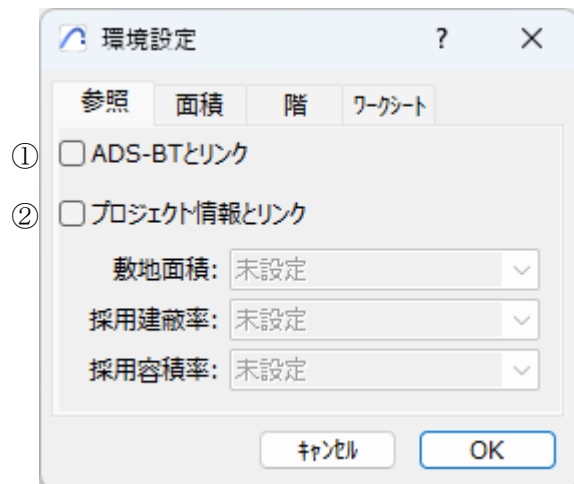
4-10-1 「環境設定」ダイアログ



番号	項目名	概要
①	参照	敷地面積、採用建蔽率、採用容積率の参照先を選択します
②	面積	面積集計の端数処理を設定します
③	階	面積集計における階の判定を設定します
④	ワークシート	ワークシート出力の設定をします

4-10-2 「環境設定」ダイアログー「参照」タブ

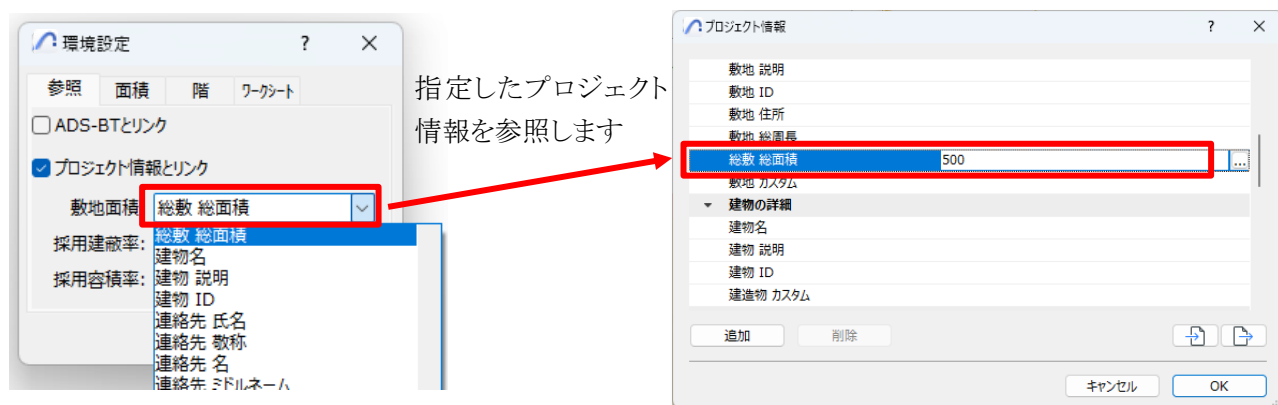
- 敷地面積、採用建蔽率、採用容積率の参照先を選択します。
- 参照した値は、「集計」ダイアログー「概要」タブに反映されます。
- 参照しない場合は、「集計」ダイアログー「概要」タブで設定します。



※チェックの有無によって表示が異なります

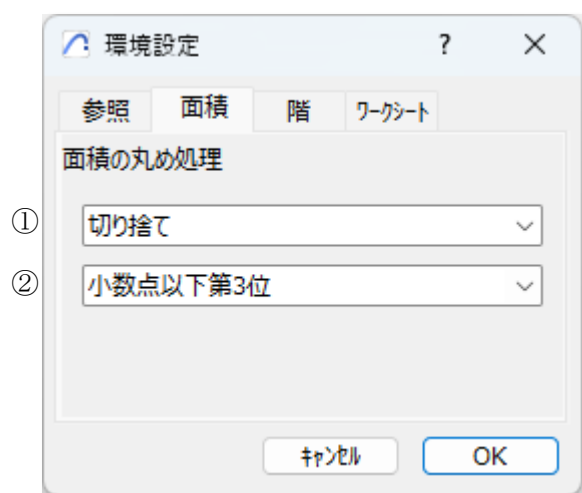
番号	項目名	内容
①	ADS-BT とリンク	チェックを入れると、ADS-BT for ARCHICAD で設定した敷地面積、採用建蔽率、及び採用容積率を参照して適用します
②	プロジェクト情報とリンク	チェックを入れると、指定したプロジェクト情報を参照して、敷地面積、採用建蔽率、及び採用容積率を設定します プロジェクト情報は、Archicad ファイルメニュー＞情報＞プロジェクト情報より設定できます
		敷地面積 敷地面積の参照先を指定します
		採用建蔽率 採用建蔽率の参照先を指定します
		採用容積率 採用容積率の参照先を指定します

4-10-2-1 プロジェクト情報とリンク



4-10-3 「環境設定」ダイアログ「面積」タブ

- 面積集計の端数処理方法、及び端数処理桁数を設定します。
- 「ゾーン集計を実行」すると、変更した設定が反映されます。



番号	項目名	概要	
①	端数処理方法	端数処理方法を選択します	
		丸め処理をしない	端数処理をしません
		四捨五入	設定した端数処理桁数を四捨五入します
		切り捨て	設定した端数処理桁数を切り捨てます
		切り上げ	設定した端数処理桁数を切り上げます
②	端数処理桁数	端数処理桁数を設定します	
		小数点以下第3位	小数点第3位を設定した端数処理し、小数点第2位までを表示します
		小数点以下第4位	小数点第4位を設定した端数処理し、小数点第3位までを表示します
		小数点以下第5位	小数点第5位を設定した端数処理し、小数点第4位までを表示します

4-10-3-1 端数処理による集計結果の違い

集計	
概要	詳細
敷地面積: 500.00 m ²	
許容建築面積: 300.00 m ²	許容建築率: 60.00 %
許容床面積: 2000.00 m ²	許容容積率: 400.00 %
床面積: 1839.55 m ²	容積率: 367.91 %
延床面積: 2161.68 m ²	
施工面積: 2161.68 m ²	

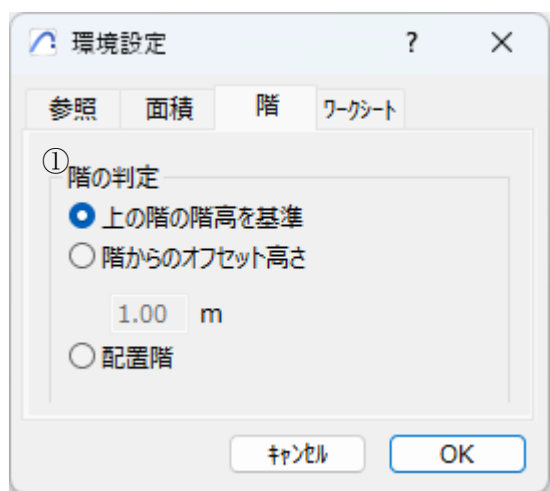
端数処理方法	切り捨て
端数処理桁数	小数点以下第3位

集計	
概要	詳細
敷地面積: 500.00 m ²	
許容建築面積: 300.0000 m ²	許容建築率: 60.00 %
許容床面積: 2000.0000 m ²	許容容積率: 400.00 %
床面積: 1839.8391 m ²	容積率: 367.97 %
延床面積: 2162.0460 m ²	
施工面積: 2162.0460 m ²	

端数処理方法	切り上げ
端数処理桁数	小数点以下第5位

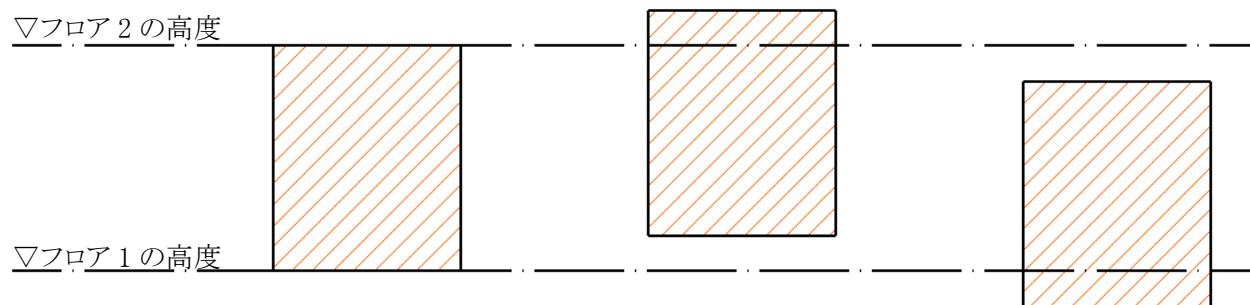
4-10-4 「環境設定」ダイアログ「階」タブ

- 面積集計における階の判定を設定します。
- 「ゾーン集計を実行」すると、変更した設定が反映されます。



番号	項目名	概要	
①	階の判定	階の判定を選択します	
		上の階の階高を基準	ゾーンまたはモルフの上部高さが、上のフロアの高度以上の場合、またはゾーンまたはモルフの下部高さが、フロアの高度未満の場合に、当該フロアに面積を集計します
		階からのオフセット高さ	ゾーンまたはモルフの上部高さが、フロアからの設定したオフセット以上の場合、またはゾーンまたはモルフの下部高さが、フロアからの設定したオフセット以下の場合に、当該フロアに面積を集計します
		配置階	ゾーンまたはモルフの上部高さ及び下部高さに関わらず、配置フロアのみ面積を集計します

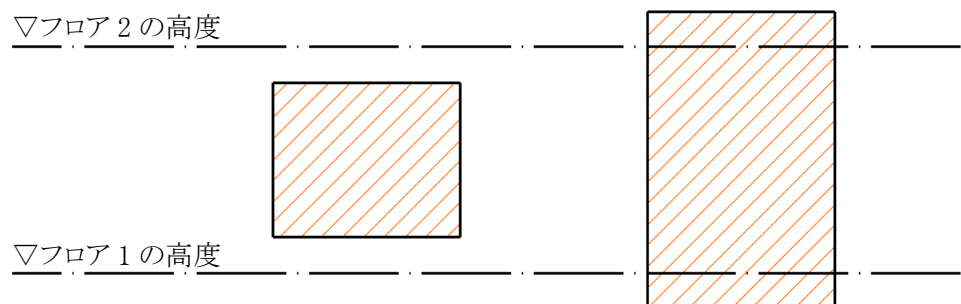
4-10-4-1 「上の階の階高を基準」の面積集計対象フロア



フロア	面積集計	
	ゾーン	モルフ
2	×	×
1	○	○
-1	×	×

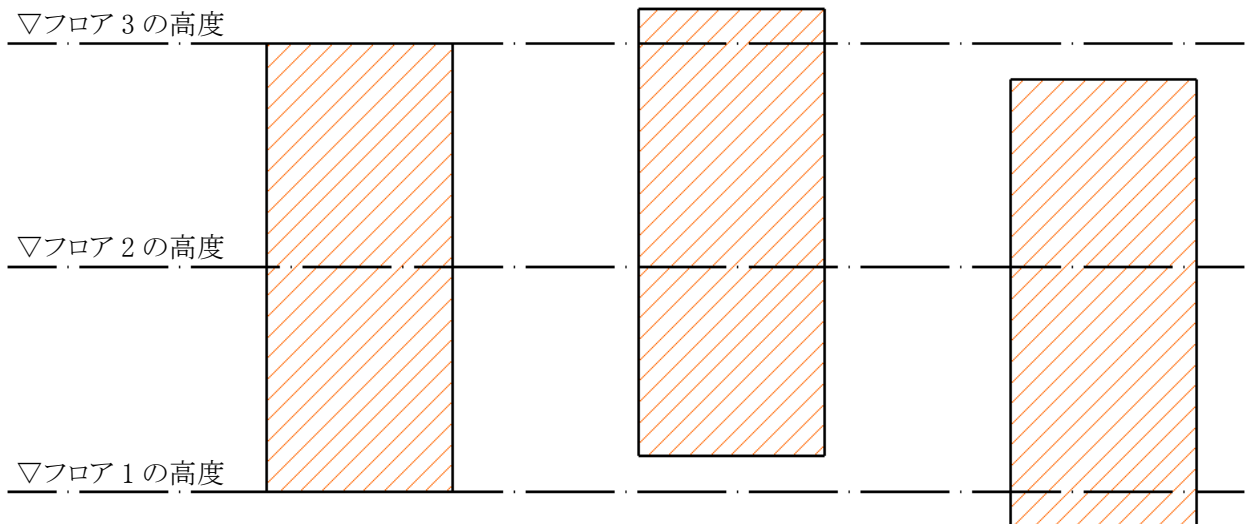
フロア	面積集計	
	ゾーン	モルフ
2	×	×
1	○	×
-1	×	×

フロア	面積集計	
	ゾーン	モルフ
2	×	×
1	○	×
-1	×	×



フロア	面積集計	
	ゾーン	モルフ
2	×	×
1	○	×
-1	×	×

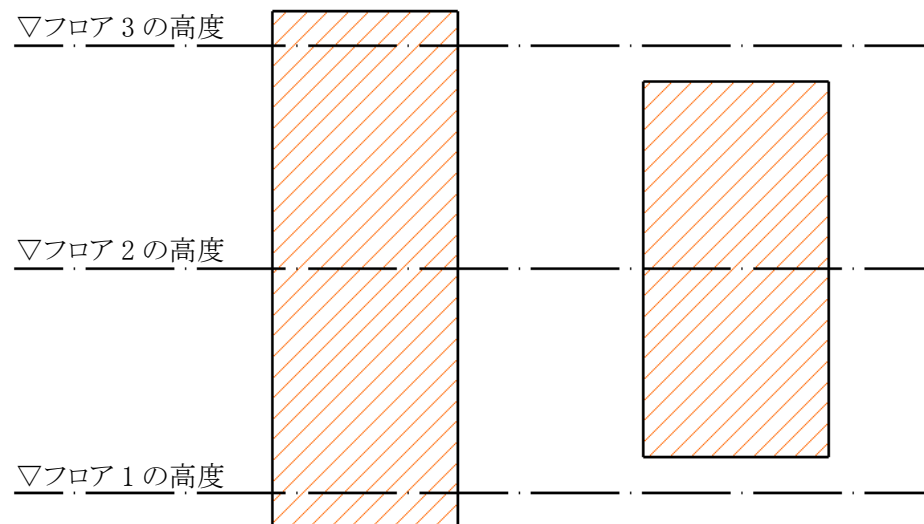
フロア	面積集計	
	ゾーン	モルフ
2	×	×
1	○	×
-1	×	×



フロア	面積集計	
	ゾーン	モルフ
3	×	×
2	○	○
1	○	○
-1	×	×

フロア	面積集計	
	ゾーン	モルフ
3	×	×
2	○	○
1	○	×
-1	×	×

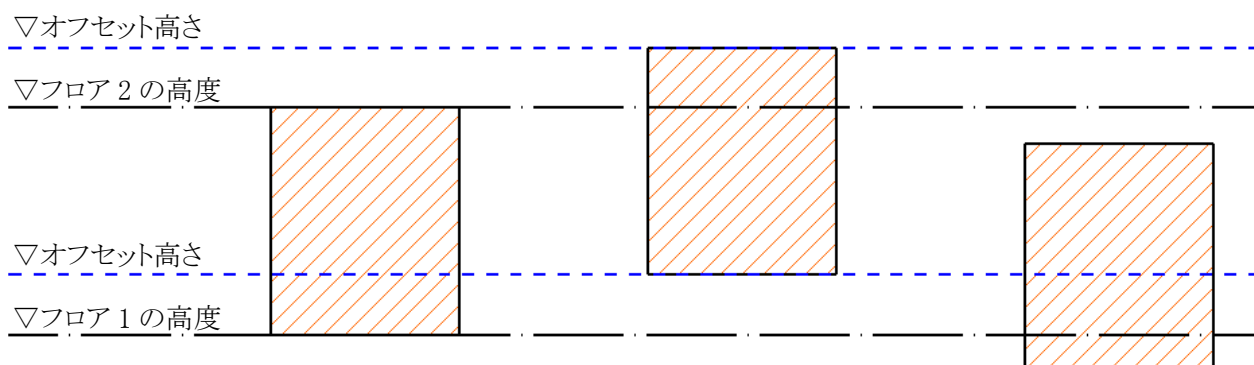
フロア	面積集計	
	ゾーン	モルフ
3	×	×
2	○	×
1	○	○
-1	×	×



フロア	面積集計	
	ゾーン	モルフ
3	×	×
2	○	○
1	○	○
-1	○	×

フロア	面積集計	
	ゾーン	モルフ
3	×	×
2	×	×
1	○	×
-1	×	×

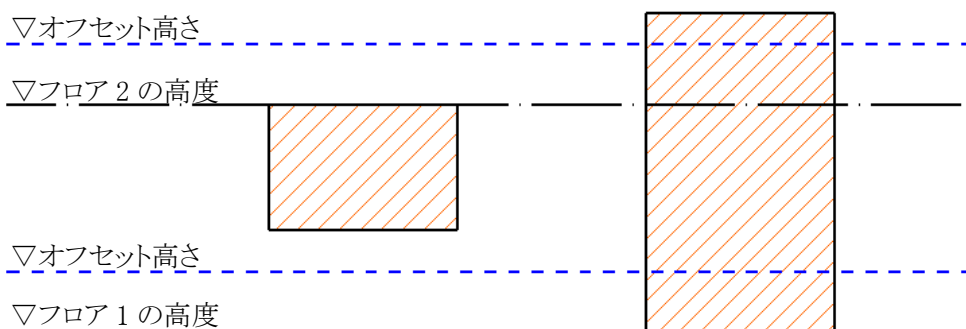
4-10-4-2 「階からのオフセット高さ」の面積集計対象フロア



フロア	面積集計	
	ゾーン	モルフ
2	×	×
1	○	○
-1	×	×

フロア	面積集計	
	ゾーン	モルフ
2	○	○
1	○	×
-1	×	×

フロア	面積集計	
	ゾーン	モルフ
2	×	×
1	○	○
-1	×	×

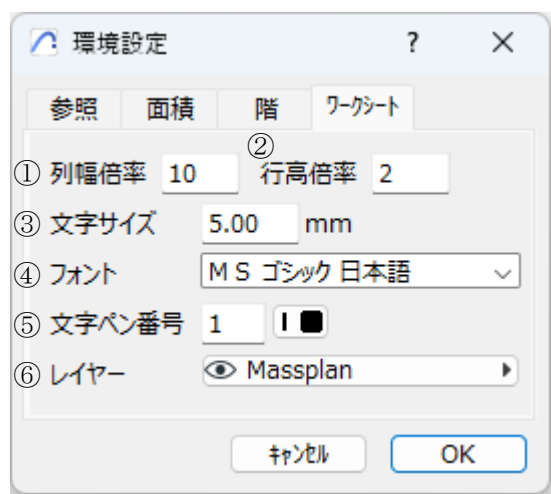


フロア	面積集計	
	ゾーン	モルフ
2	×	×
1	×	×
-1	×	×

フロア	面積集計	
	ゾーン	モルフ
2	×	○
1	○	○
-1	×	×

4-10-5 「環境設定」ダイアログー「ワークシート」タブ

- ワークシート出力の設定をします。
- ワークシートへの設定した内容の反映は表出力を行う必要があります。



番号	項目名	内容
①	列幅倍率	500mm を「1」とした倍率で、列の幅を設定します
②	行高倍率	500mm を「1」とした倍率で、行の高さを設定します
③	文字サイズ	文字サイズを設定します
④	フォント	フォントを選択します
⑤	文字ペン番号	文字のペン番号を選択します
⑥	レイヤー	表出力で作成される Archicad の要素のレイヤーを選択します

4-10-5-1 反映される設定

列幅倍率 → 文字サイズ、フォント、文字ペン番号

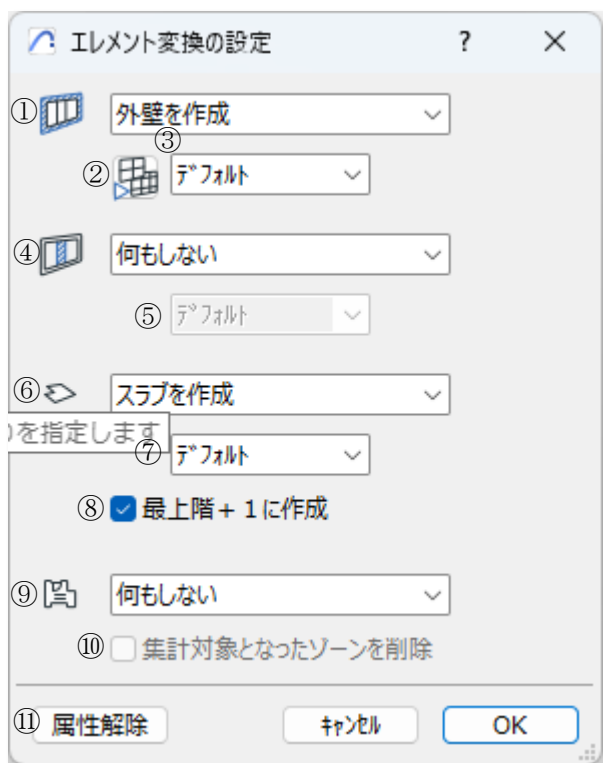
行高倍率

* 階	専有1	専有2	専有3	共用1	共用2
最高高さ	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RFL	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
3FL	185.99	24.80	49.67	101.19	44.30
2FL	185.99	24.80	49.67	101.19	44.30
1FL	188.50	24.80	58.67	115.85	44.30
基礎下端	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	560.48	74.40	158.01	318.23	132.90
合計(坪)	169.55	22.51	47.80	96.26	40.20

4-11 エlementに変換

- ゾーンまたはモルフを基に、壁・カーテンウォール・スラブ・ゾーン各要素を自動作成します。
- 単独の要素の自動作成、または複数の要素の自動作成の選択ができます。
- 面積集計を実行したゾーンまたはモルフが変換の対象となります。

4-11-1 「Element変換の設定」ダイアログ(ゾーン集計)

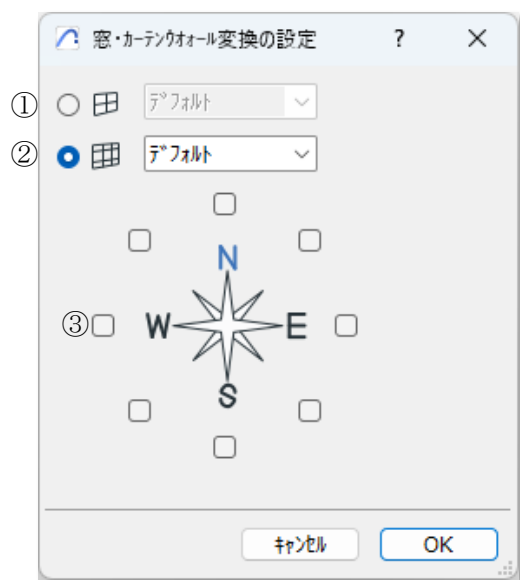


番号	項目名	概要	
①	外壁変換方法選択	外壁への変換方法を選択します	
		何もしない	外壁の作成または削除を行いません
		外壁を作成	選択した壁形状で、外壁となる壁を作成します
		外壁を削除	本メニューで作成した外壁を削除します
②	窓・カーテンウォール作成方法指定	窓及びカーテンウォールの作成方法を指定します 「窓・カーテンウォール変換の設定」ダイアログが開きます	
③	外壁形状選択	作成する外壁の形状を選択します	
		デフォルト	壁ツールのデフォルト設定で外壁を作成します
		お気に入り	壁ツールのお気に入りを選択して外壁を作成します
④	内壁変換方法選択	内壁への変換方法を選択します	
		何もしない	内壁の作成または削除を行いません
		内壁を作成	選択した壁形状で、内壁となる壁を作成します
		内壁を削除	本メニューで作成した内壁を削除します

番号	項目名	概要	
⑤	内壁形状選択	作成する内壁の形状を選択します	
		デフォルト	壁ツールのデフォルト設定で内壁を作成します
		お気に入り	壁ツールのお気に入りを選択して内壁を作成します
⑥	スラブ変換方法選択	スラブへの変換方法を選択します	
		何もしない	スラブの作成または削除を行いません
		スラブを作成	選択したスラブ形状で、スラブを作成します
		スラブを削除	本メニューで作成したスラブを削除します
⑦	スラブ形状選択	作成するスラブの形状を選択します	
		デフォルト	スラブツールのデフォルト設定でスラブを作成します
		お気に入り	スラブツールのお気に入りを選択してスラブを作成します
⑧	最上階+1 に作成	チェックを入れると、ゾーン集計が実行された最上部のフロアの、1 つ上のフロアにスラブを作成します	
⑨	ゾーン変換方法選択	ゾーンへの変換方法を選択します	
		何もしない	ゾーンの作成または削除を行いません
		ゾーンを作成	デフォルト設定で、ゾーンを作成します
		ゾーンを削除	本メニューで作成したゾーンを削除します
⑩	集計対象となったゾーンを削除	「ゾーン変換方法選択」で、「ゾーンを作成」を選択すると有効になります チェックを入れると、面積集計対象となったゾーンを削除します	
⑪	属性解除	エレメント変換属性を解除します	

4-11-1-1 「窓・カーテンウォール変換の設定」ダイアログ

○ 窓及びカーテンウォールの作成方法を指定します。



番号	項目名	概要	
①	窓オブジェクト選択	作成する窓オブジェクトを選択します	
		デフォルト	窓ツールのデフォルト設定で窓を作成します
		お気に入り	窓ツールのお気に入りを選択して窓を作成します
②	カーテンウォール選択	作成するカーテンウォール設定を選択します	
		デフォルト	カーテンウォールツールのデフォルト設定でカーテンウォールを作成します
		お気に入り	カーテンウォールツールのお気に入りを選択してカーテンウォールを作成します
③	方位選択	窓またはカーテンウォールを作成する方位を選択します 窓及びカーテンウォールで、それぞれ選択します	

4-11-2 「エレメント変換の設定」ダイアログ(モルフ集計)



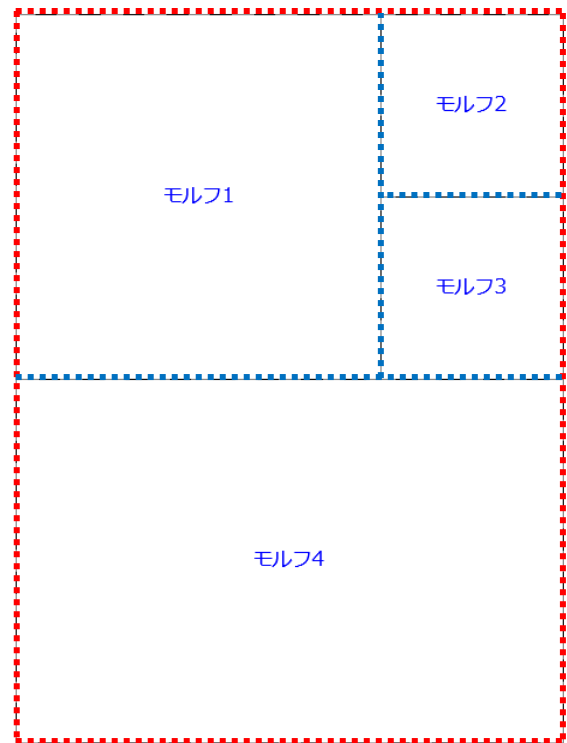
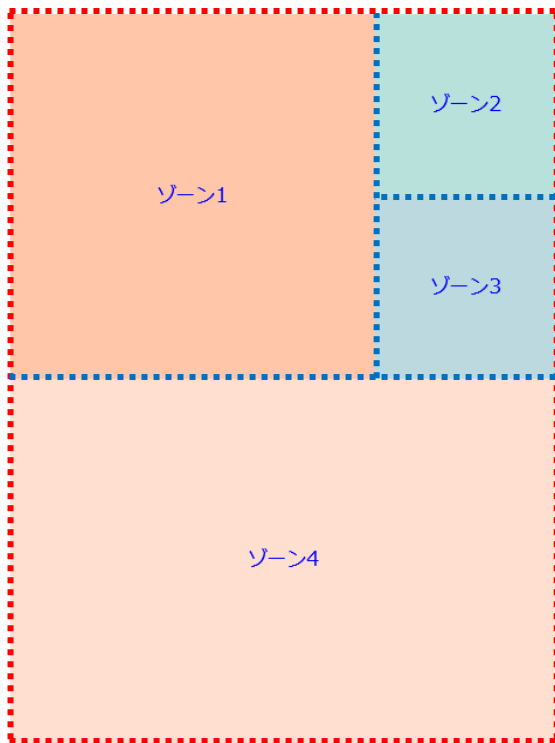
番号	項目名	概要	
①	外壁変換方法選択	外壁への変換方法を選択します	
		何もしない	外壁の作成または削除を行いません
		外壁を作成	選択した壁形状で、外壁となる壁を作成します
		外壁を削除	本メニューで作成した外壁を削除します
②	外壁形状選択	作成する外壁の形状を選択します	
		デフォルト	壁ツールのデフォルト設定で外壁を作成します
		お気に入り	壁ツールのお気に入りを選択して外壁を作成します
③	窓を作成	チェックを入れると、全ての方位の外壁面に、窓ツールのデフォルト設定で窓を作成します	
④	内壁変換方法選択	内壁への変換方法を選択します	
		何もしない	内壁の作成または削除を行いません
		内壁を作成	選択した壁形状で、内壁となる壁を作成します
		内壁を削除	本メニューで作成した内壁を削除します
⑤	内壁形状選択	作成する内壁の形状を選択します	
		デフォルト	壁ツールのデフォルト設定で内壁を作成します
		お気に入り	壁ツールのお気に入りを選択して内壁を作成します
⑥	スラブ変換方法選択	スラブへの変換方法を選択します	
		何もしない	スラブの作成または削除を行いません
		スラブを作成	選択したスラブ形状で、スラブを作成します
		スラブを削除	本メニューで作成したスラブを削除します

番号	項目名	概要	
⑦	スラブ形状選択	作成するスラブの形状を選択します	
		デフォルト	スラブツールのデフォルト設定でスラブを作成します
		お気に入り	スラブツールのお気に入りを選択してスラブを作成します
⑧	ゾーン変換方法選択	ゾーンへの変換方法を選択します	
		何もしない	ゾーンの作成または削除を行いません
		ゾーンを作成	デフォルト設定で、ゾーンを作成します
		ゾーンを削除	本メニューで作成したゾーンを削除します
⑨	高さ処理	作成するゾーンエレメントの高さ設定の処理を選択します	
		0m	フロア毎に高さ 0mのゾーンを作成します
		階高	上部リンクが配置フロア+1 の高さのゾーンを作成します
⑩	属性解除	エレメント変換属性を解除します	

4-11-3 「エレメントに変換」によって作成される各要素

4-11-3-1 外壁及び内壁

- ゾーンまたはモルフの辺が基準線とみなされます。
- ゾーンまたはモルフ同士が接していない各要素の辺に外壁を作成します。
- ゾーンまたはモルフ同士が接している各要素の辺に内壁を作成します。



..... : 外壁が作成される辺

..... : 内壁が作成される辺

- 複数のフロアの集計対象となった場合は、集計対象フロア毎に壁が作成されます。
- 作成される壁の高さの設定は、デフォルト設定に関わらず下図の通りです。

上部リンク:
2. 2FL (配置フロア + 1) ▼

0.0
3000.0
0.0

配置フロア:
1. 1FL ▼

基準レベル: GL ▶
500.0

← 「上部リンク」は「配置フロア+1」になります

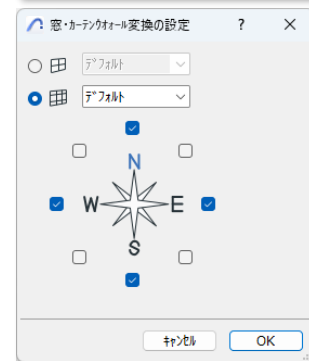
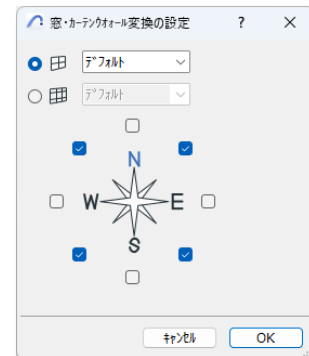
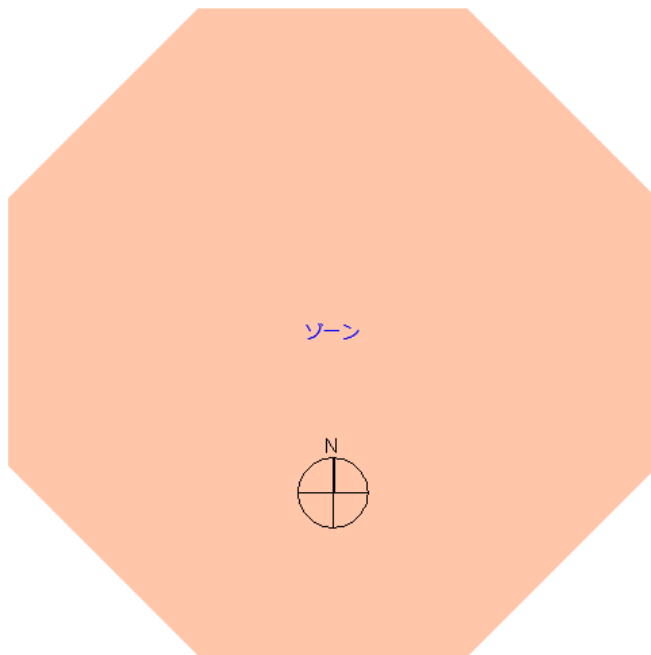
← 上部リンクフロアからの高さは「0」になります

← 配置フロアからの高さは「0」になります

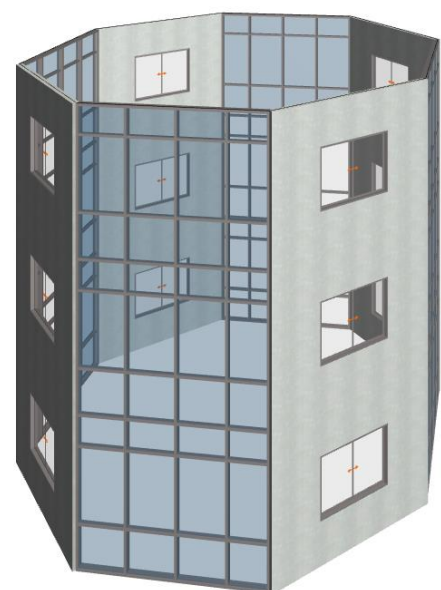
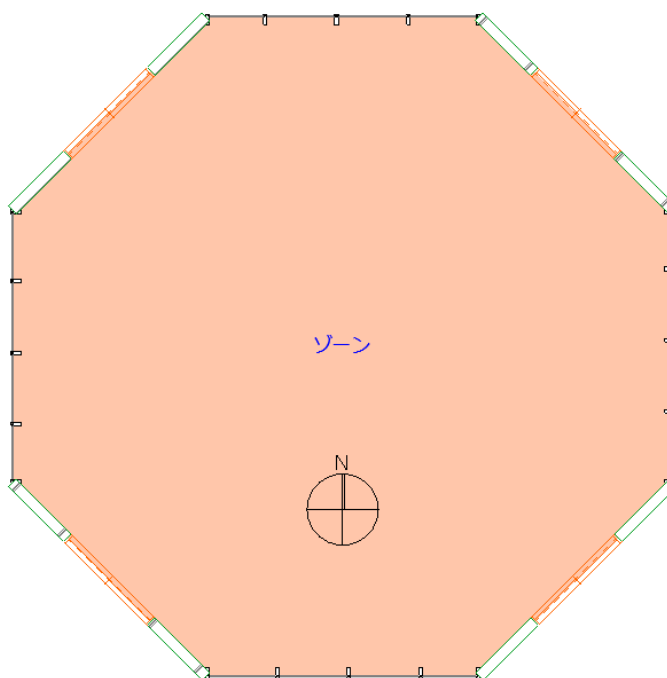
← 「配置フロア」は集計対象となったフロアになります

4-11-3-2 ゾーン集計の窓及びカーテンウォール

- 「窓・カーテンウォール変換の設定」ダイアログで選択した方位に、窓またはカーテンウォールが作成されます。
- 窓及びカーテンウォールの方位を重複して選択することはできません。
- 円弧辺には作成できません。
- Archicad で設定されている方位の向きによっては適切な配置とならない場合があります。

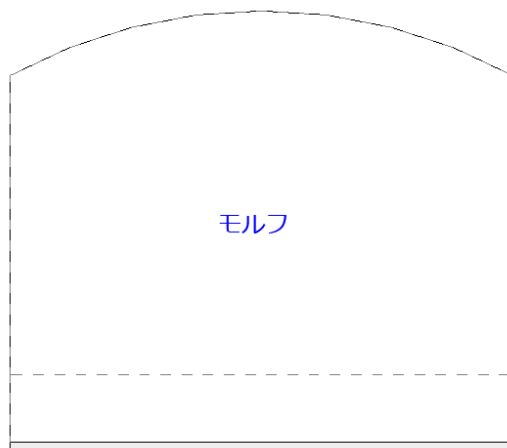


外壁を作成

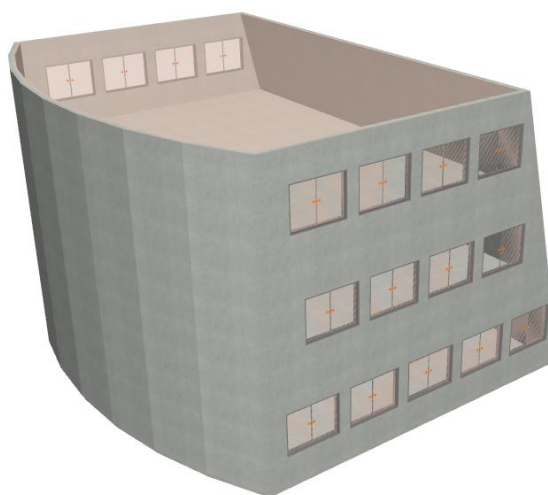
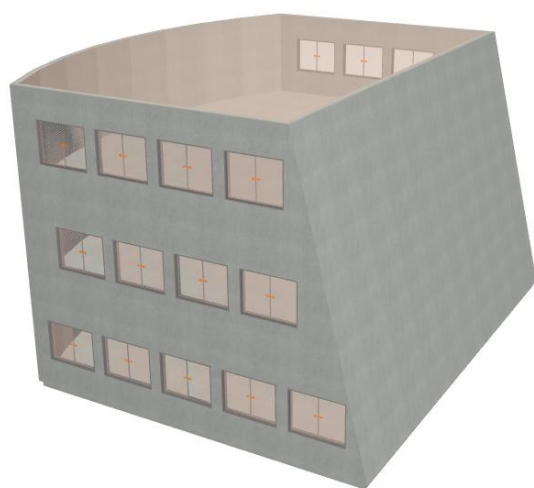


4-11-3-1 モルフ集計の外壁及び窓

- モルフの側面が傾斜している場合、傾斜壁を作成します。
- 傾斜が急な場合や、傾斜面が一定でない場合は、適切な壁が作成されない場合があります。
- 「窓を作成」にチェックを入れて外壁を作成すると、壁に窓が配置されます。
- 円弧辺及び傾斜した壁には配置されません。

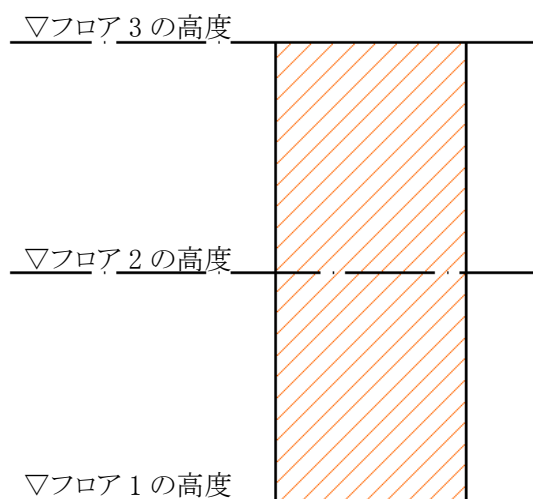
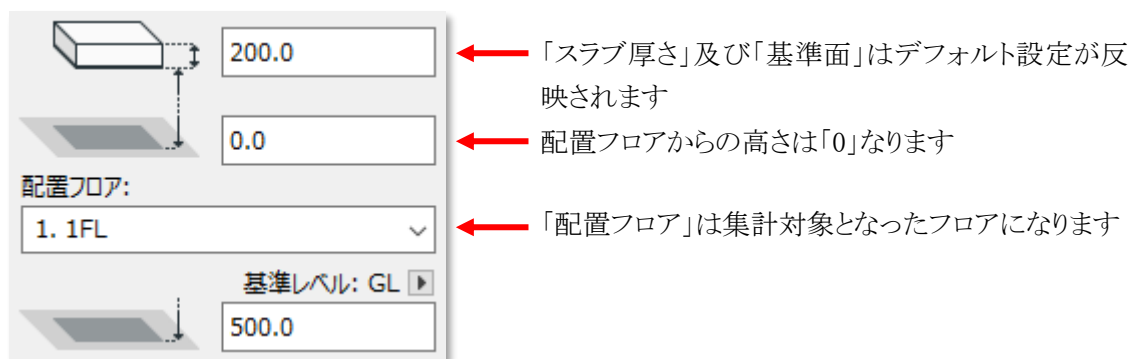


「窓を作成」にチェックを入れて、外壁を作成

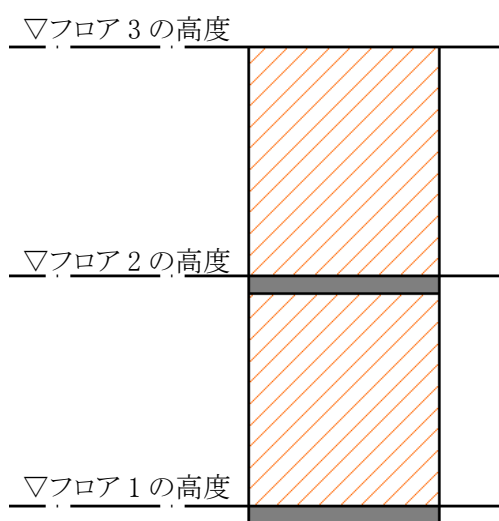


4-11-3-2 ゾーン集計のスラブ

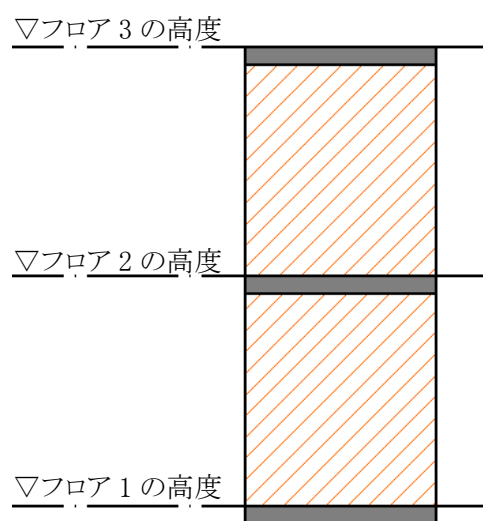
- 複数のフロアの集計対象となった場合は、集計対象フロア毎にスラブが作成されます。
- 「最上階+1 に作成」にチェックを入れると、集計対象フロアの 1 つ上のフロアにもスラブが作成されます。
- 作成されるスラブの高さの設定は、デフォルト設定に関わらず下図の通りです。



フロア	面積集計
3	×
2	○
1	○
-1	×



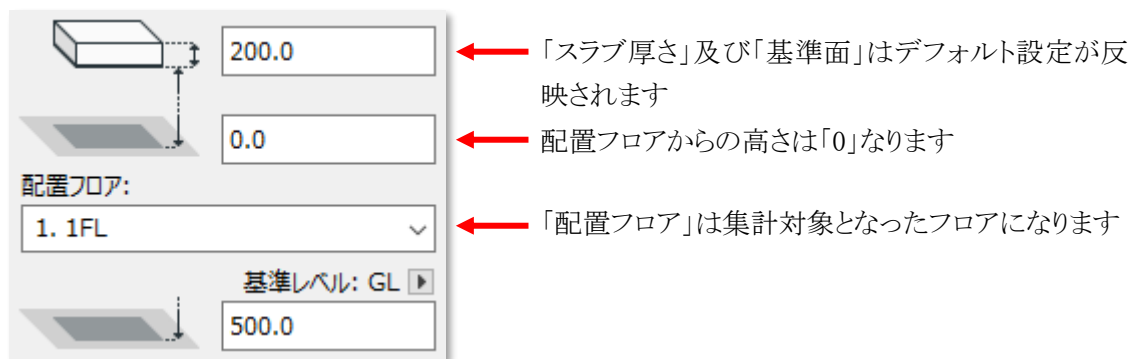
「最上階+1 に作成」のチェック無



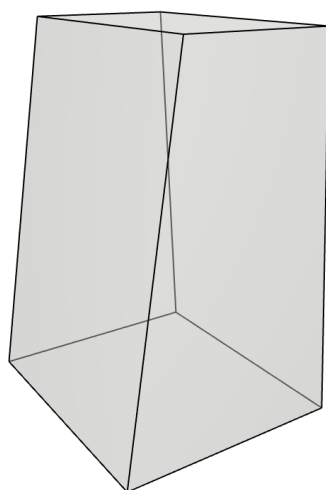
「最上階+1 に作成」のチェック有

4-11-3-3 モルフ集計のスラブ

- 複数のフロアの集計対象となった場合は、集計対象フロア毎にスラブが作成されます。
- 「最上階+1 に作成」にチェックを入れると、集計対象フロアの 1 つ上のフロアにもスラブが作成されます。
- 作成されるスラブの高さの設定は、デフォルト設定に関わらず下図の通りです。

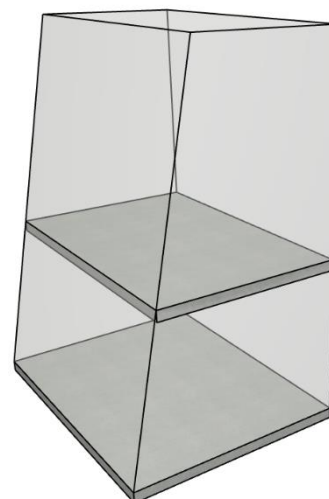


- 傾斜したモルフに作成されるスラブの平面形状は、「配置フロア±0」におけるモルフ切断面形状で作成されます。



集計対象モルフ

フロア	面積集計
3	×
2	○
1	○
-1	×



「基準面」が「上端」の場合

4-11-3-4 ゾーン集計のゾーン

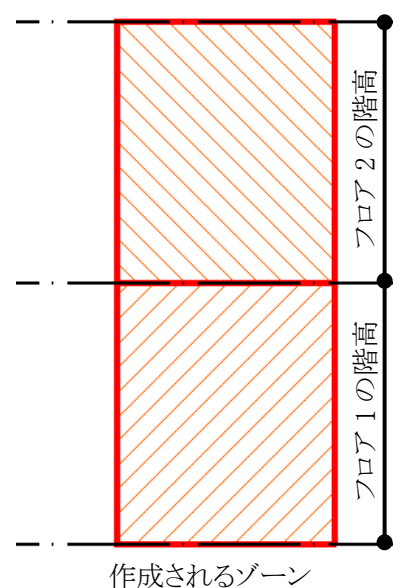
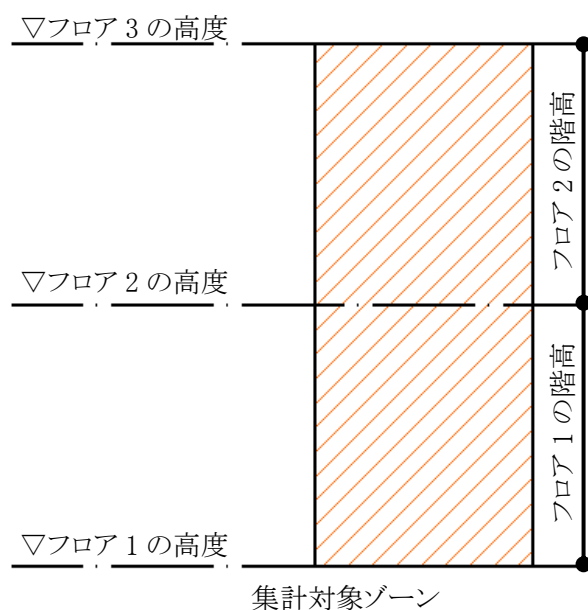
- 複数のフロアの集計対象となった場合は、集計対象フロア毎にゾーンが作成されます。
- 「エレメントに変換」で作成したゾーンは、「属性解除」を行わない限り、ゾーン集計の対象外となります。
- 作成されるゾーンの高さ設定は、デフォルト設定の関わらず下図の通りです。

← 「上部リンク」は「リンクなし」になります

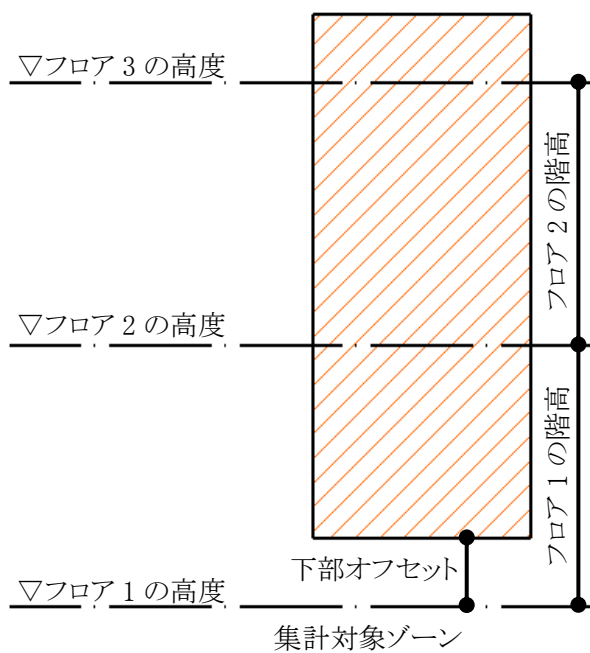
← 「ゾーン高さ」は、「配置フロア」の階高になります

← 「下部オフセット」は、集計対象ゾーンエレメントの「下部オフセット」が反映されます

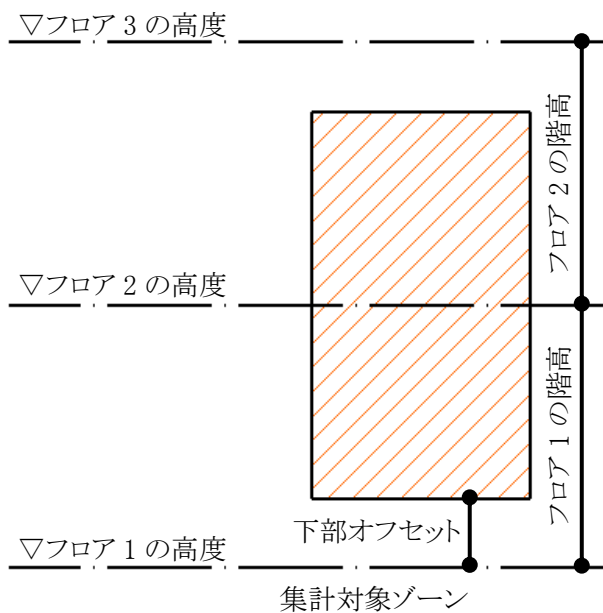
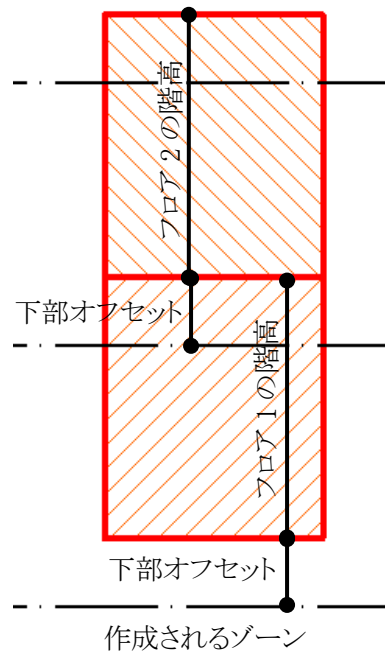
← 「配置フロア」は集計対象となったフロアになります



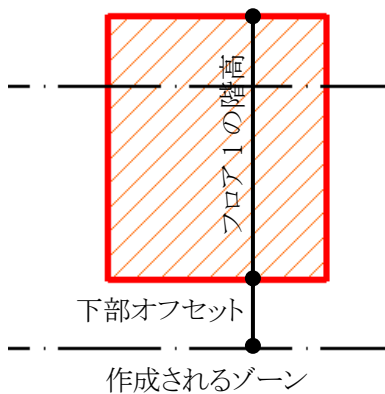
フロア	面積集計
3	×
2	○
1	○
-1	×



フロア	面積集計
3	×
2	○
1	○
-1	×

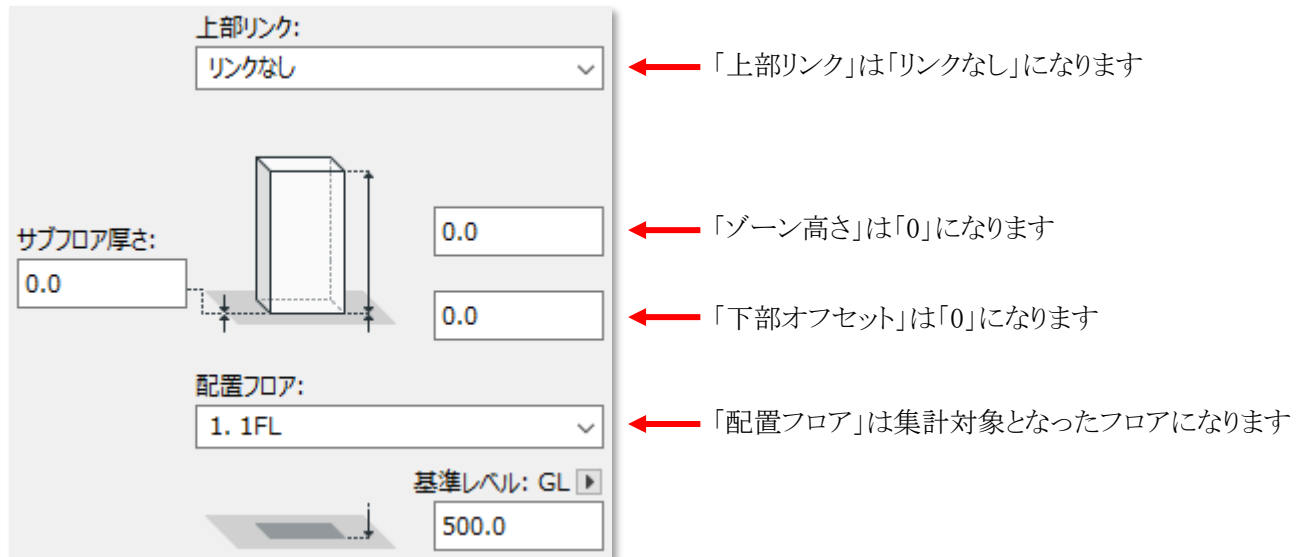


フロア	面積集計
3	×
2	×
1	○
-1	×

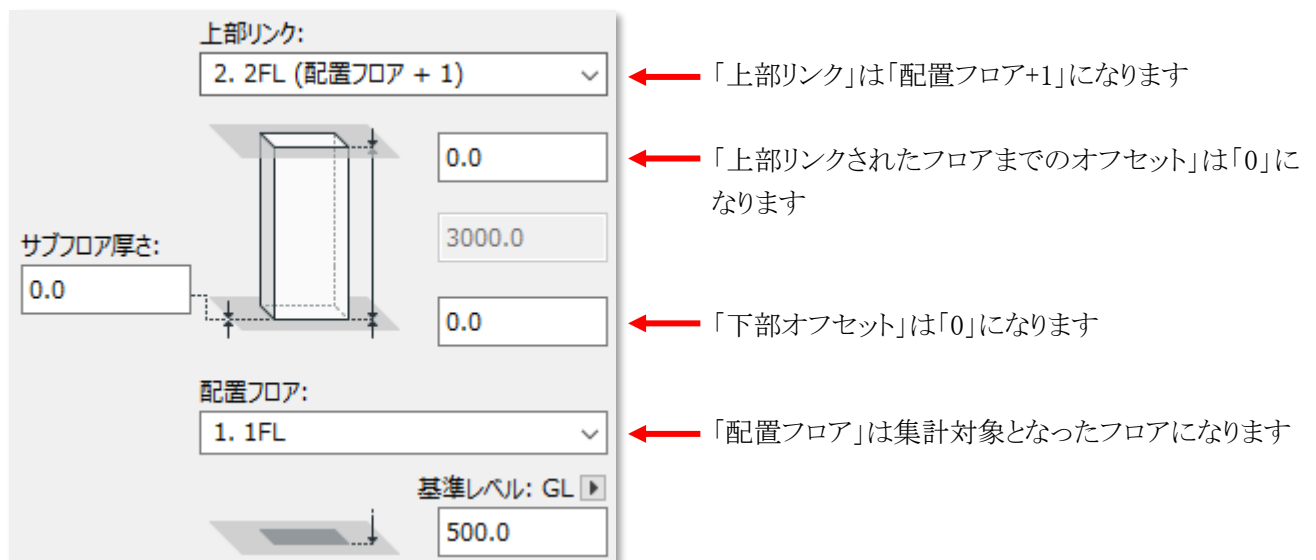


4-11-3-5 モルフ集計のゾーン

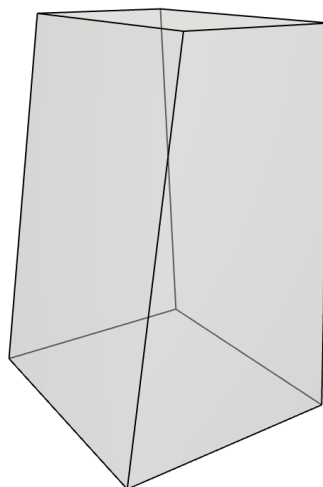
- 複数のフロアの集計対象となった場合は、集計対象フロア毎にゾーンが作成されます。
- 「高さ処理」で「0m」を選択した場合に作成されるゾーンの高さ設定は、デフォルト設定の関わらず下図の通りです。



- 「高さ処理」で「階高」を選択した場合に作成されるゾーンの高さ設定は、デフォルト設定の関わらず下図の通りです。

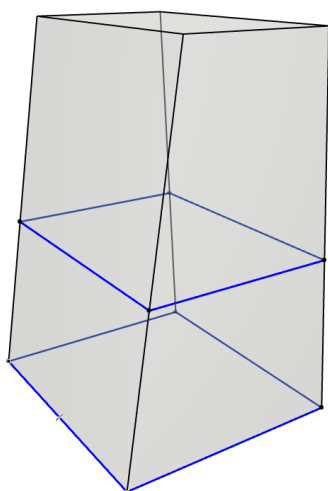


○ 傾斜したモルフに作成されるゾーンは下図の通りです。

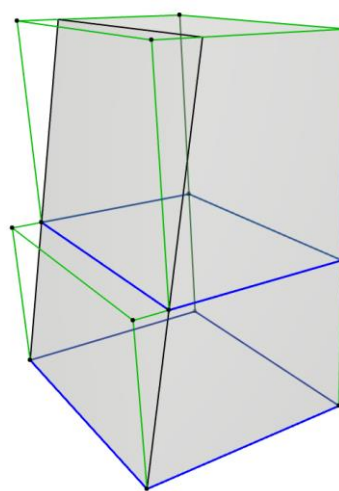


フロア	面積集計
3	×
2	○
1	○
-1	×

集計対象モルフ



「高さ処理」で「0m」を選択した場合



「高さ処理」で「階高」を選択した場合

4-11-4 「エレメントに変換」によって削除される各エレメント

- 「属性解除」を行っていない、「エレメントに変換」で作成した各要素を削除します。
- 「属性解除」を行った、「エレメントに変換」で作成した各要素は削除されません。
- 各ツールによって作成した各要素は削除されません。

4-11-4-1 外壁

- 「エレメントに変換」で作成した壁、窓、及びカーテンウォールが削除されます。

4-11-4-2 内壁

- 「エレメントに変換」で作成した壁が削除されます。

4-11-4-3 スラブ

- 「エレメントに変換」で作成したスラブが削除されます。

4-11-4-4 ゾーン

- 「エレメントに変換」で作成したゾーンが削除されます。

4-11-5 「属性解除」について

- 「エレメント変換の設定」ダイアログより、「属性解除」を選択することで、作成した各要素のエレメント変換属性を解除します。
- エレメント変換属性を解除すると、作成した各要素と本システムの連携が解除されます。

4-11-6 「お気に入り」を選択する

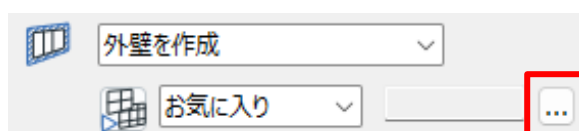
- 「お気に入り」に登録済の形状を選択して各要素を作成することができます。
- 「お気に入り」を選択可能な要素は下表の通りです。

	ゾーン集計	モルフ集計
外壁(壁)	○	○
窓	○	×
カーテンウォール	○	—
内壁(壁)	○	○
スラブ	○	○

○:選択可能 ×選択不可

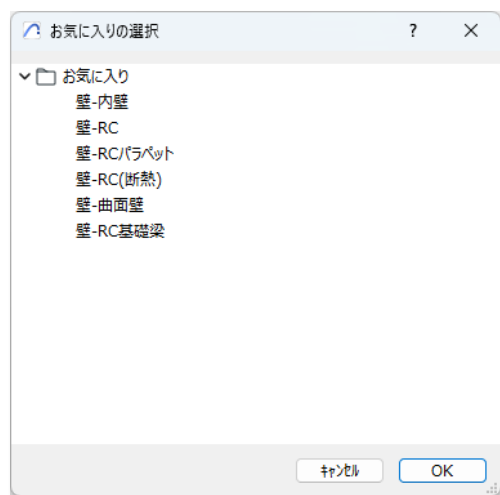
[操作手順]

- 1) 「各形状選択」プルダウンメニューより、「お気に入り」を選択します。
- 2) 「お気に入り指定」ボタンを選択します。

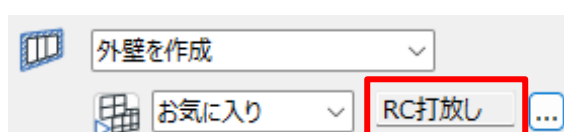


※上図は、ゾーン集計「外壁形状選択」プルダウンメニューより、「お気に入り」を選択した場合です。

- 3) 「お気に入りの選択」ダイアログが開きます。



- 4) 要素の形状とする「お気に入り」を選択します。
- 5) 「OK」を選択します。
- 6) 選択した「お気に入り」が表示されます。



4-11-7 外壁を作成する

○ ゾーン集計/モルフ集計で作成可能です。

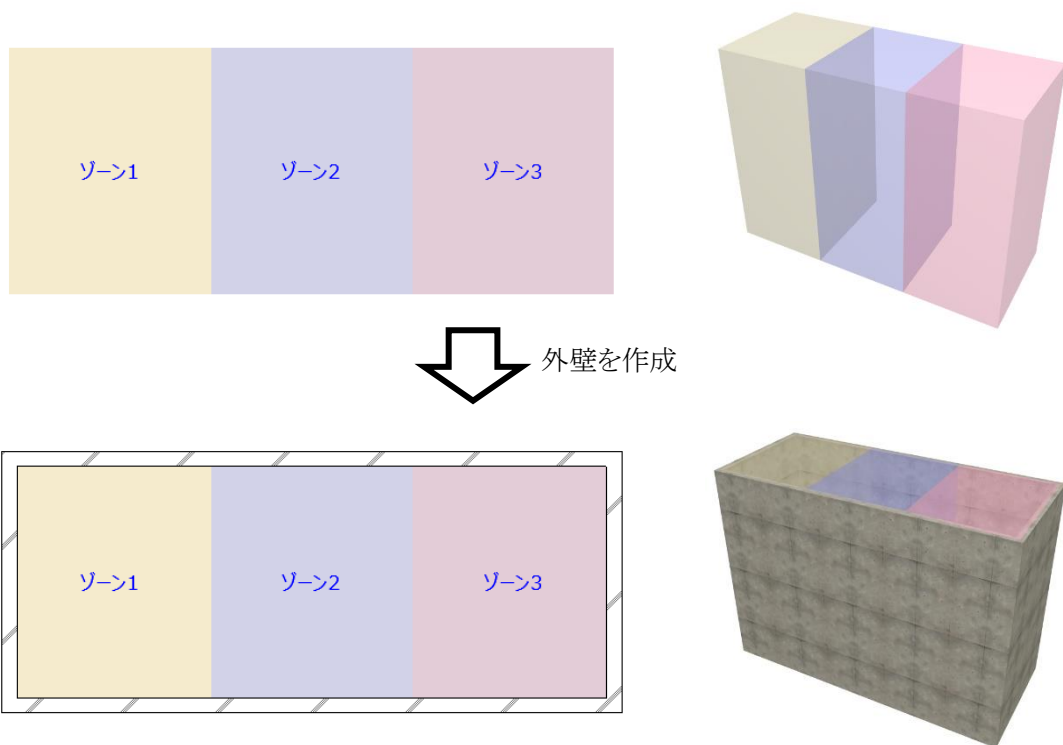
[操作手順]

- 1) 「外壁変換方法選択」プルダウンメニューより、「外壁を作成」を選択します。



※上図は、ゾーン集計の場合です。

- 2) 必要に応じて、「お気に入り」を選択します。
- 3) 「OK」を選択します。
- 4) 外壁が作成されます。



※上図は、ゾーン集計の場合です。

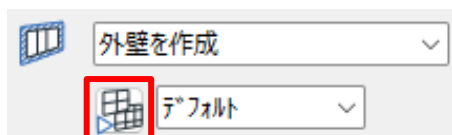
4-11-8 窓を作成する

○ ゾーン集計/モルフ集計で作成可能です。

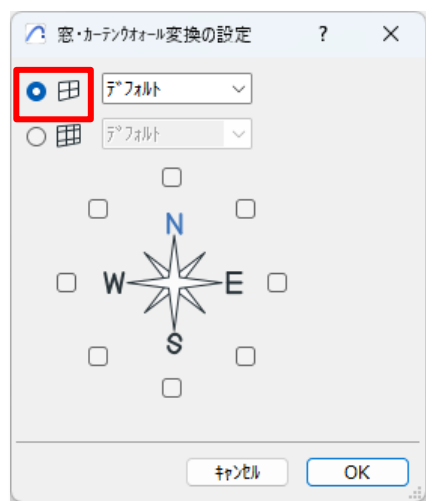
4-11-8-1 ゾーン集計で窓を作成する

[操作手順]

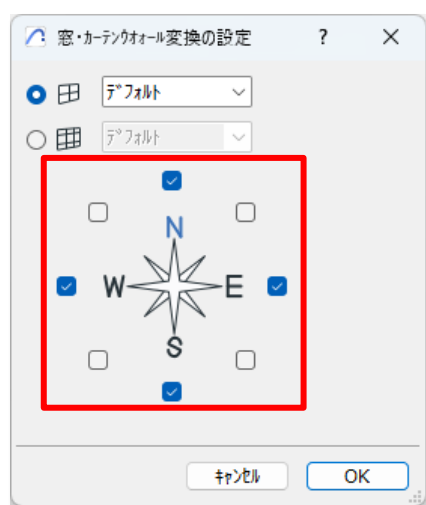
- 1) 「外壁変換方法選択」プルダウンメニューより、「外壁を作成」を選択します。
- 2) 必要に応じて、「お気に入り」を選択します。
- 3) 「窓・カーテンウォール作成方法指定」ボタンを選択します。



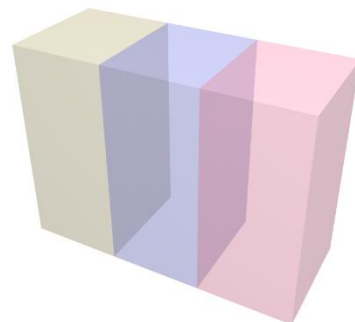
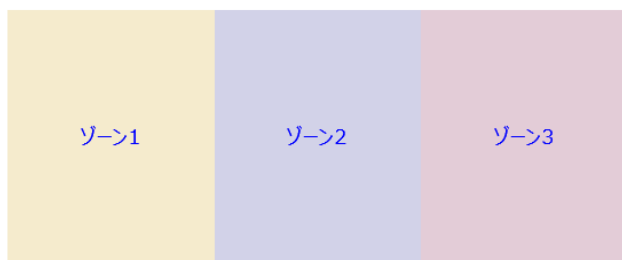
- 4) 「窓・カーテンウォール変換の設定」ダイアログが開きます。
- 5) 「窓オブジェクト選択」にチェックを入れます。



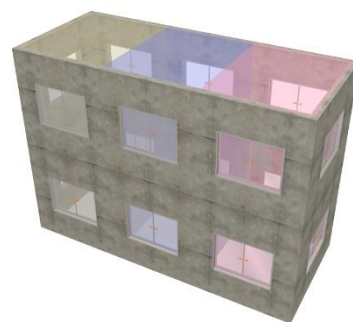
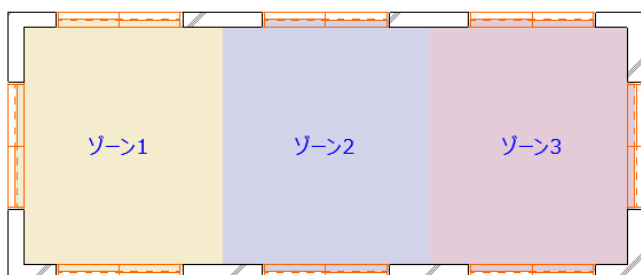
- 6) 必要に応じて、「お気に入り」を選択します。
- 7) 窓を作成する方位にチェックを入れます。



- 8) 「OK」を選択します。
- 9) 「エレメント変換の設定」ダイアログで、「OK」を選択します。
- 10) 外壁及び、選択した方位に窓が作成されます。



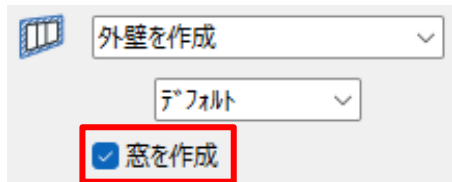
外壁を作成



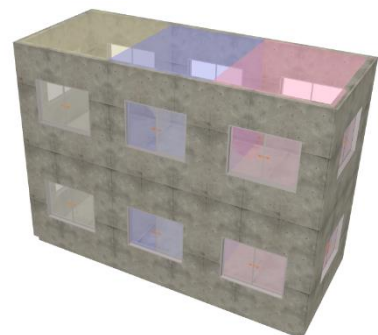
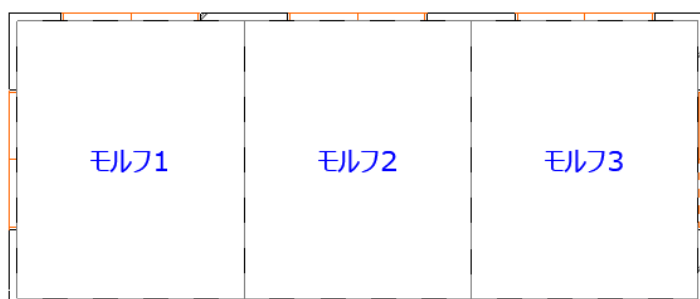
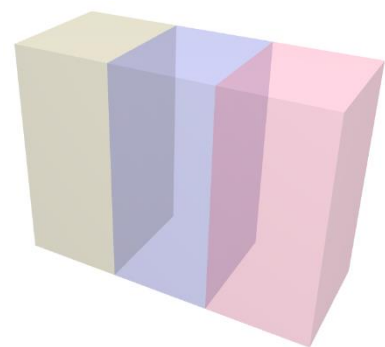
4-11-8-2 モルフ集計で窓を作成する

[操作手順]

- 1) 「外壁変換方法選択」プルダウンメニューより、「外壁を作成」を選択します。
- 2) 必要に応じて、「お気に入り」を選択します。
- 3) 「窓を作成」にチェックを入れます。



- 4) 「OK」を選択します。
- 5) 外壁及び、全ての外壁面に窓が作成されます。

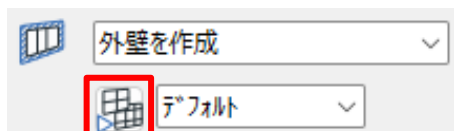


4-11-9 カーテンウォールを作成する

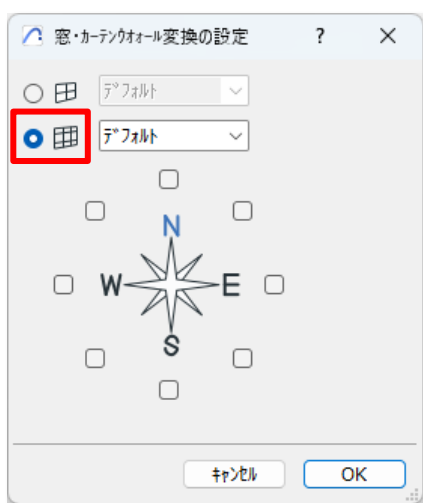
○ ゾーン集計で作成可能です。

[操作手順]

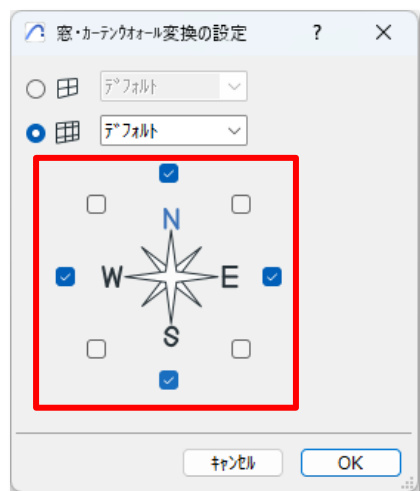
- 1) 「外壁変換方法選択」プルダウンメニューより、「外壁を作成」を選択します。
- 2) 必要に応じて、「お気に入り」を選択します。
- 3) 「窓・カーテンウォール作成方法指定」ボタンを選択します。



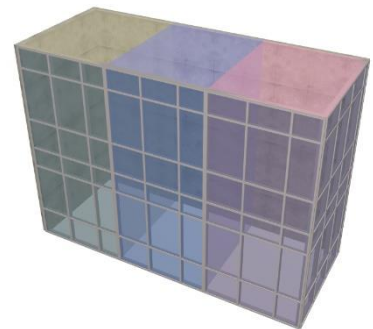
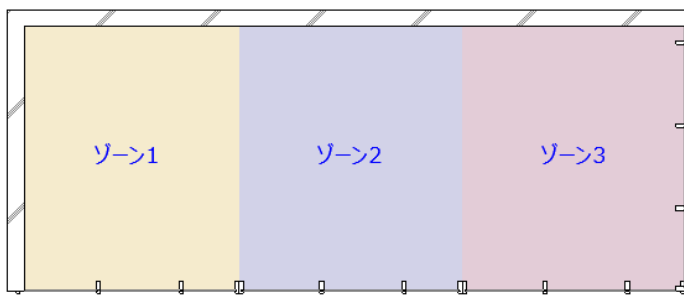
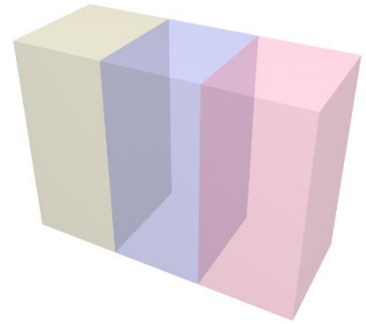
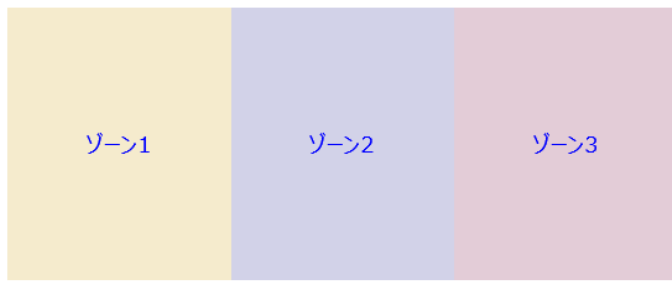
- 4) 「窓・カーテンウォール変換の設定」ダイアログが開きます。
- 5) 「カーテンウォール選択」にチェックを入れます。



- 6) 必要に応じて、「お気に入り」を選択します。
- 7) カーテンウォールを作成する方位にチェックを入れます。



- 8) 「OK」を選択します。
- 9) 「エレメント変換の設定」ダイアログで、「OK」を選択します。
- 10) 外壁及び、選択した方位にカーテンウォールが作成されます。



4-11-10 外壁を削除する

○ ゾーン集計/モルフ集計で選択可能です。

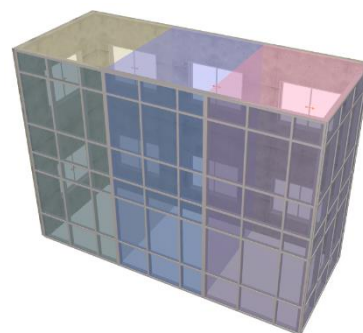
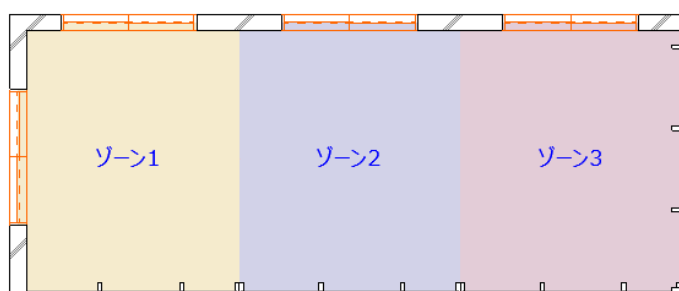
[操作手順]

- 1) 「外壁変換方法選択」プルダウンメニューより、「外壁を削除」を選択します。

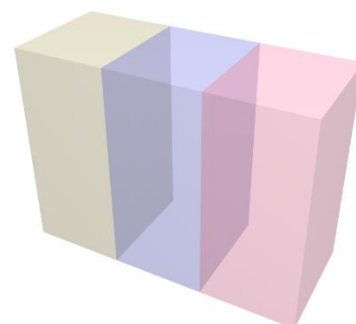
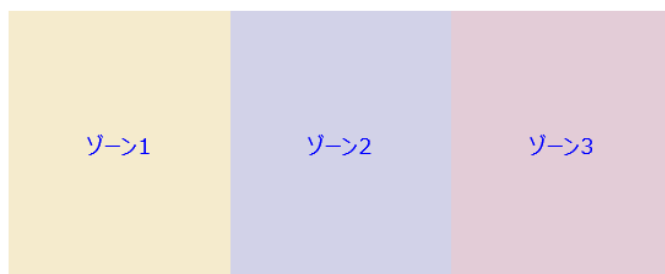


※上図は、ゾーン集計の場合です。

- 2) 「OK」を選択します。
- 3) 外壁、窓、及びカーテンウォールが削除されます。



外壁を削除



※上図は、ゾーン集計の場合です。

4-11-11 内壁を作成する

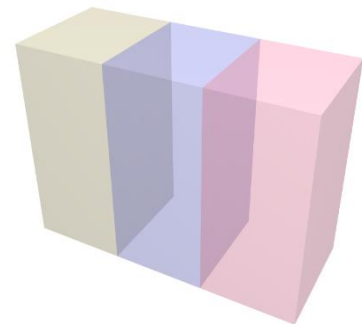
○ ゾーン集計/モルフ集計で作成可能です。

[操作手順]

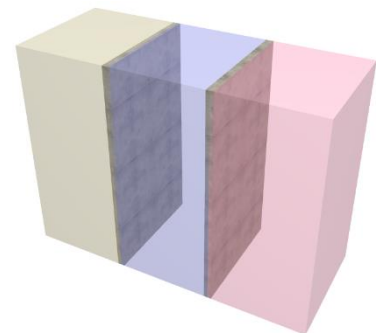
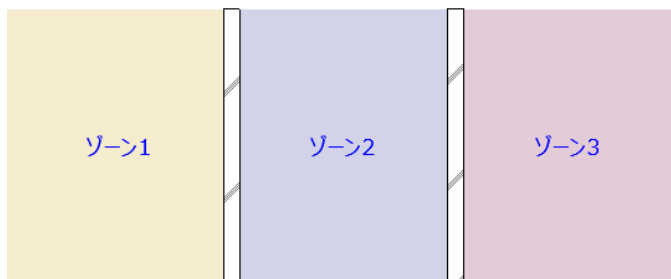
- 1) 「内壁変換方法選択」プルダウンメニューより、「内壁を作成」を選択します。



- 2) 必要に応じて、「お気に入り」を選択します。
- 3) 「OK」を選択します。
- 4) 内壁が作成されます。



内壁を作成



4-11-12 内壁を削除する

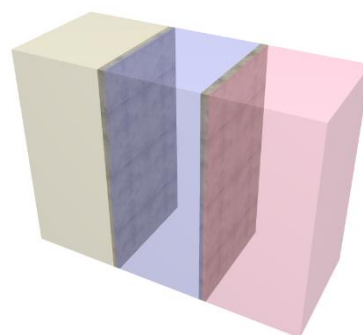
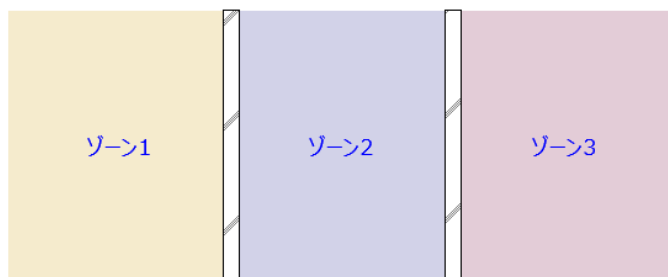
○ ゾーン集計/モルフ集計で選択可能です。

[操作手順]

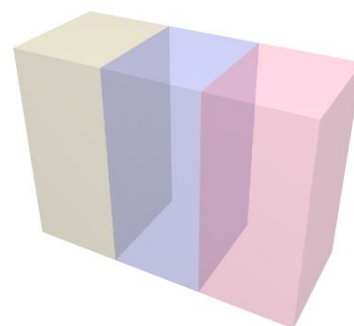
- 1) 「内壁変換方法選択」プルダウンメニューより、「内壁を削除」を選択します。



- 2) 「OK」を選択します。
- 3) 内壁が削除されます。



内壁を削除



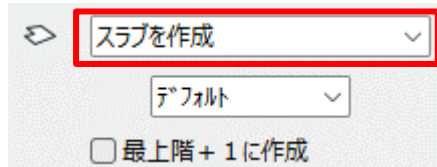
4-11-13 スラブを作成する

○ ゾーン集計/モルフ集計で作成可能です。

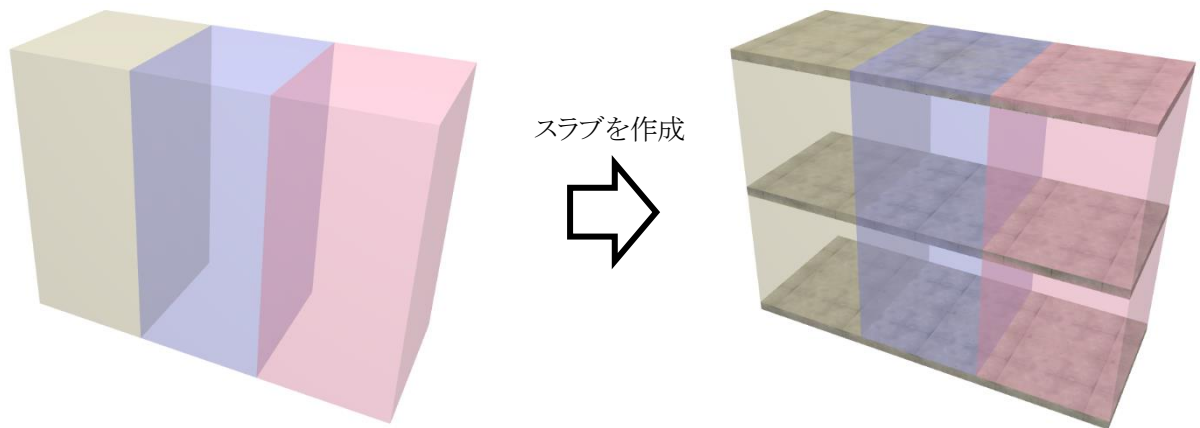
4-11-13-1 ゾーン集計でスラブを作成する

[操作手順]

- 1) 「スラブ変換方法選択」プルダウンメニューより、「スラブを作成」を選択します。



- 2) 必要に応じて、「お気に入り」を選択します。
- 3) 必要に応じて、「最上階+1 に作成」にチェックを入れます。
- 4) 「OK」を選択します。
- 5) スラブが作成されます。

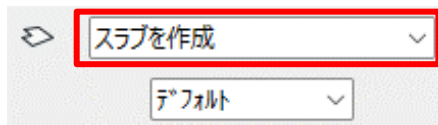


※上図は、「最上階+1 に作成」にチェックを入れた場合です。

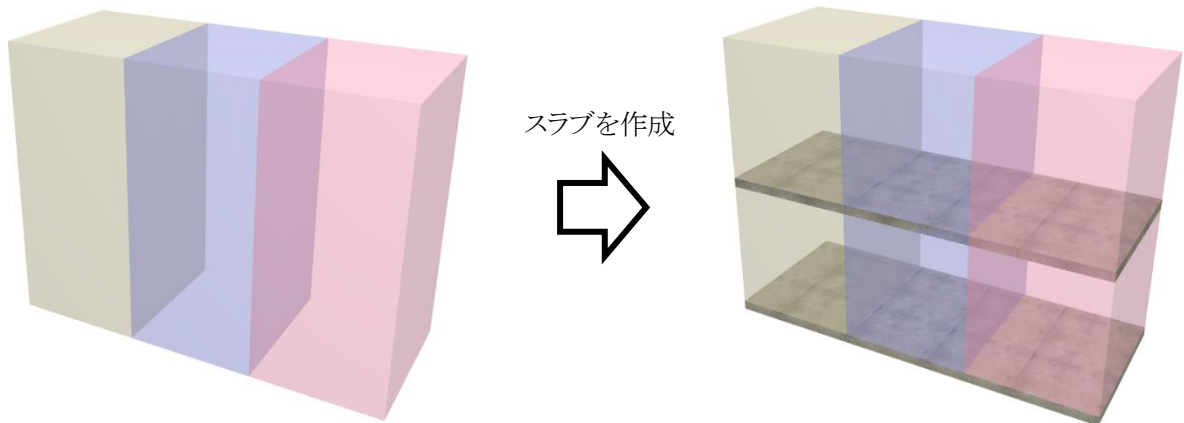
4-11-13-2 モルフ集計でスラブを作成する

[操作手順]

- 1) 「スラブ変換方法選択」プルダウンメニューより、「スラブを作成」を選択します。



- 2) 必要に応じて、「お気に入り」を選択します。
- 3) 「OK」を選択します。
- 4) スラブが作成されます。



4-11-14 スラブを削除する

○ ゾーン集計/モルフ集計で選択可能です。

[操作手順]

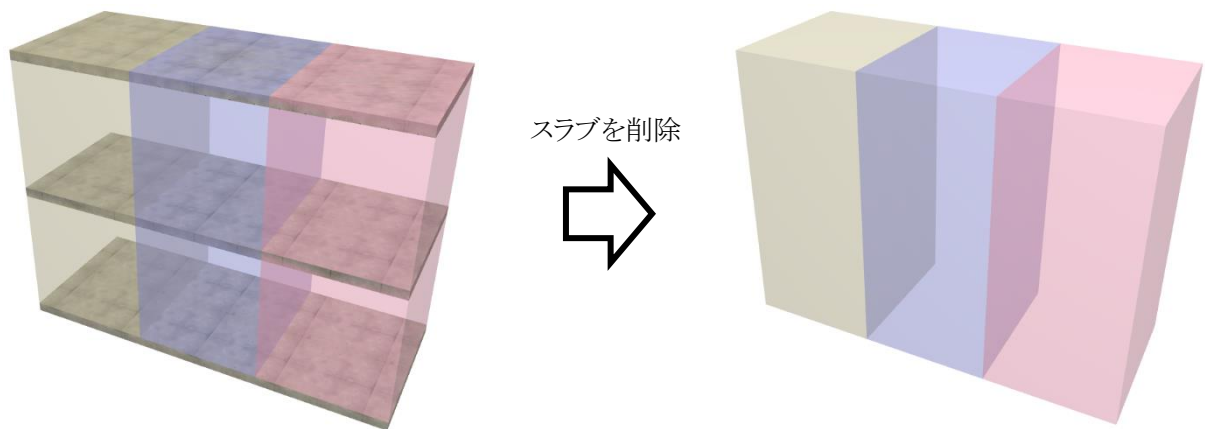
1) 「スラブ変換方法選択」プルダウンメニューより、「スラブを削除」を選択します。



※上図は、ゾーン集計の場合です。

2) 「OK」を選択します。

3) スラブが削除されます。



※上図は、ゾーン集計の場合です。

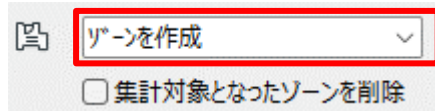
4-11-15 ゾーンを作成する

○ ゾーン集計/モルフ集計で作成可能です。

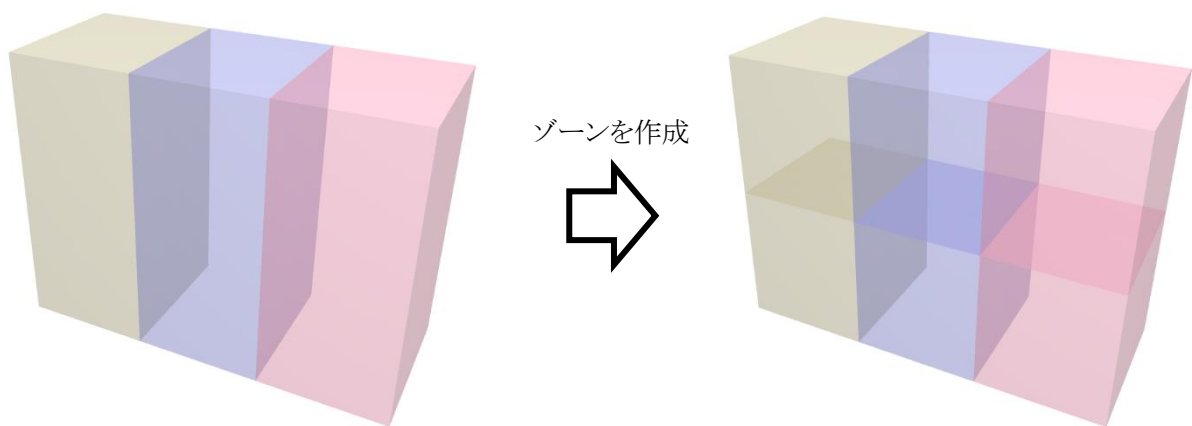
4-11-15-1 ゾーン集計でゾーンを作成する

[操作手順]

- 1) 「ゾーン変換方法選択」プルダウンメニューより、「ゾーンを作成」を選択します。



- 2) 必要に応じて、「集計対象となったゾーンを削除」にチェックを入れます。
- 3) 「OK」を選択します。
- 4) ゾーンが作成されます。



※上図は、「集計対象となったゾーンを削除」にチェックを入れた場合です。

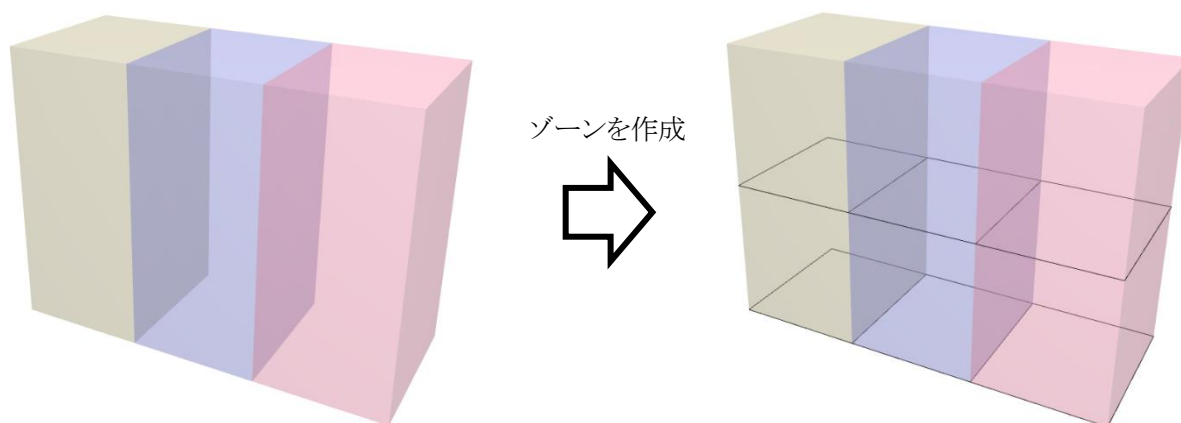
4-11-15-2 モルフ集計でゾーンを作成する

[操作手順]

- 1) 「ゾーン変換方法選択」プルダウンメニューより、「ゾーンを作成」を選択します。



- 2) 「高さ処理」を選択します。
- 3) 「OK」を選択します。
- 4) ゾーンが作成されます。



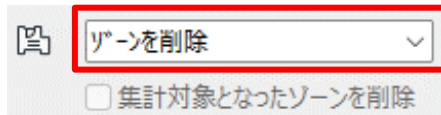
※上図は、「高さ処理」で「0m」を選択した場合です。

4-11-16 ゾーンを削除する

○ ゾーン集計/モルフ集計で選択可能です。

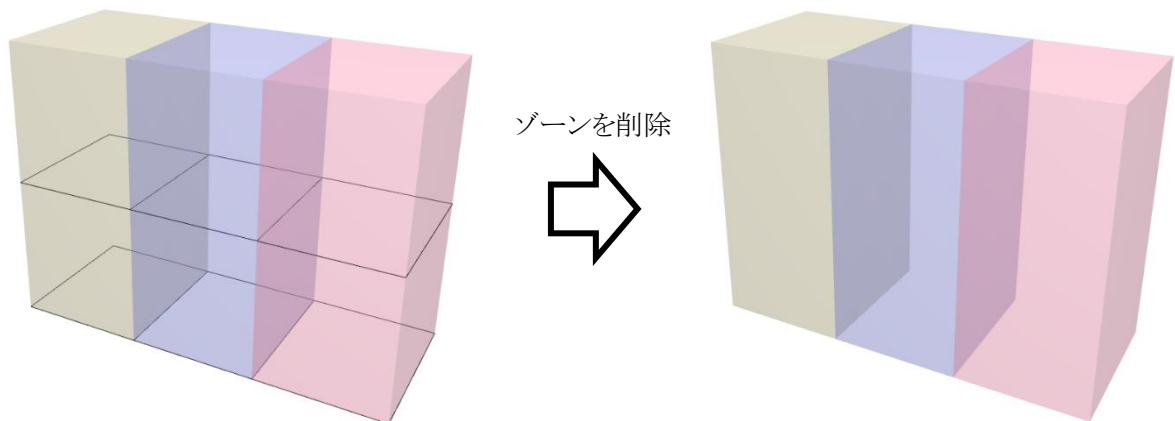
[操作手順]

- 1) 「ゾーン変換方法選択」プルダウンメニューより、「ゾーンを削除」を選択します。



※上図は、ゾーン集計の場合です。

- 2) 「OK」を選択します。
3) ゾーンが削除されます。



※上図は、モルフ集計の場合です。

5 カテゴリ集計

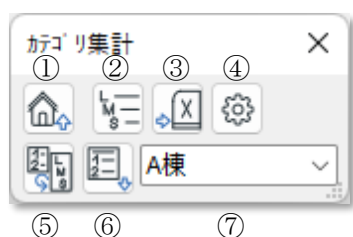
5-1 はじめに

- 分類項目毎、フロア毎、建物毎にゾーンの面積を集計します。
- ゾーン名及びゾーンカテゴリの設定を基に、分類を自動設定できます。
- Excel でカテゴリ集計テンプレートを作成し、面積集計結果を Excel に出力します。
- カテゴリ集計テンプレートを読み込み、ゾーンカテゴリを自動作成し追加します。

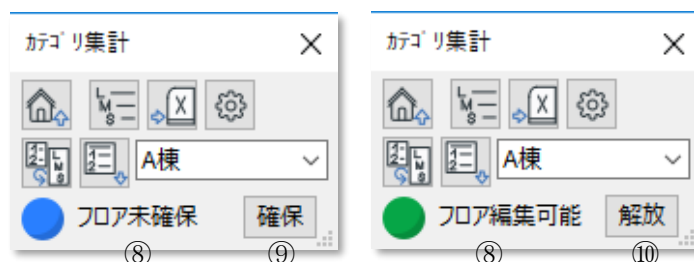
※ Windows 版のみの機能です

5-2 カテゴリ集計 サブパレット

・solo プロジェクトの場合

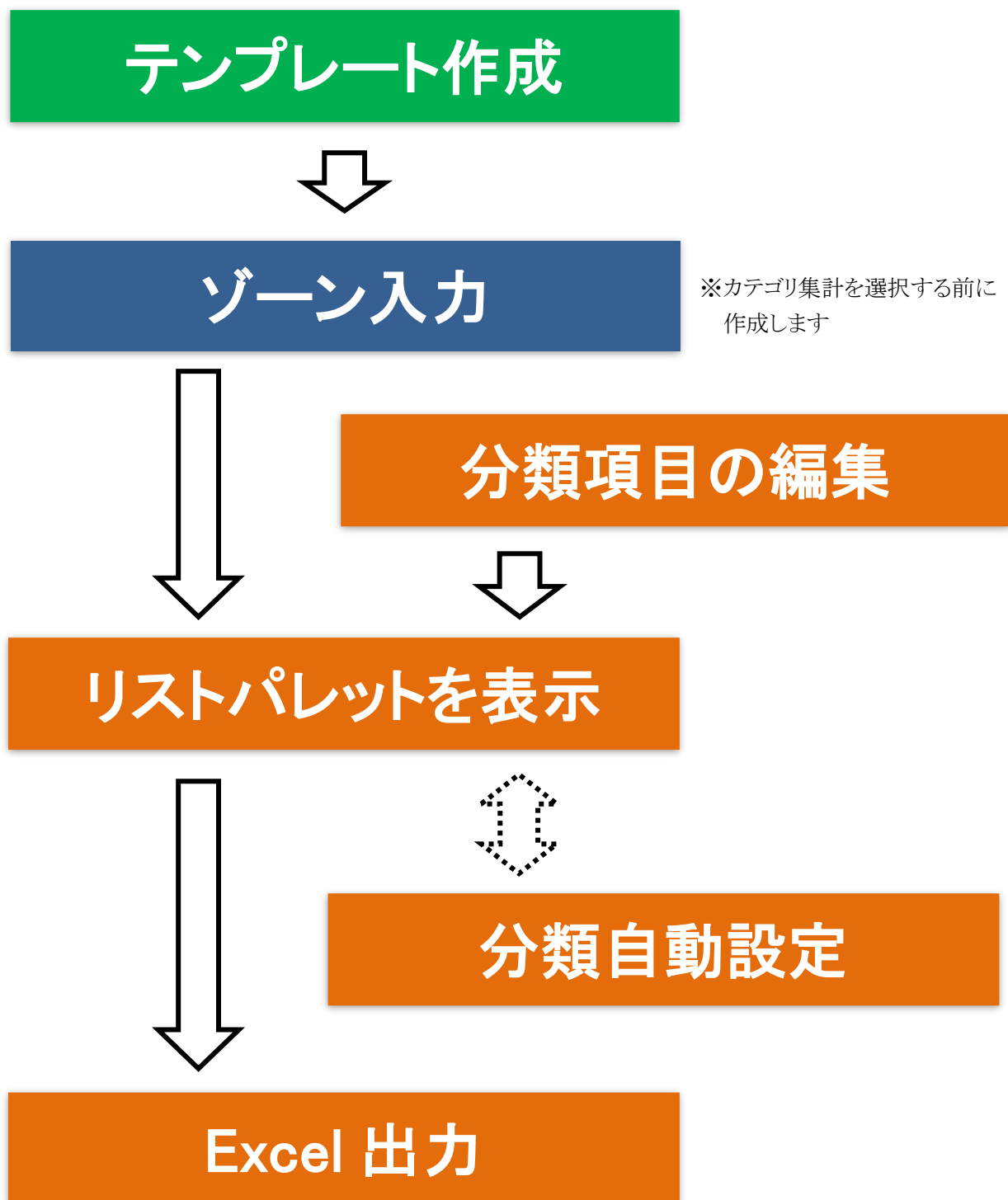


・チームワークプロジェクトの場合



番号	項目名	概要
①	メインパレットに戻る	メインパレットに戻ります
②	分類項目の編集	分類項目を設定します
③	Excel 出力	カテゴリ集計結果を Excel に出力します
④	環境設定	カテゴリ集計テンプレートファイル及び出力ファイルを設定します
⑤	分類自動設定	ゾーン名及びゾーンカテゴリを基に分類項目を自動設定します
⑥	リストパレットを表示	ゾーンをリスト表示し、分類項目を設定します
⑦	建物の種類	複数建物のカテゴリ集計を行う場合に、カテゴリ集計を実行する建物を選択します
⑧	フロア確保状況	表示中のフロアの確保状況を表示します
⑨	確保	表示中のフロアを確保します
⑩	解放	表示中のフロアを解放します

5-3 カテゴリ集計のワークフロー



・凡例



: 本システムの操作



: Excel の操作



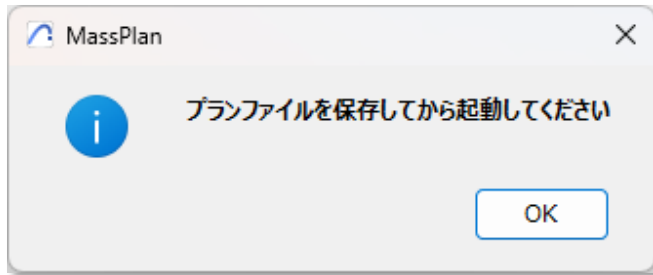
: Archicad の操作

5-4 カテゴリ集計の準備

5-4-1 プロジェクトファイルを保存する

- 「名称未設定」のプロジェクトファイルでは利用できません。
- プロジェクトファイル名が「名称未設定」の場合、エラーメッセージが開きます。

5-4-1-1 プロジェクトファイル名が「名称未設定」の場合のエラーメッセージ



5-4-2 ゾーンをカテゴリ集計に反映する

- メインパレットより「ゾーン集計」を選択した時に、カテゴリ集計へ入力済ゾーンが反映されます。
- ゾーン作成後に、メインパレットより「ゾーン集計」を選択します。
- ゾーンの編集を行う場合は、「カテゴリ集計」サブパレットを閉じた状態で行います。
- 「カテゴリ集計」サブパレットを開いた状態でのゾーンの編集はカテゴリ集計に反映されません。
- ゾーン編集後に、メインパレットより「ゾーン集計」を選択します。

5-4-3 カテゴリ集計テンプレートファイルについて

- カテゴリ集計テンプレートは Excel で作成します。
- 最初のカテゴリ集計実行時に、「ファイルを開く」ダイアログが開きます。
- 必ずカテゴリ集計テンプレートを読み込む必要があります。
- カテゴリ集計テンプレートを読み込むと、作成した分類項目及びゾーンカテゴリの色に応じて、ゾーンカテゴリを自動作成し追加します。
- カテゴリ集計テンプレートのサンプルデータは、以下に保存されています。(**はバージョンを示します。)
「C:¥Program Files¥GRAPHISOFT¥ARCHICAD**¥Add-Ons¥EPCOT Software¥Massplan」

5-4-4 カテゴリ集計テンプレートを作成する

- A 列及び 1 行目に指定の文字列を設定する必要があります。
- シートの名称に指定はありません。
- ゾーンカテゴリの色は RGB 値で設定します。

5-4-4-1 カテゴリ集計テンプレートの構成

- サンプルテンプレート(「カテゴリ集計テンプレート(複数棟).xls」)を基に、カテゴリ集計テンプレートの構成を確認します。
- サンプルテンプレートでは、黄色の塗りつぶしセルがカテゴリ集計実行時に読み込まれます。

- A 列の 1 行目を除く任意の行に、「棟」及び「階」を設定します。

	A
7	棟
8	階

※ サンプルテンプレートでは、「A7」及び「A8」に設定されています。

- 「棟」を設定した行の、カテゴリ集計実行結果を出力する列に、建物名を設定します。
- 設定した建物名が、「カテゴリ集計」サブパレットの「建物の種類」プルダウンメニューに反映されます。

	A	L	M	N	O	P	W	X	Y	Z	AA
7	棟	A棟	A棟	A棟	A棟	A棟	A棟		B棟	B棟	B棟
8	階	B2	B1	1階	2階	3階	10階		B1	1階	2階

- 「階」を設定した行の、カテゴリ集計実行結果を出力する列に、プロジェクトのフロアの名前を設定します。
- 「階」を設定した行の設定と、プロジェクトのフロアの名前が一致する場合に、カテゴリ集計実行結果を出力します。
- 複数の「棟」がある場合は、棟毎に設定します。

	A	L	M	N	O	P	W	X	Y	Z	AA
7	棟	A棟	A棟	A棟	A棟	A棟	A棟		B棟	B棟	B棟
8	階	B2	B1	1階	2階	3階	10階		B1	1階	2階

- 下図の文字列を、任意の列の 1 行目に設定をします。
- 1 行目以外に設定した場合、設定が反映されません。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
	E	F	G	H	I	J	K
1	大分類	中分類	小分類	ゾーンカテゴリ名前	ゾーンカテゴリ赤	ゾーンカテゴリ緑	ゾーンカテゴリ青

※ サンプルテンプレートでは、「E1」から「K1」に設定されています。

- サンプルテンプレートでの、E 列から K 列の各行の設定は下記の通りです。

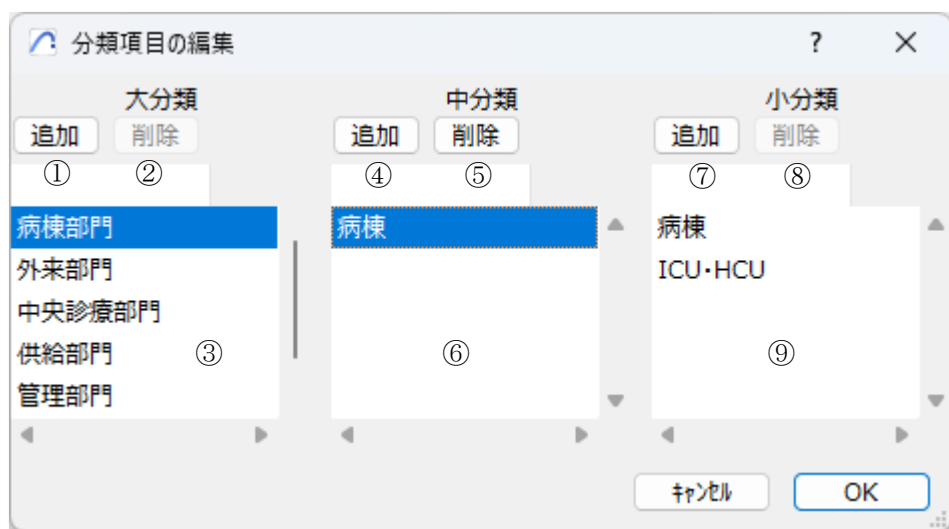
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
	E	F	G	H	I	J	K
1	大分類	中分類	小分類	ゾーンカテゴリ名前	ゾーンカテゴリ赤	ゾーンカテゴリ緑	ゾーンカテゴリ青
9	病棟部門	病棟	病棟	病棟	195	235	195
10	病棟部門	病棟	ICU・HCU	病棟	195	235	195
11							
12	外来部門	外来	各科	外来	225	255	255
13	外来部門	外来	中央処置	外来	225	255	255
14	外来部門	外来	健診	外来	225	255	255
15	外来部門	外来	化学療法	外来	225	255	255
16	外来部門	救急	救急	救急	240	120	120

番号	項目名	概要
①	大分類	分類項目「大分類」の集計項目名を設定します
②	中分類	分類項目「中分類」の集計項目名を設定します
③	小分類	分類項目「小分類」の集計項目名を設定します
④	ゾーンカテゴリ名前	カテゴリ集計テンプレートファイル読み込み時に作成されるゾーンカテゴリの名前を設定します 「中分類」と同じ文字列とします
⑤	ゾーンカテゴリ赤	カテゴリ集計テンプレートファイル読み込み時に作成されるゾーンカテゴリの RGB 値の「R」の値を、「0～255」で設定します
⑥	ゾーンカテゴリ緑	カテゴリ集計テンプレートファイル読み込み時に作成されるゾーンカテゴリの RGB 値の「G」の値を、「0～255」で設定します
⑦	ゾーンカテゴリ青	カテゴリ集計テンプレートファイル読み込み時に作成されるゾーンカテゴリの RGB 値の「B」の値を、「0～255」で設定します

5-5 分類項目の編集

- 分類項目を設定します。
- 分類項目は、「大分類」、「中分類」、及び「小分類」の3つがあります。
- 分類項目を設定すると、プロジェクトファイル保存場所に、「(プロジェクト名) 集計表.xls」が保存されます。
- 中分類を含まない大分類は出力されません。

5-5-1 「分類項目の編集」ダイアログ



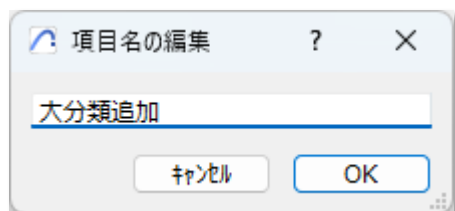
番号	項目名	概要
①	大分類追加	大分類を追加します
②	大分類削除	大分類は削除できません 常にグレー表示です
③	大分類リスト	大分類を表示します
④	中分類追加	選択した大分類に中分類を追加します
⑤	中分類削除	選択した中分類を削除します
⑥	中分類リスト	中分類を表示します
⑦	小分類追加	選択した中分類に小分類を追加します
⑧	小分類削除	選択した小分類を削除します
⑨	小分類リスト	小分類を表示します

5-5-2 大分類を追加する

○ 中分類の設定されていない大分類は出力されません。大分類追加後は中分類を追加して下さい。

[操作手順]

- 1) 「大分類追加」を選択します。
- 2) 「項目名の編集」ダイアログが開きます。



- 3) 追加する大分類項目名を設定します。
- 4) 「OK」を選択します。
- 5) 「大分類リスト」に大分類が追加されます。



5-5-3 中分類を追加する

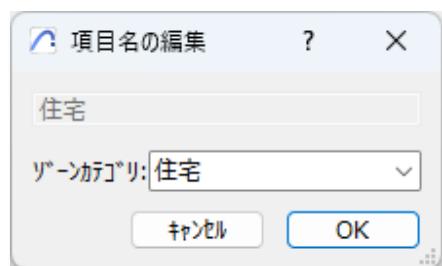
- 中分類はゾーンカテゴリから選択します。
- 中分類の設定されていない大分類は出力されません。

[操作手順]

- 1) 「大分類リスト」より、中分類を追加する大分類を選択します。



- 2) 「中分類追加」を選択します。
3) 「項目名の編集」ダイアログが開きます。



- 4) 「ゾーンカテゴリ」プルダウンメニューより、中分類として追加するゾーンカテゴリを選択します。



- 5) 「OK」を選択します。
6) 選択した大分類の「中分類リスト」に中分類が追加されます。

5-5-4 中分類を削除する

[操作手順]

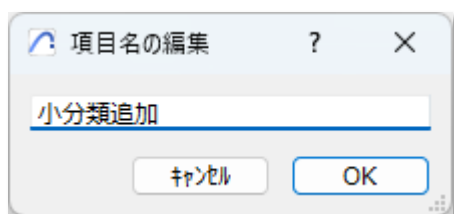
- 1) 「大分類リスト」より、中分類を削除する大分類を選択します。
- 2) 「中分類リスト」より、削除する中分類を選択します。
- 3) 「中分類削除」を選択します。
- 4) 選択した大分類の「中分類リスト」から選択した中分類が削除されます。

5-5-5 小分類を追加する

○ 小分類の設定は必須ではありません。

[操作手順]

- 1) 「中分類リスト」より、小分類を追加する中分類を選択します。
- 2) 「項目名の編集」ダイアログが開きます。
- 3) 追加する小分類項目名を設定します。



- 4) 「OK」を選択します。
- 5) 選択した中分類の「小分類リスト」に小分類が追加されます。



5-6 リストパレットを表示

- 選択中のフロアで表示しているゾーンをリスト表示し、分類項目を設定します。
- 「分類自動設定」で、分類項目を自動設定することができます。

5-6-1 「集計」ダイアログ



番号	項目名	概要
①	部屋名	ゾーン名を表示します
②	記号	ゾーンカテゴリコードを表示します
③	カテゴリ	ゾーンカテゴリ名を表示します
④	大分類	大分類を選択します 「分類項目の編集」で設定した大分類が選択可能です
⑤	中分類	中分類を選択します 「分類項目の編集」で設定した中分類が選択可能です
⑥	小分類	小分類を表示します 「分類項目の編集」で設定した小分類が選択可能です 選択した中分類に小分類が設定されていない場合は、空欄になります

5-6-2 大分類を設定する

[操作手順]

- 1) 「大分類」プルダウンメニューより、大分類を選択します。

部屋名	記号	カテゴリ	大分類	中分類	小分類
病棟	病棟部門	病棟	病棟部門	病棟	病棟
内視鏡	中央診療部門	検査	中央診療部門	検査	内視鏡
透析	中央診療部門	透析	中央診療部門	透析	
中材	供給部門	中材	供給部門	中材	
中央処置	外来部門	外来	外来部門	外来	中央処置
地域医療	管理部門	地域医療	管理部門	地域医療	

5-6-3 中分類を設定する

[操作手順]

- 1) 「中分類」プルダウンメニューより、中分類を選択します。

部屋名	記号	カテゴリ	大分類	中分類	小分類
病棟	病棟部門	病棟	病棟部門	病棟	病棟
内視鏡	中央診療部門	検査	中央診療部門	検査	内視鏡
透析	中央診療部門	透析	中央診療部門	透析	
中材	供給部門	中材	供給部門	中材	
中央処置	外来部門	外来	外来部門	外来	中央処置
地域医療	管理部門	地域医療	管理部門	地域医療	

※選択した大分類に対して設定されている中分類が選択可能です。

5-6-4 小分類を設定する

[操作手順]

- 1) 「小分類」プルダウンメニューより、小分類を選択します。

部屋名	記号	カテゴリ	大分類	中分類	小分類
病棟	病棟部門	病棟	病棟部門	病棟	病棟
内視鏡	中央診療部門	検査	中央診療部門	検査	内視鏡
透析	中央診療部門	透析	中央診療部門	透析	
中材	供給部門	中材	供給部門	中材	
中央処置	外来部門	外来	外来部門	外来	中央処置
地域医療	管理部門	地域医療	管理部門	地域医療	

※選択した中分類に対して設定されている小分類が選択可能です。

※選択した中分類に小分類が設定されていない場合は、選択できません。

5-7 分類自動設定

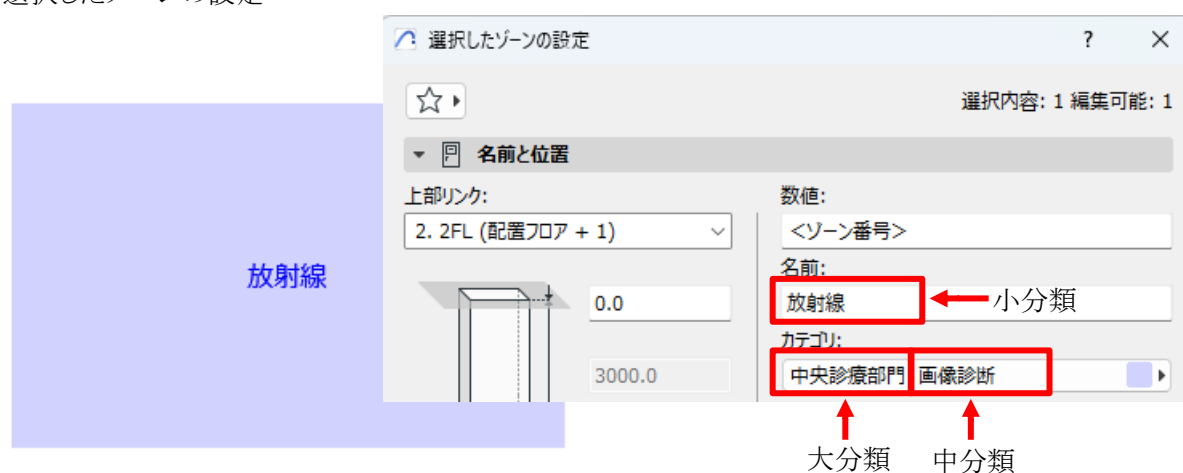
- ゾーン名及びゾーンカテゴリの設定を基に分類項目を自動設定します。
- 分類自動設定の結果は、リストパレットで確認します。

5-7-1 分類項目の自動設定とゾーンの関係

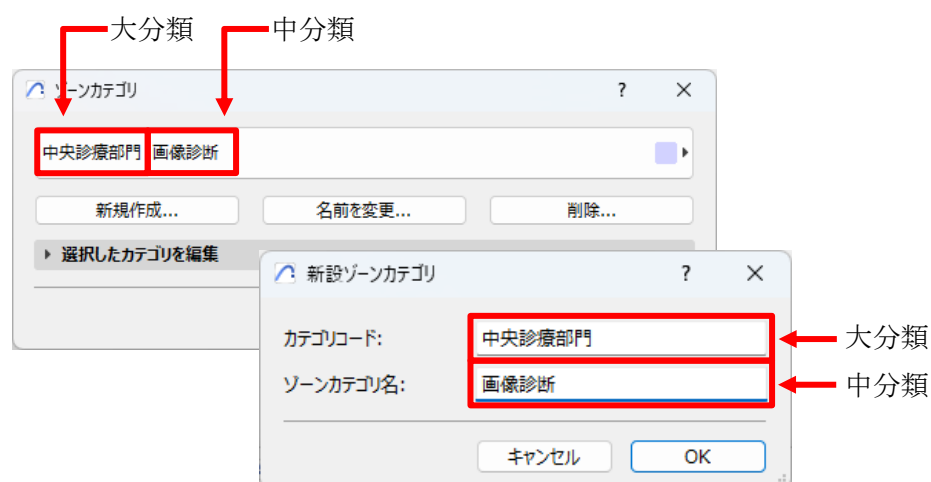
- 分類項目と、対応するゾーン名またはゾーンカテゴリが一致する場合に、分類項目が自動設定されます。
- 小分類の設定が1つの場合は、ゾーン名と小分類が一致しない場合でも、小分類が自動設定されます。

分類項目	ゾーン
大分類	ゾーンカテゴリの「カテゴリコード」が対応します
中分類	ゾーンカテゴリの「ゾーンカテゴリ名」が対応します
小分類	ゾーン名が対応します

・選択したゾーンの設定



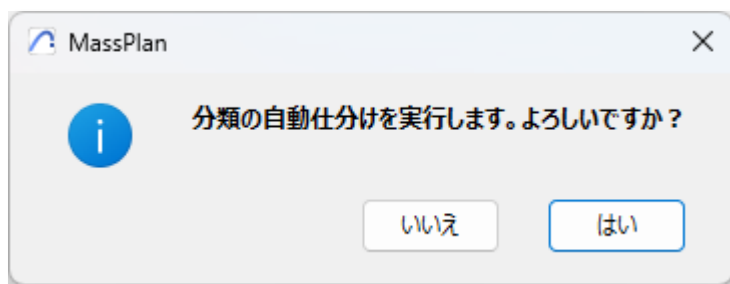
・Archicad オプションメニュー>属性設定>ゾーンカテゴリ



5-7-2 分類項目を自動設定する

[操作手順]

- 1) 「分類移動設定」を選択します。
- 2) 確認ダイアログが開きます。



- 3) 「はい」を選択します。
- 4) 分類項目の自動仕分け結果はリストバレットに反映されます。

集計			大分類	中分類	小分類
部屋名	記号	カテゴリ			
ICU・HCU	病棟部門	病棟	未定義	未定義	未定義
病棟	病棟部門	病棟	未定義	未定義	未定義
透析	中央診療部門	透析	未定義	未定義	未定義
放射線	中央診療部門	画像診断	未定義	未定義	未定義



分類自動設定

ゾーンカテゴリコードが大分類に対応します

集計			大分類	中分類	小分類
部屋名	記号	カテゴリ			
ICU・HCU	病棟部門	病棟	病棟部門	病棟	ICU・HCU
病棟	病棟部門	病棟	病棟部門	病棟	病棟
透析	中央診療部門	透析	中央診療部門	透析	
放射線	中央診療部門	画像診断	中央診療部門	画像診断	放射線

ゾーンカテゴリ名が中分類に対応します

ゾーン名が小分類に対応します

※自動分類できない場合、各分類項目は「未定義」になります。

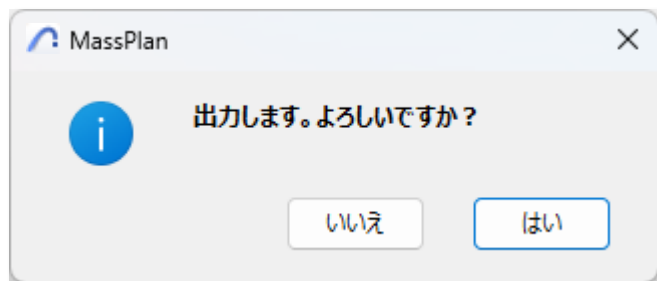
5-8 Excel 出力

- カテゴリ集計結果を Excel に出力します。
 - 選択中のフロアで表示しているゾーンが、カテゴリ集計の対象です。
 - 設定したゾーンカテゴリの分類によって集計されます。
 - カテゴリ集計テンプレートの「階」行の文字列と、プロジェクトのフロア設定が一致する場合に出力されます。
 - プロジェクトファイル保存場所に、適用中のカテゴリ集計テンプレートファイルにカテゴリ集計結果を上書きした「(プロジェクト名) 集計表.xls」が保存されます。
 - プロジェクトファイル保存場所に「(プロジェクト名) 集計表.xls」が存在する場合は、カテゴリ集計結果を上書きします。
 - チームワークプロジェクトで Excel 出力を実行する場合は、「環境設定」より、出力ファイルを指定します。
- ※ ビルド番号が「16.0」以降の Excel のバージョンに対応しています。ビルド番号「15」以前のバージョンの場合、出力できない場合があります。

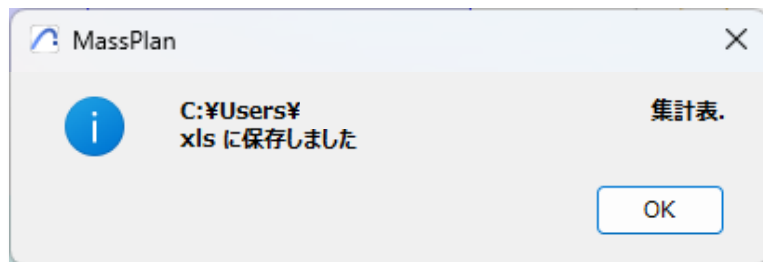
5-8-1 カテゴリ集計結果を出力する

[操作手順]

- 1) 「建物の種類」プルダウンメニューより、カテゴリ集計結果を出力する建物を選択します。
- 2) 複数建物の出力を行う場合、カテゴリ集計を行わない建物のゾーンを非表示にします。
- 3) 「カテゴリ集計」サブパレットより、「Excel 出力」を選択します。
- 4) 確認ダイアログが開きます。



- 5) 「はい」を選択します。
- 6) 確認ダイアログが開きます。

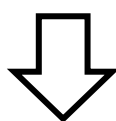


- 7) 選択した建物のカテゴリ集計結果を出力した Excel ファイルが開きます。
- 8) 複数建物の出力を行う場合、1)～7)の操作を繰り返します。

5-8-2 出力ファイルについて

- 出力した Excel ファイルのカテゴリ集計用設定セルを非表示にして体裁を整えます。
- サンプルデータでは、黄色の塗りつぶしセルを非表示にします。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S
1					大分類	中分類	小分類	ゾーンカテゴリ名前	ゾーンカテゴリゾーンカテゴリゾーンカテゴリ										
2																			
3																			
4																			
5																			
6																			
7																			
8																			
9																			
10																			
11																			
12																			
13																			
14																			
15																			
16																			
17																			
18																			
19																			
20																			
21																			
22																			
23																			
24																			
25																			
26																			



カテゴリ集計用設定セルを非表示

	A	B	C	D	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	
16																	
17																	
18																	
19																	
20																	
21																	
22																	
23																	
24																	
25																	
26																	
27																	
28																	
29																	
30																	
31																	

- 端数桁数は第 13 位まで出力します。
- 端数処理は Excel のセルの設定に依存します。

	L	M	N
6	B2	B1	1
7	A棟	A棟	A棟
8	B2	B1	1階
9			32.56738
10			32.56738

N9

×

✓

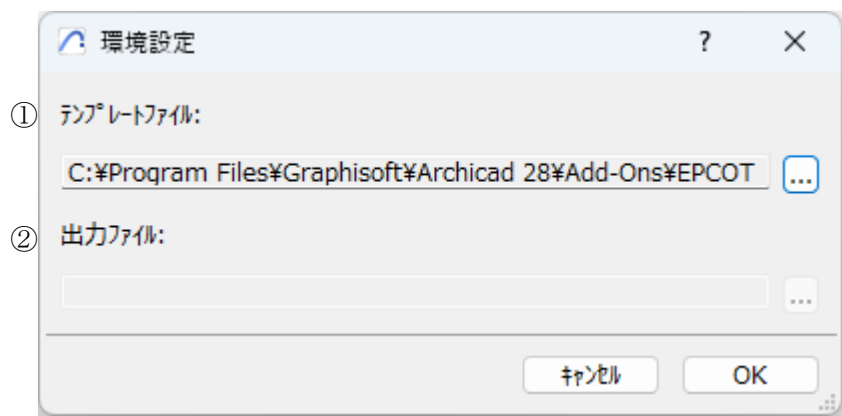
f_x

32.5673802484692

5-9 環境設定

- カテゴリ集計テンプレートファイル及び出力ファイルを設定します。
- カテゴリ集計テンプレートファイルを変更した場合、変更後のカテゴリ集計テンプレートファイルの設定に合わせて、ゾーンカテゴリが変更または追加されます。

5-9-1 「環境設定」ダイアログ



番号	項目名	概要
①	テンプレートファイル	カテゴリ集計テンプレートファイルを選択します
②	出力ファイル	チームワークプロジェクトの場合の出力ファイルを選択します

5-10 チームワークでの利用について

- チームワークプロジェクトで初めてカテゴリ集計を選択した場合、カテゴリ集計結果の出力先を指定します。
- チームワークプロジェクトでカテゴリ集計を行う場合は、フロアを確保する必要があります。

6 干渉チェック

6-1 はじめに

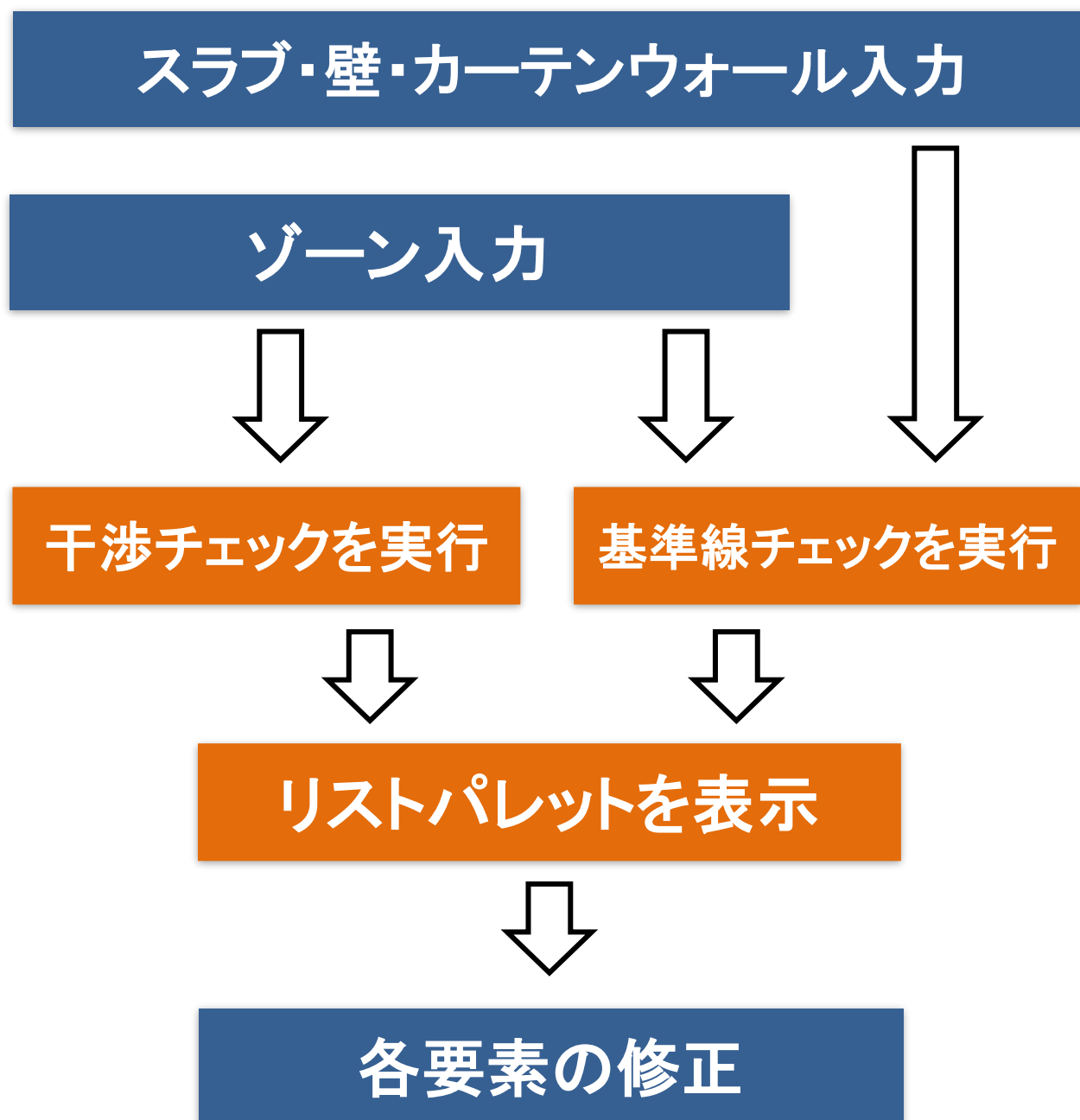
- ゾーン同士の干渉またはズレをチェックします。
- ゾーン・スラブ・壁・カーテンウォールの基準線からのズレをチェックします。

6-2 干 渉 チェックサブパレット



番号	項目名	概要
①	メインパレットに戻る	メインパレットに戻ります
②	干渉チェックを実行	ゾーン同士の干渉またはズレをチェックし、結果を塗りつぶしで表示します
③	基準線チェックを実行	ゾーン・スラブ・壁・カーテンウォールの基準線または辺が、対象とした要素の基準線または辺と同一線上にあるかチェックし、結果を塗りつぶしで表示します
④	削除	チェック結果塗りつぶしを削除します
⑤	環境設定	チェック結果塗りつぶしの設定を行います
⑥	リストパレットを表示	チェック結果をリスト表示します

6-3 干渉チェックのワークフロー



・凡例



:本システムの操作

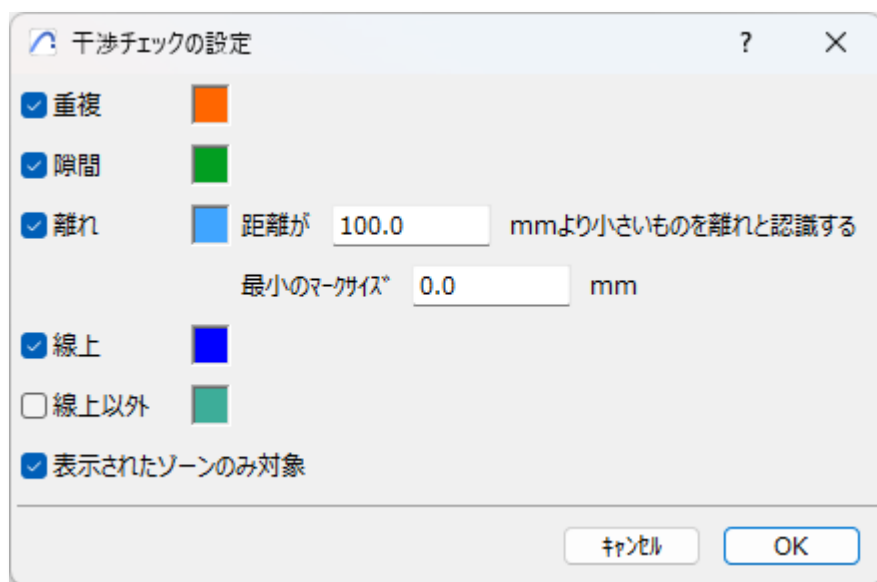


:Archicad の操作

6-4 干渉チェックを実行

- ゾーン同士の干渉またはズレをチェックし、結果を塗りつぶしで表示します。
- チェック結果塗りつぶしは、「Massplan ゾーンチェック」レイヤーに作成されます。

6-4-1 「干渉チェックの設定」ダイアログ



番号	項目名	概要	
①	重複	チェックを入れると、ゾーン同士が重複しているかチェックします	
②	隙間	チェックを入れると、複数のゾーンに囲まれた閉じた空間があるかチェックします	
③	離れ	チェックを入れると、隣り合うゾーン間に空間があるかチェックします	
		距離	離れと認識する距離を設定します
		最小のマークサイズ	チェック結果塗りつぶしの半径を設定します 「0.0mm」とした場合、離れと同じ半径が適用されます
④	線上	チェックを入れると、ゾーンの辺が、他のゾーンの辺と同一線上にあるかチェックします	
⑤	線上以外	チェックを入れると、ゾーンの辺が、他のゾーンの辺と同一線上にないかチェックします	
⑥	表示されたゾーンのみ対象	チェックを入れると、表示しているゾーンのみを干渉チェックの対象とします	

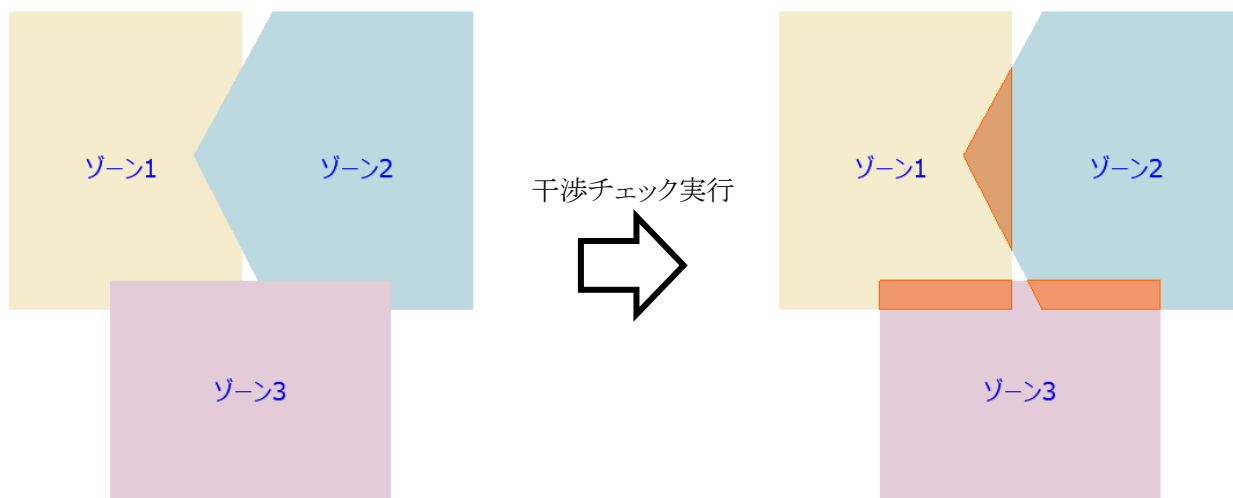
6-4-2 干渉チェックを実行する

[操作手順]

- 1) 干渉チェックを実行する項目にチェックを入れます。
- 2) 必要に応じて、「表示されたゾーンのみ対象」にチェックを入れます。
- 3) 「OK」を選択します。

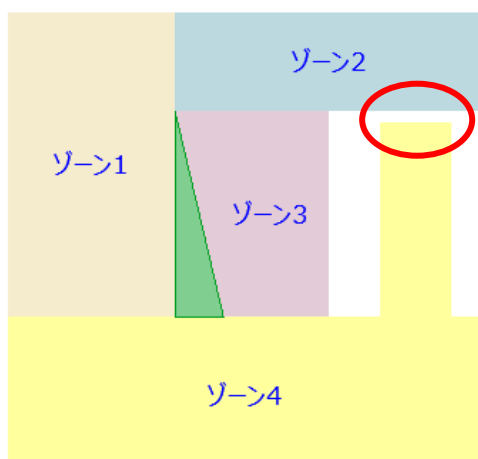
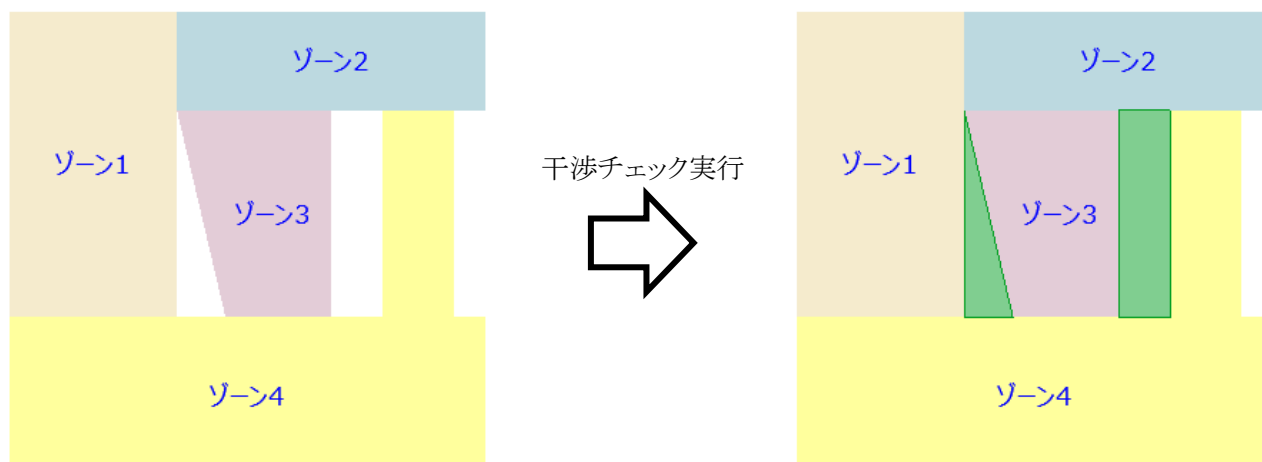
6-4-3 重複

○ ゾーン同士が重複しているかチェックします。



6-4-4 隙間

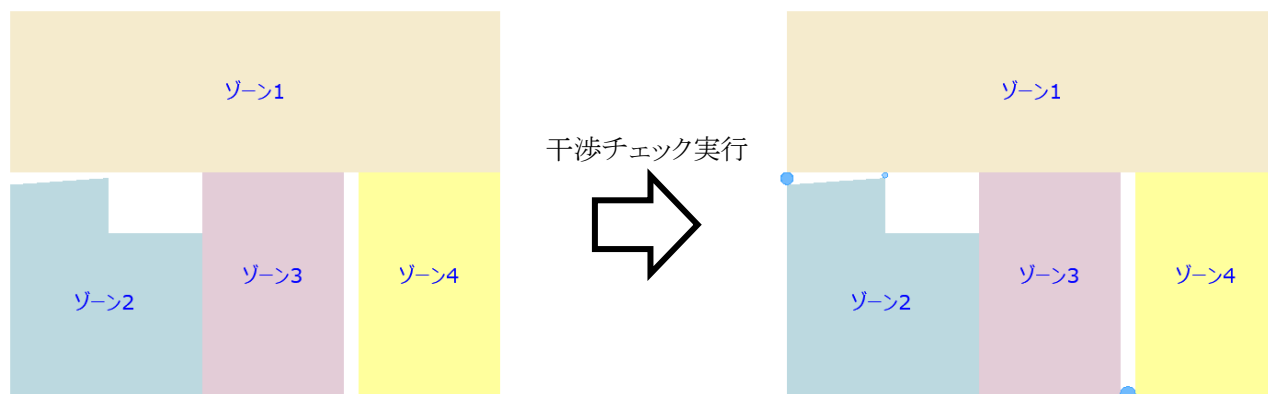
○ ゾーン同士に隙間があるかチェックします。



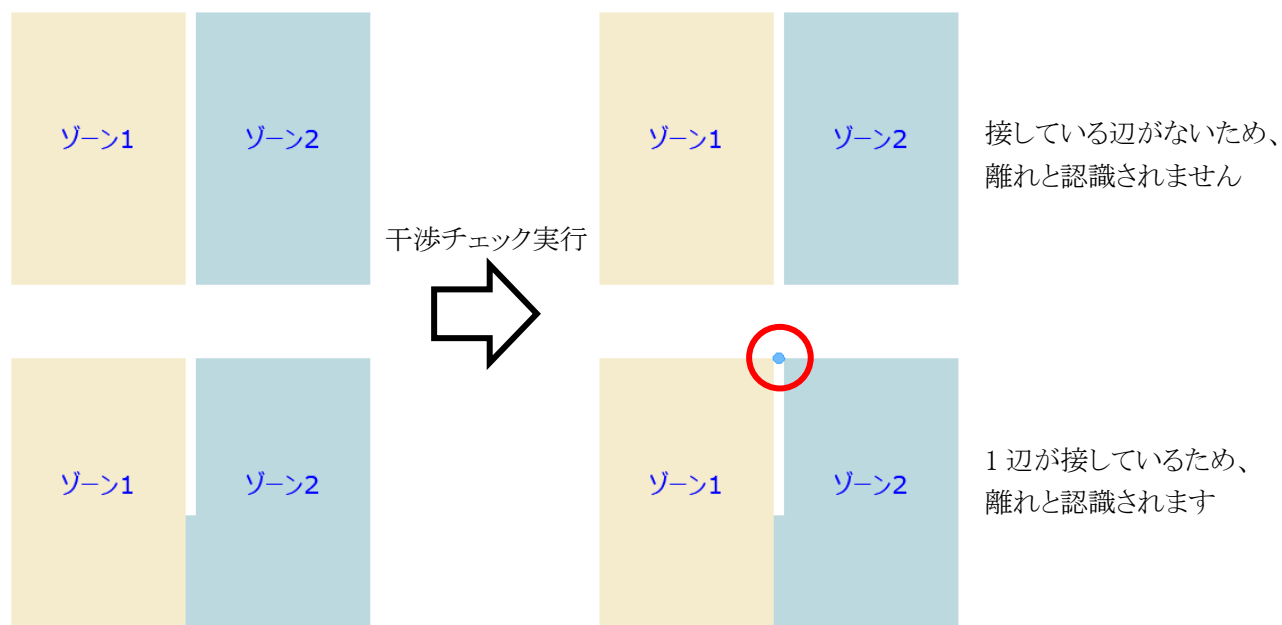
複数のゾーンに囲まれた空間が閉じられていない場合は、隙間として認識されません

6-4-5 離れ

○ ゾーン同士に離れがあるかチェックします。



○ ゾーン同士の辺が、少なくとも1つ以上は接している必要があります。



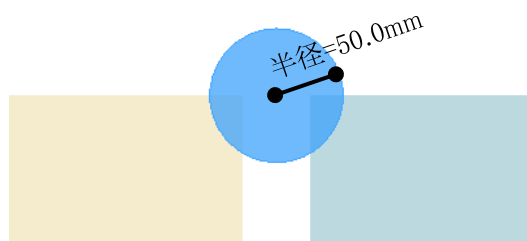
6-4-5-1 最小のマークサイズ

○ 設定によって、チェック結果塗りつぶしの半径が異なります。

・「0.0mm」

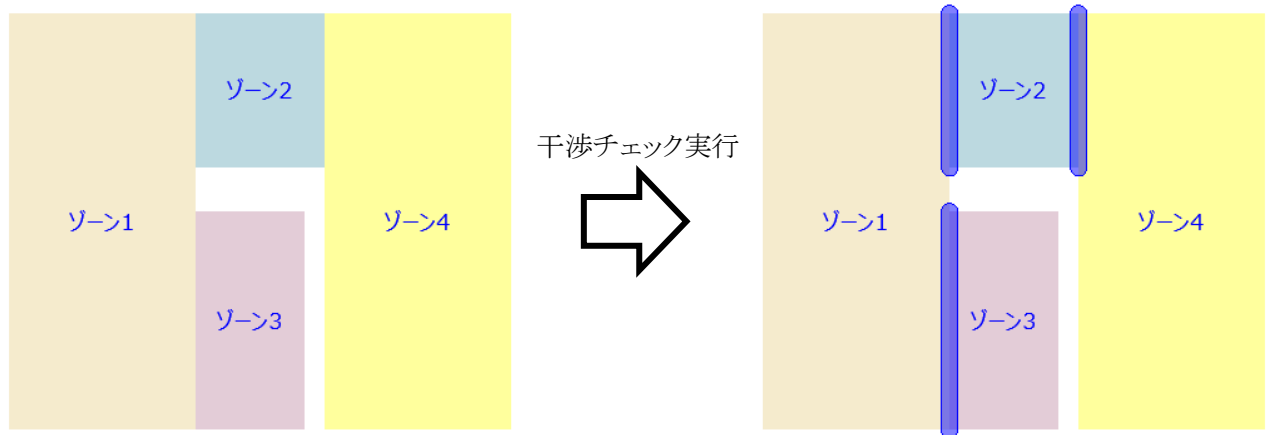


・「50.0mm」



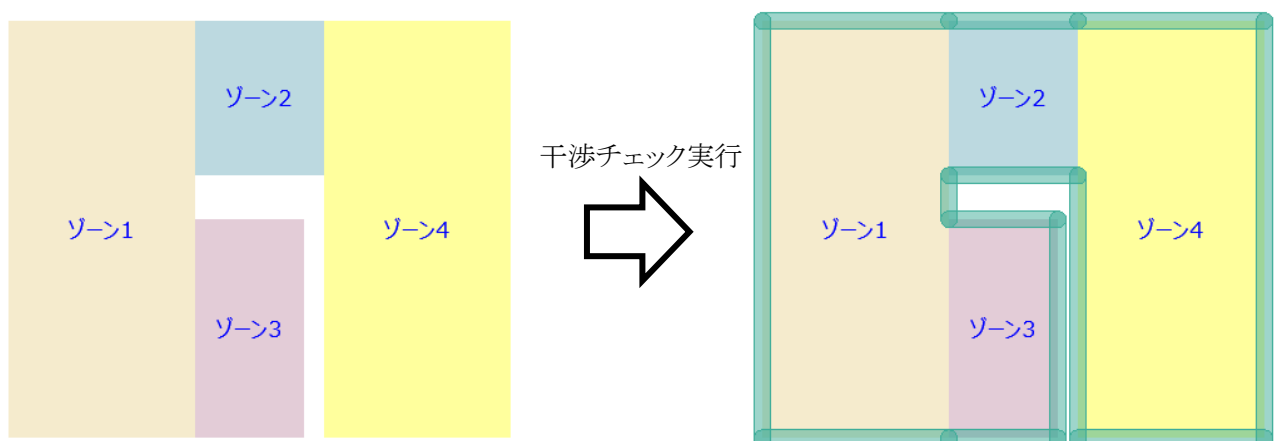
6-4-6 線上

○ ゾーンの辺が、他のゾーンの辺と同一線上にあるかをチェックします。



6-4-7 線上以外

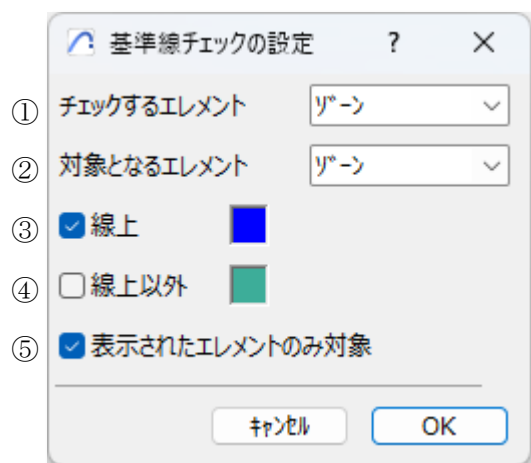
○ ゾーンの辺が、他のゾーンの辺と同一線上にないかをチェックします。



6-5 基準線チェックを実行

- ゾーン・スラブ・壁・カーテンウォールの基準線または辺が、対象とした基準線または辺と同一線上にあるかチェックし、結果を塗りつぶしで表示します。
- チェック結果塗りつぶしは、「Massplan ゾーンチェック」レイヤーに作成されます。

6-5-1 「基準線チェックの設定」ダイアログ



番号	項目名	概要
①	チェックするエレメント	チェック結果を取得する要素を選択します
②	対象となるエレメント	チェックの基準となる基準線または辺の対象となる要素を選択します
③	線上	チェックを入れると、「チェックするエレメント」で選択した要素の基準線または辺が、「対象となるエレメント」で選択した要素の基準線または辺と同一線上にあるかチェックします
④	線上以外	チェックを入れると、「チェックするエレメント」で選択した要素の基準線または辺が、「対象となるエレメント」で選択した要素の基準線または辺と同一線上にないかチェックします
⑤	表示されたエレメントのみ対象	チェックを入れると、表示している要素のみを基準線チェックの対象とします

6-5-2 基準線チェックを実行する

[操作手順]

- 1) 「チェックするエレメント」プルダウンメニューより、チェック結果を取得する要素を選択します。
- 2) 「対象となるエレメント」プルダウンメニューより、基準となる基準線または辺の対象とする要素を選択します。
- 3) 基準線チェックを実行する項目にチェックを入れます。
- 4) 必要に応じて、「表示されたエレメントのみ対象」にチェックを入れます。
- 5) 「OK」を選択します。

6-5-3 ゾーンをチェックする

○ ゾーンの辺が、基準対象となる要素の基準線または辺と同一線上にあるかチェックします。

チェックする要素	対象とする要素	チェック内容
ゾーン	ゾーン	ゾーンの辺が、他のゾーンの辺と同一線上にあるかチェックします
	スラブ	ゾーンの辺が、スラブの辺と同一線上にあるかチェックします
	壁	ゾーンの辺が、壁の基準線と同一線上にあるかチェックします
	カーテンウォール	ゾーンの辺が、カーテンウォールの基準線と同一線上にあるかチェックします

・対象とする要素:ゾーン



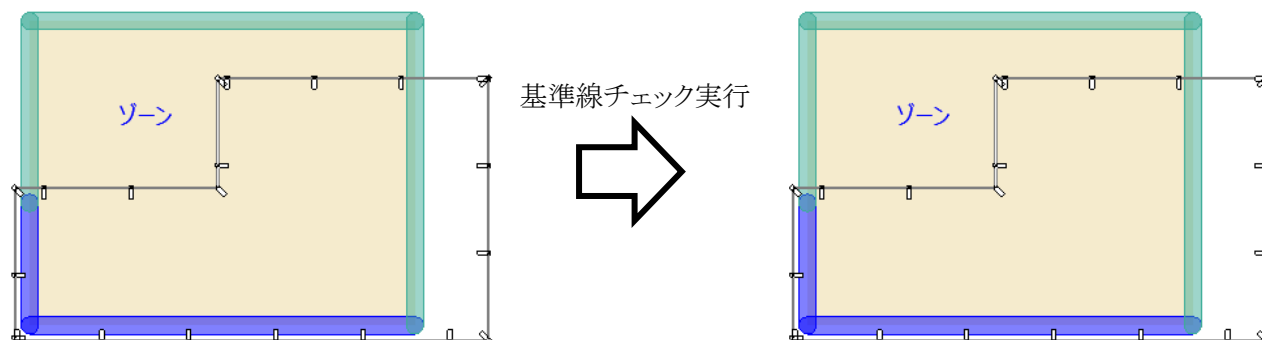
・対象とする要素:スラブ



・対象とする要素:壁



- ・対象とする要素:カーテンウォール



6-5-4 スラブをチェックする

- スラブの辺が、基準対象となる要素の基準線または辺と同一線上にあるかチェックします。

チェックする要素	対象とする要素	チェック内容
スラブ	ゾーン	スラブの辺が、ゾーンの辺と同一線上にあるかチェックします
	スラブ	スラブの辺が、他のスラブの辺と同一線上にあるかチェックします
	壁	スラブの辺が、壁の基準線と同一線上にあるかチェックします
	カーテンウォール	スラブの辺が、カーテンウォールの基準線と同一線上にあるかチェックします

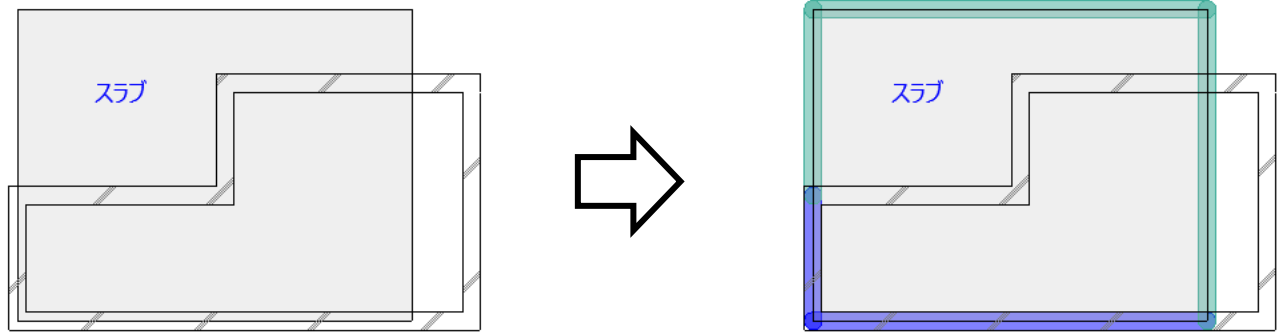
- ・対象とする要素:ゾーン



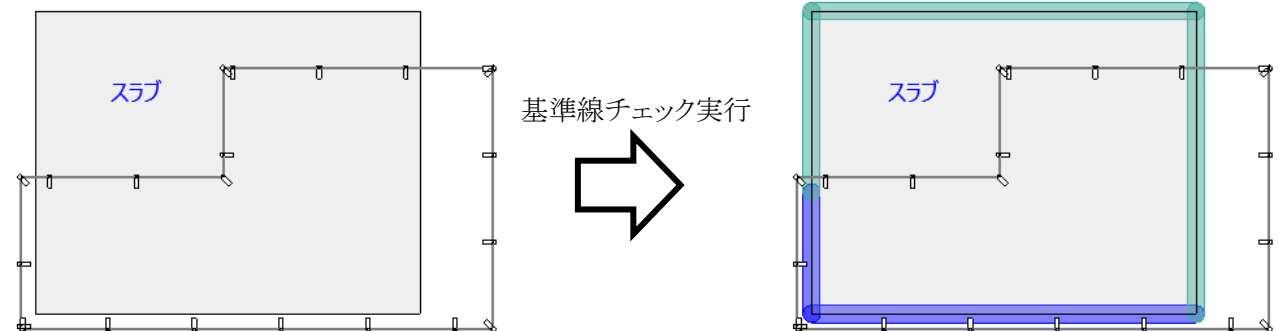
- ・対象とする要素:スラブ



- ・対象とする要素:壁



- ・対象とする要素:カーテンウォール

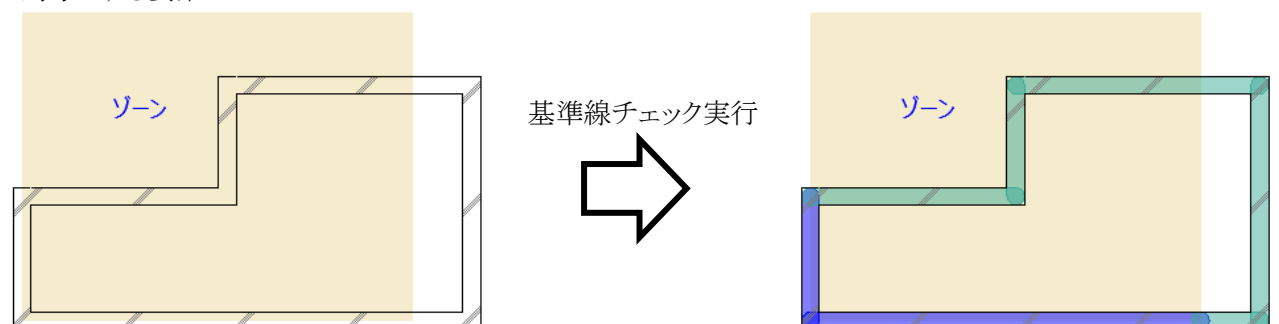


6-5-5 壁をチェックする

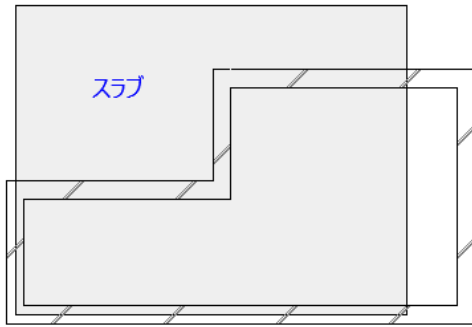
- 壁の基準線が、基準対象となる要素の基準線または辺と同一線上にあるかチェックします。

チェックする要素	対象とする要素	チェック内容
壁	ゾーン	壁の基準線が、ゾーンの辺と同一線上にあるかチェックします
	スラブ	壁の基準線が、スラブの辺と同一線上にあるかチェックします
	壁	壁の基準線が、他の壁の基準線と同一線上にあるかチェックします
	カーテンウォール	壁の基準線が、カーテンウォールの基準線と同一線上にあるかチェックします

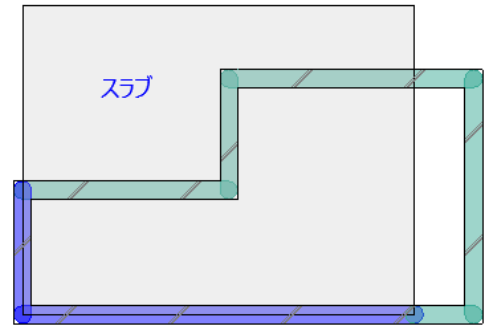
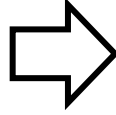
- ・対象とする要素:ゾーン



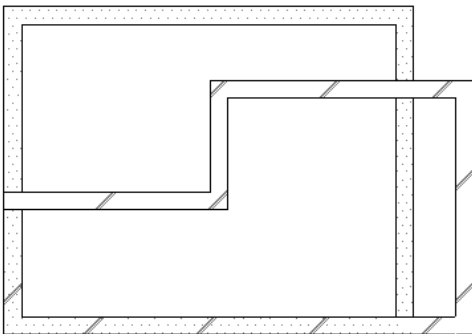
- ・対象とする要素:スラブ



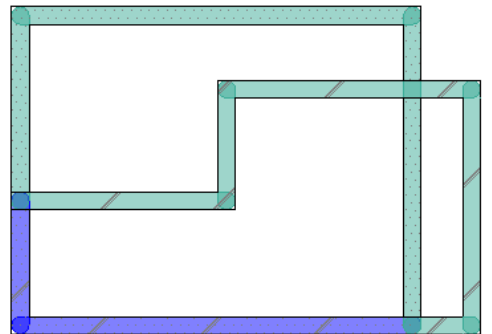
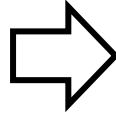
基準線チェック実行



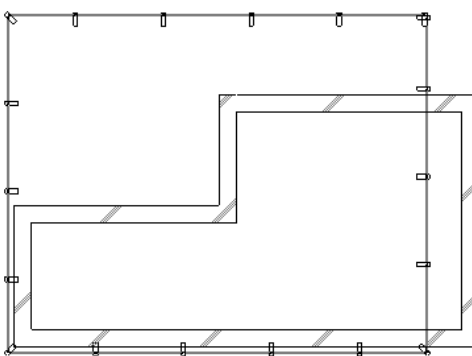
- ・対象とする要素:壁



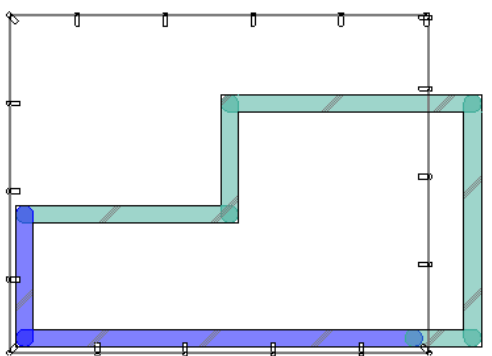
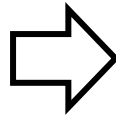
基準線チェック実行



- ・対象とする要素:カーテンウォール



基準線チェック実行

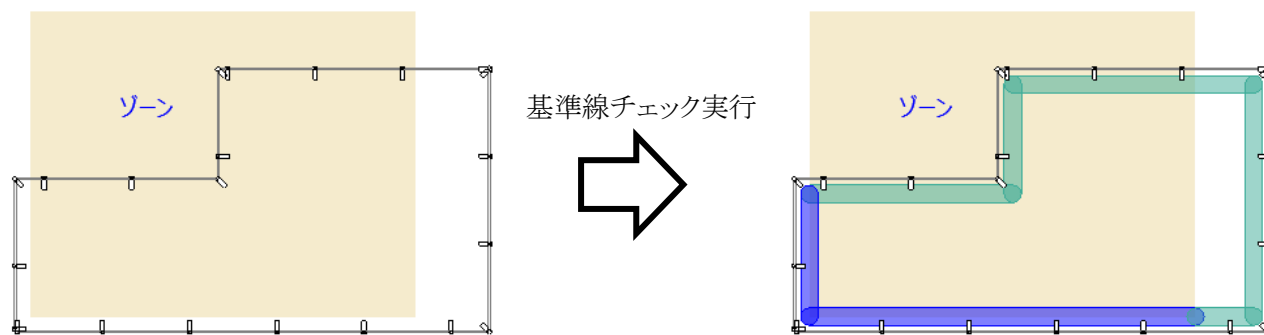


6-5-6 カーテンウォールをチェックする

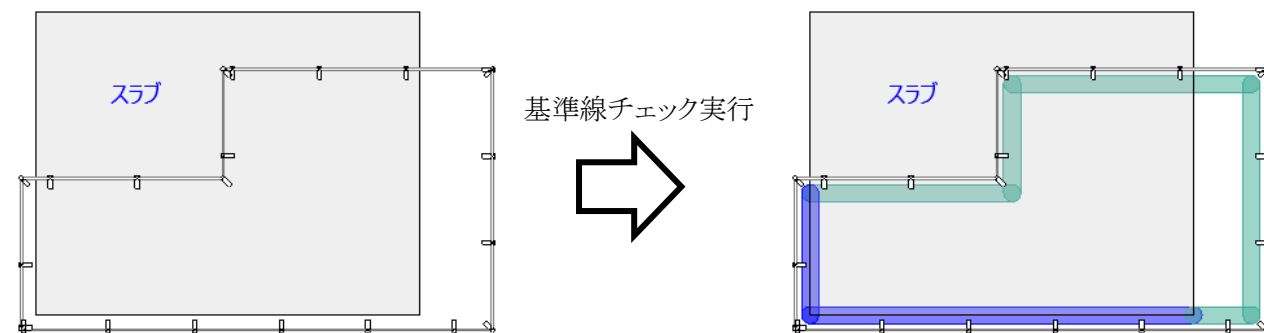
○ カーテンウォールの基準線が、基準対象となる要素の基準線または辺と同一線上にあるかチェックします。

チェックする要素	対象とする要素	チェック内容
カーテンウォール	ゾーン	カーテンウォールの基準線が、ゾーンの辺と同一線上にあるかチェックします
	スラブ	カーテンウォールの基準線が、スラブの辺と同一線上にあるかチェックします
	壁	カーテンウォールの基準線が、壁の基準線と同一線上にあるかチェックします
	カーテンウォール	カーテンウォールの基準線が、他のカーテンウォールの基準線と同一線上にあるかチェックします

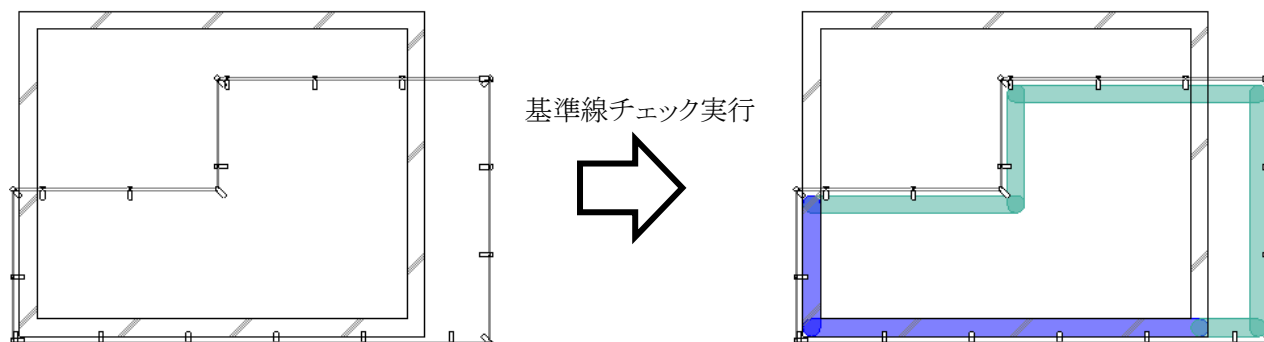
・対象とする要素:ゾーン



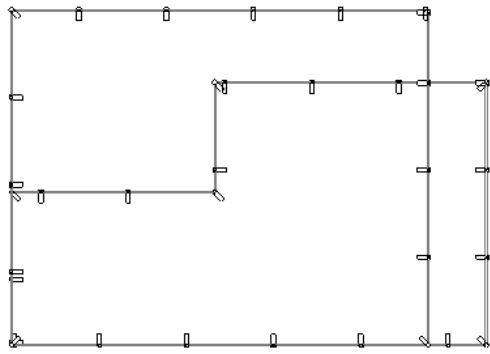
・対象とする要素:スラブ



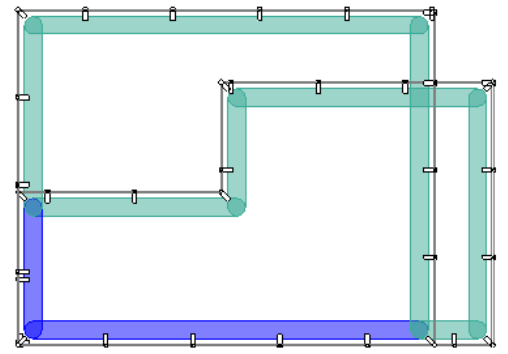
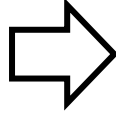
・対象とする要素:壁



・対象とする要素:カーテンウォール



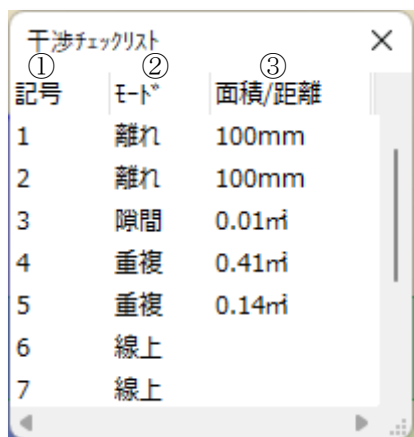
基準線チェック実行



6-6 リストパレットを表示

○ 干渉チェック及び基準線チェックの結果をリスト表示します。

6-6-1 「干渉チェックリスト」ダイアログ

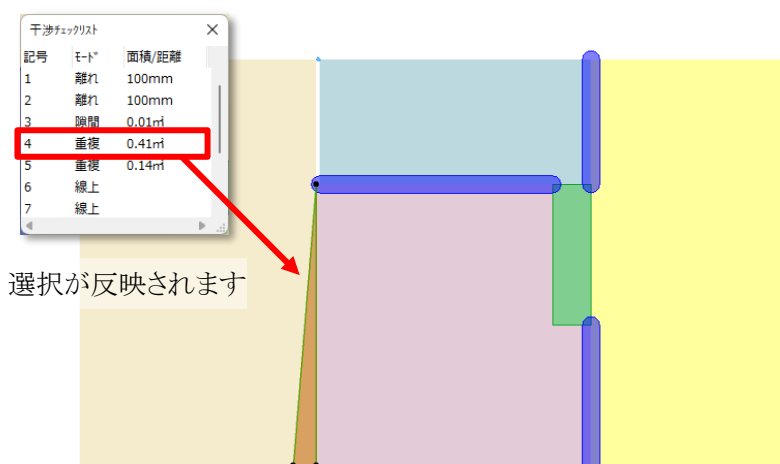


番号	項目名	概要	
①	記号	チェック結果塗りつぶしの記号を表示します	
②	モード	干渉チェックまたは基準線チェックの種類を表示します	
③	面積/距離	重複	重複している面積を表示します
		隙間	隙間面積を表示します
		離れ	離れの距離を表示します

6-6-2 チェック結果を確認する

[操作手順]

- 1) 「干渉チェックリスト」ダイアログより、チェック結果を選択します。
- 2) 平面図に選択が反映されます。



※チェック結果を選択した状態で、Archicad メニュー「表示」>「ズーム」>「選択範囲まで拡大」を選択すると、選択したチェック結果を拡大表示します。

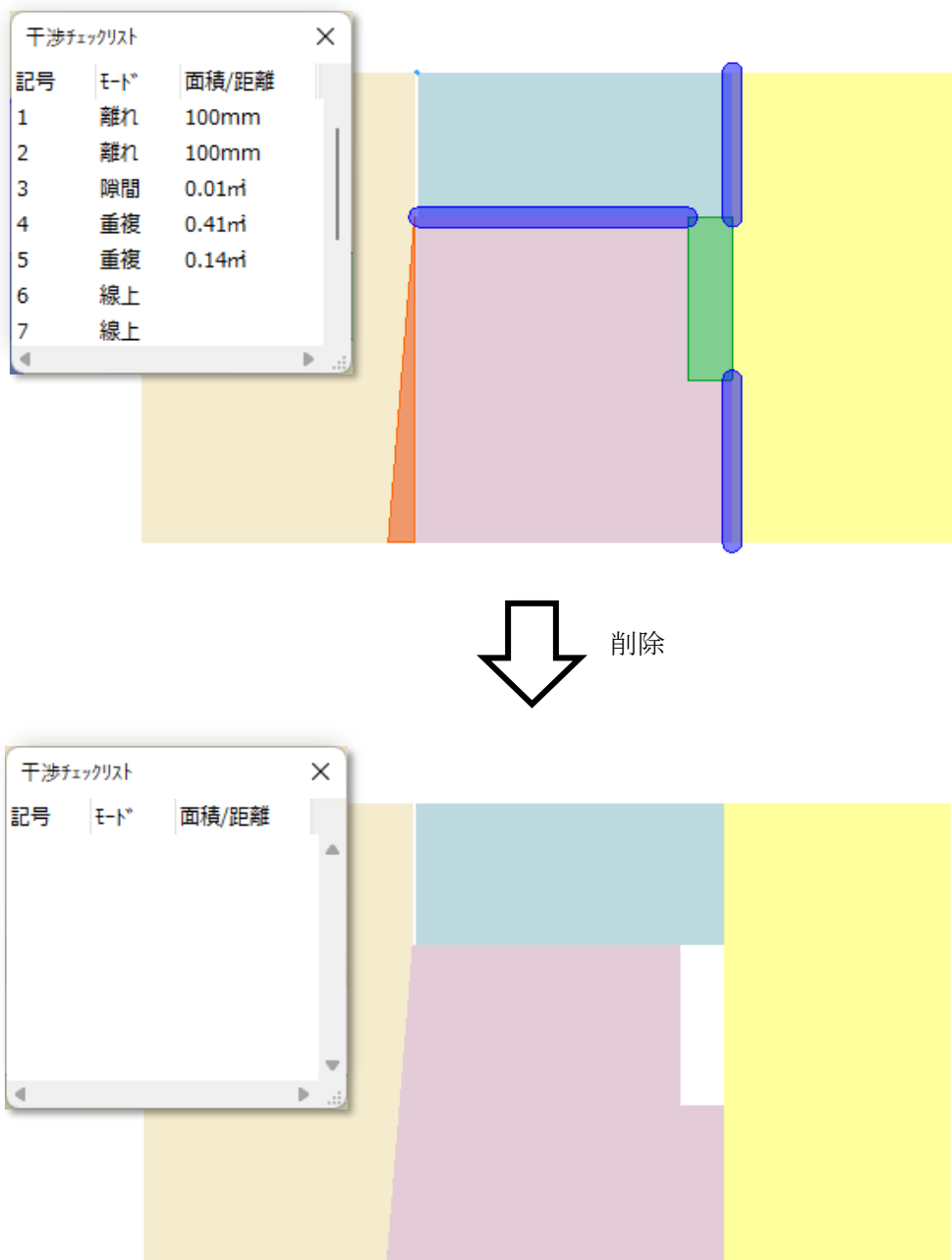
6-7 削除

○ チェック結果塗りつぶしを削除します。

6-7-1 チェック結果塗りつぶしを削除する

[操作手順]

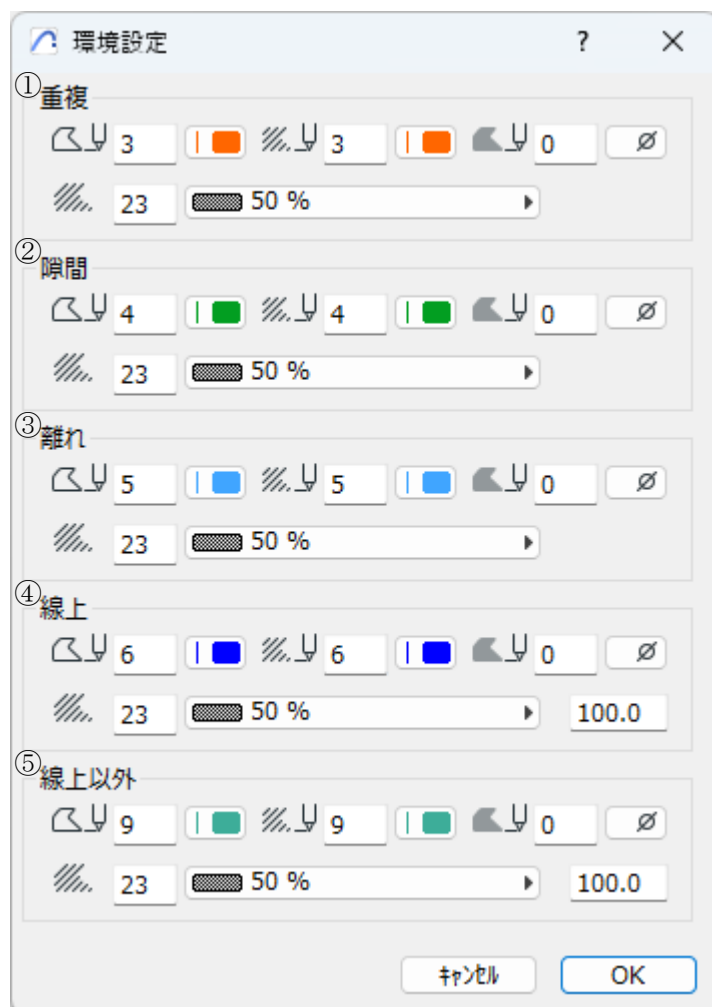
- 1) 「干渉チェック」サブパレットより、「削除」を選択します。
- 2) チェック結果塗りつぶしが削除されます



6-8 環境設定

○ チェック結果塗りつぶしの設定を行います。

6-8-1 「環境設定」ダイアログ



番号	項目名	概要
①	重複	「干渉チェック」における、重複チェック結果塗りつぶしの、塗りつぶしペン設定および塗りつぶしパターンを設定します
②	隙間	「干渉チェック」における、隙間チェック結果塗りつぶしの、塗りつぶしペン設定および塗りつぶしパターンを設定します
③	離れ	「干渉チェック」における、離れチェック結果塗りつぶしの、塗りつぶしペン設定および塗りつぶしパターンを設定します
④	線上	「干渉チェック」及び「基準線チェック」における、線上チェック結果塗りつぶしの、塗りつぶしペン設定、塗りつぶしパターン、塗りつぶしの幅を設定します
⑤	線上以外	「干渉チェック」及び「基準線チェック」における、線上チェック結果塗りつぶしの、塗りつぶしペン設定、塗りつぶしパターン、塗りつぶしの幅を設定します

7 ゾーン更新

7-1 はじめに

- 作成済ゾーンの「組み立て法」の確認、及び変更を行います。
- 複数のゾーンの「組み立て法」の一括変更が可能です。

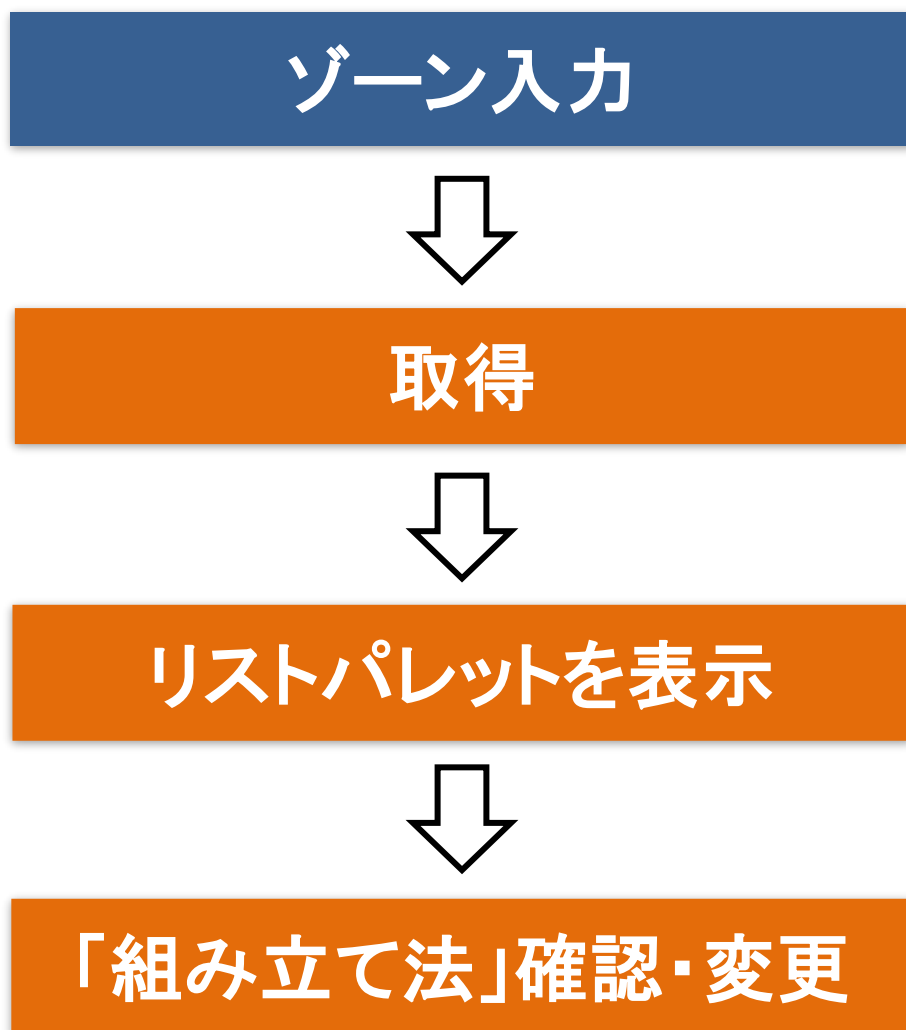
7-2 「ゾーン更新」サブパレット



① ② ③

番号	項目名	概要
①	メインパレットに戻る	メインパレットに戻ります
②	取得	選択中のフロアのゾーンを取得します
③	リストパレットを表示	ゾーン取得結果をリスト表示します ゾーンの「組み立て法」の変更が可能です

7-3 ゾーン更新のワークフロー



・凡例



:本システムの操作



:Archicad の操作

7-4 取得

- 選択中のフロアのゾーンを取得します。

7-4-1 ゾーンを取得する

[操作手順]

- 1) ゾーンを取得するフロアを選択します。
- 2) 「ゾーン更新」サブパレットより、「取得」を選択します。

7-5 リストパレットを表示

- ゾーン取得結果をリスト表示します。
- ゾーンの「組み立て法」の確認及び変更が可能です。

7-5-1 「ゾーン更新リスト」ダイアログ

- リストの背景色をゾーンカテゴリの色で表示します。

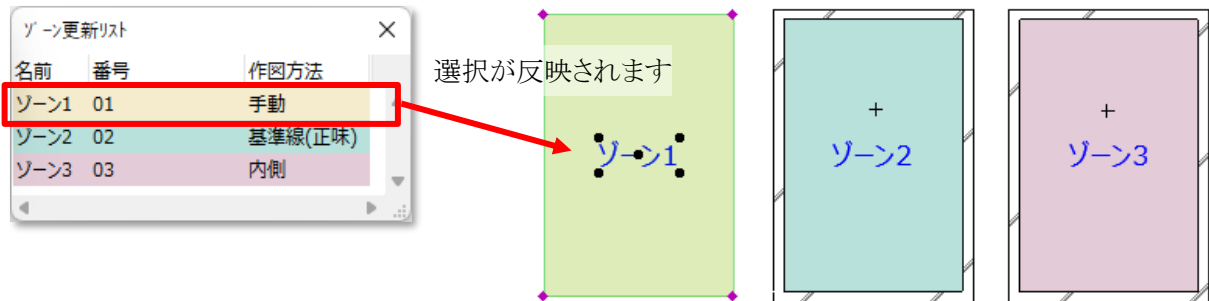


番号	項目名	概要
①	名前	ゾーンの名前を表示します
②	番号	ゾーンの番号を表示します
③	作図方法	ゾーンの「組み立て法」を表示します 「組み立て法」を選択し、変更することが可能です

7-5-2 ゾーン取得結果を確認する

[操作手順]

- 1) 「ゾーン更新リスト」ダイアログより、ゾーンを選択します。
- 2) 平面図に選択が反映されます。



7-5-3 ゾーンの「組み立て法」を変更する

- 「組み立て法」は Archicad の定義に準拠します。
- 「組み立て法」の詳細は、「Archicad26 リファレンスガイド ゾーンの作成」を参照して下さい。

[操作手順]

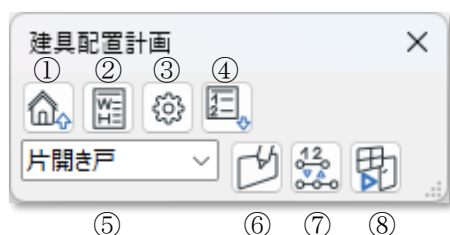
- 1) 「ゾーン更新リスト」より、「組み立て法」を変更するゾーンを選択します。
※複数選択が可能です。
- 2) 「作図方法」プルダウンメニューより、「組み立て法」を選択します。
※自動認識法(「内側」、「基準線(総体)」、または「基準線(正味)」)を選択した場合に、ゾーンの基準点が境界要素に囲まれていない場合、警告ダイアログが表示されます。「自動認識法」及び「ゾーンの基準点」の詳細は「Archicad26 リファレンスガイド」の該当項を参照して下さい。

8 建具配置計画

8-1 はじめに

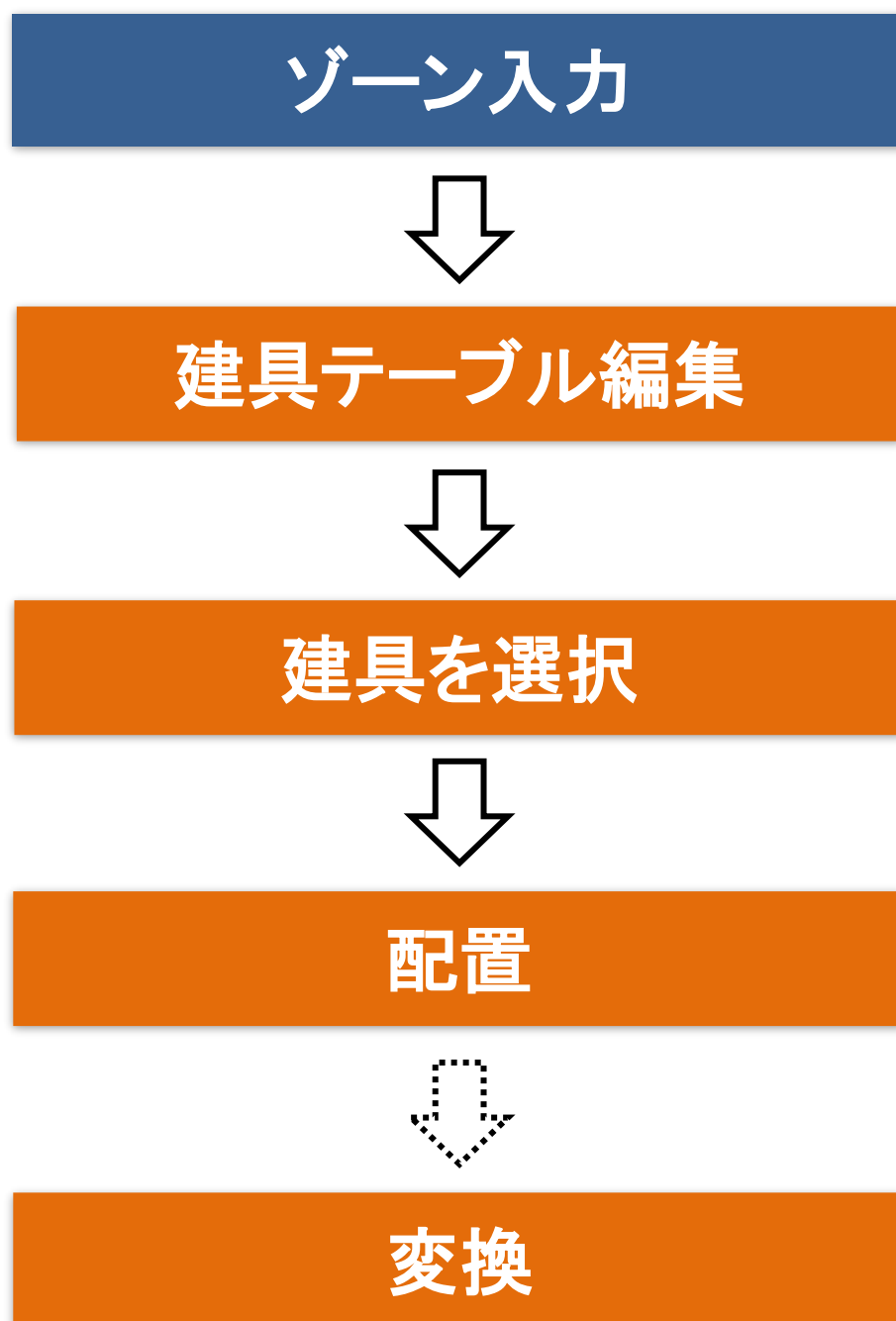
- 組み立て法が「手動」のゾーンに建具を配置することができます。
- 配置する建具は、窓またはドアから選択します。
- ゾーンを基に、窓またはドアを配置した壁を自動作成します。

8-2 「建具配置計画」サブパレット



番号	項目名	概要
①	メインパレットに戻る	メインパレットに戻ります
②	建具テーブル編集	配置する建具として選択可能な窓及びドアを登録します
③	環境設定	配置する建具の設定を行います
④	リストパレットを表示	配置した建具をリスト表示します
⑤	建具を選択	配置する建具を選択します 「建具テーブル編集」で登録した建具が選択可能です
⑥	配置	「建具を選択」プルダウンメニューで選択した建具をゾーンに配置します
⑦	寸法線表示を切替	寸法線の表示を切り替えます
⑧	変換	ゾーン及び配置した建具を基に、壁、窓、及びドアを自動作成します

8-3 建具配置計画のワークフロー



・凡例



:本システムの操作



:Archicad の操作

8-4 建具テーブル編集

- 配置する建具として選択可能な窓及びドアを登録します。
- 本メニューで登録した建具(以下、登録建具という)のみ、ゾーンに配置することができます。
- 「幅」、「高さ」及び「建具記号」は、ゾーンに配置後リストパレットから変更することができます。

8-4-1 「建具の編集」ダイアログ



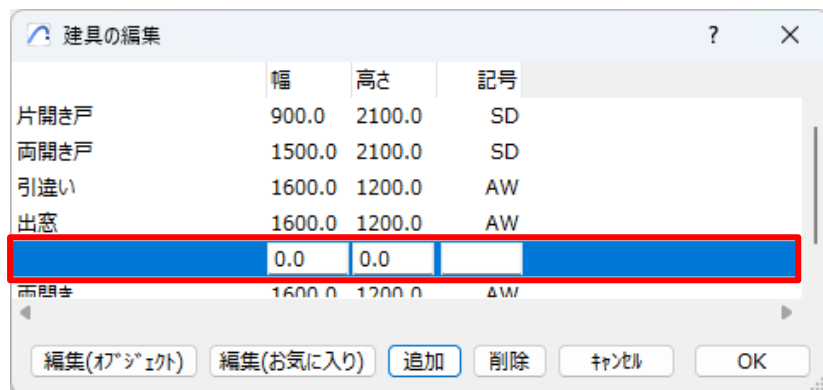
番号	項目名	概要
①	建具名称	登録建具の名前を表示します
②	幅	登録建具の幅を設定します 変換前の平面図ビュー及び変換後の窓またはドアに反映されます
③	高さ	登録建具の高さを設定します 変換後の窓またはドアに反映されます
④	記号	登録建具の建具記号を設定します 変換後の窓またはドアに反映されます
⑤	登録建具リスト	登録建具を表示します
⑥	編集(オブジェクト)	登録建具を Archicad Library より選択します 登録建具リストを選択した場合に有効になります
⑦	編集(お気に入り)	登録建具をお気に入りより選択します 登録建具リストを選択した場合に有効になります
⑧	追加	登録建具リストに登録建具を追加します
⑨	削除	登録建具リストから登録建具を削除します

8-4-2 登録建具を Archicad Library より追加する

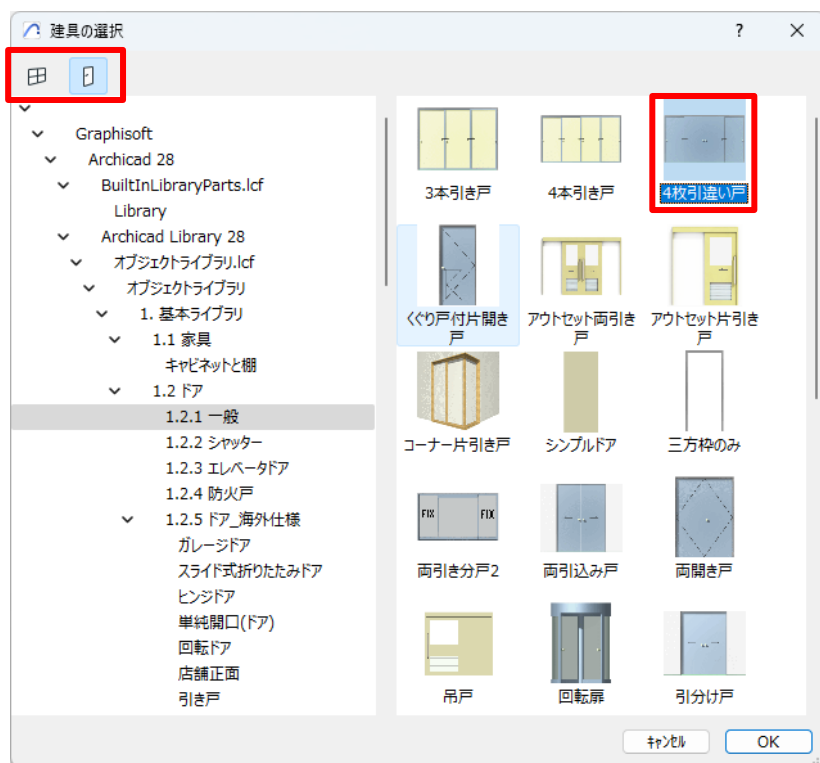
○ 登録建具を Archicad Library より選択し、「幅」、「高さ」及び「建具記号」を設定します。

[操作手順]

- 1) 「追加」を選択します。
- 2) 「建具名称」が空欄の建具が追加されます。



- 3) 「編集 (オブジェクト)」を選択します。
- 4) 「建具の選択」ダイアログが開きます。



- 5) 窓またはドアのアイコンを選択し、建具(オブジェクト)を選択します。
- 6) 「OK」を選択します。

7) 「登録建具リスト」に、選択した窓またはドアが追加されます。



※「幅」、「高さ」及び「建具記号」はデフォルト設定が反映されます。

8) 必要に応じて、「幅」、「高さ」及び「建具記号」を設定します。

9) 「OK」を選択します。

8-4-3 登録建具をお気に入りより追加する

○ 登録建具をお気に入りより選択し、「幅」、「高さ」及び「建具記号」を設定します。

[操作手順]

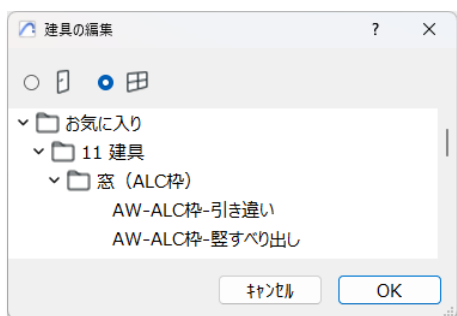
1) 「追加」を選択します。

2) 「建具名称」が空欄の建具が追加されます。



3) 「編集(お気に入り)」を選択します。

4) 「建具の編集」ダイアログが開きます。



- 5) 窓またはドアを選択します。
- 6) 「OK」を選択します。
- 7) 「登録建具リスト」に選択した窓またはドアが追加されます。



※「幅」、「高さ」及び「建具記号」はデフォルト設定が反映されます。

- 8) 必要に応じて、「幅」、「高さ」及び「建具記号」を設定します。
- 9) 「OK」を選択します。

8-4-4 登録建具を Archicad Library より選択して変更する

[操作手順]

- 1) 「登録建具リスト」より、変更する登録建具を選択します。
 - 2) 「編集(オブジェクト)」を選択します。
 - 3) 「建具の選択」ダイアログが開きます。
 - 4) 変更後の窓またはドアを選択します。
 - 5) 「OK」を選択します。
 - 6) 選択した登録建具の窓またはドアが変更されます。
- ※「幅」、「高さ」及び「建具記号」はデフォルト設定が反映されます。
- 7) 「OK」を選択します。

8-4-5 登録済みの登録建具をお気に入りから選択して変更する

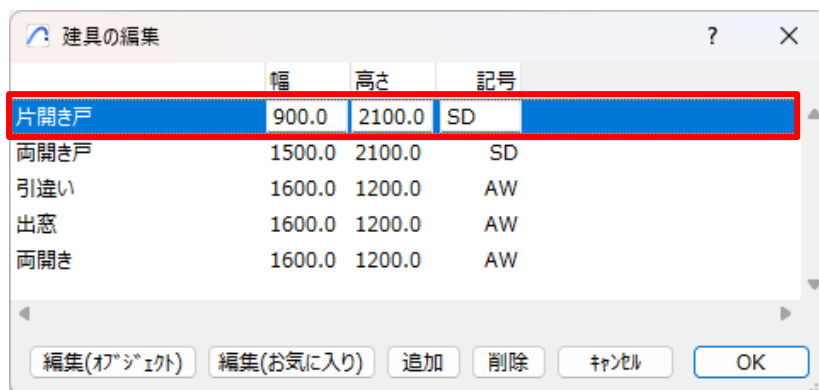
[操作手順]

- 1) 「登録建具リスト」より、変更する登録建具を選択します。
 - 2) 「編集(お気に入り)」を選択します。
 - 3) 「建具の編集」ダイアログが開きます。
 - 4) 変更後の窓またはドアを選択します。
 - 5) 「OK」を選択します。
 - 6) 選択した登録建具の窓またはドアが変更されます。
- ※「幅」、「高さ」及び「建具記号」はデフォルト設定が反映されます。
- 7) 「OK」を選択します。

8-4-6 登録建具を削除する

[操作手順]

- 1) 「登録建具リスト」より、削除する登録建具を選択します。



- 2) 「削除」を選択します。
- 3) 「登録リスト」から、登録建具が削除されます。



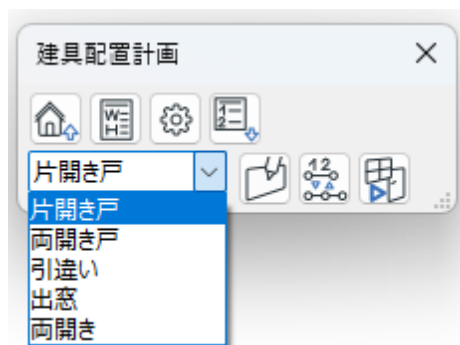
8-5 建具を選択

○ ゾーンに配置する登録建具を選択します。

8-5-1 配置する登録建具を選択する

[操作手順]

1) 「建具を選択」プルダウンメニューより、配置する登録建具を選択します。



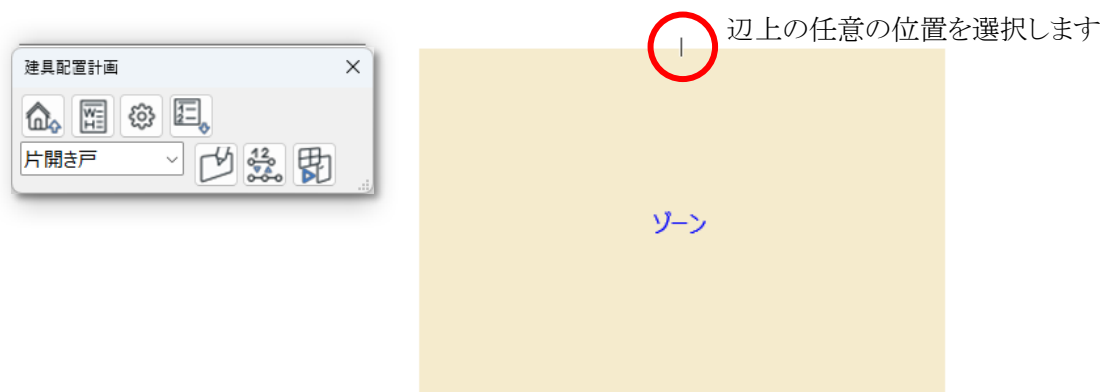
8-6 配置

- ゾーンに選択した登録建具を配置します。(以下、配置した登録建具を、配置建具という)
- 配置建具は、「Massplan 建具配置計画」レイヤーにオブジェクトとして作成されます。
- 配置建具の建具マークオブジェクトは、窓とドアで共通です。
- 登録建具を配置すると、建具配置寸法が「Massplan 建具配置計画寸法線」レイヤーに作成されます。
環境設定より、建具マークオブジェクトのペン番号及び作成するレイヤー、建具配置寸法を作成するレイヤーを設定することができます。

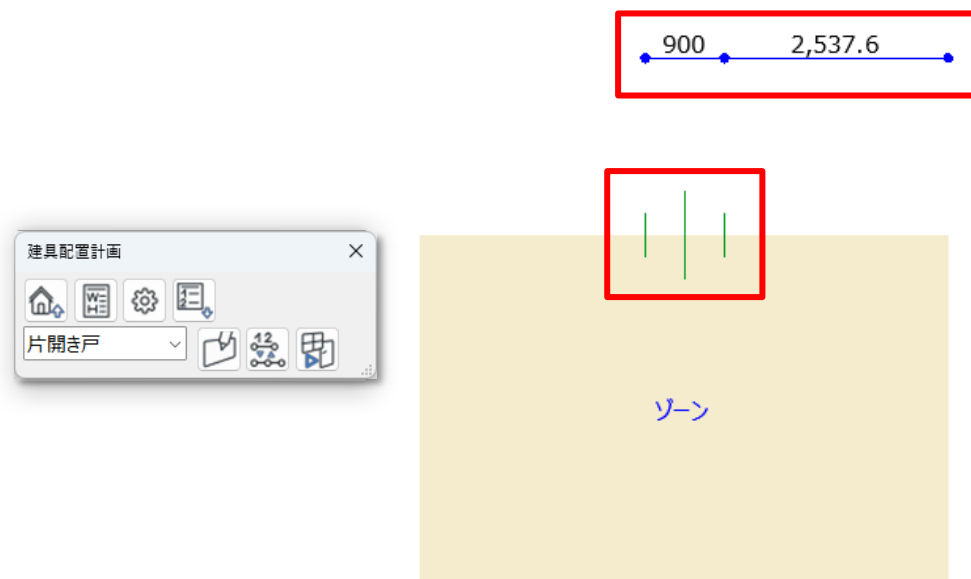
8-6-1 ゾーンに建具を配置する

[操作手順]

- 1) メインパレットより、「配置」を選択します。
- 2) 建具を配置するゾーンの辺の任意の位置を選択します。



- 3) 選択した位置を建具の中心として、選択した登録建具が配置され、建具配置寸法が作成されます。



※建具配置寸法は、線形寸法のデフォルト設定が反映されます。

- 4) 右クリックしてキャンセルを選択、または ESC キーを選択して、配置を終了します。

8-7 リストパレットを表示

- 配置建具をリスト表示します。

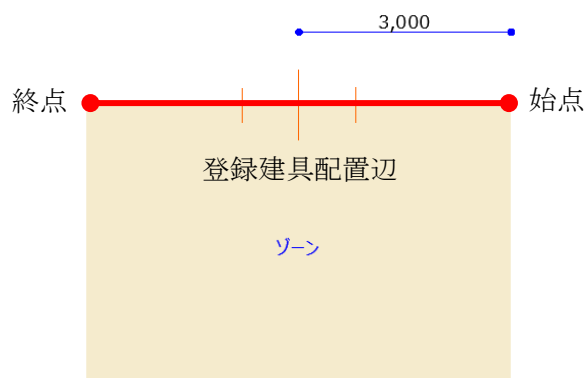
8-7-1 「建具リスト」ダイアログ



番号	項目名	概要
①	種類	ゾーンに配置した登録建具の名前を表示します
②	距離	ゾーンに配置した登録建具の、ゾーンの登録建具配置辺の始点からの距離を設定します
③	幅	ゾーンに配置した登録建具の幅を設定します
④	高さ	ゾーンに配置した登録建具の高さを設定します
⑤	記号	ゾーンに配置した登録建具の建具記号を設定します
⑥	番号	ゾーンに配置した登録建具の建具番号を設定します
⑦	寸法線	チェックを入れると、寸法線を表示します
⑧	反転	チェックを入れると、距離を反転し、寸法線の位置を変更します

8-7-2 「距離」の基点について

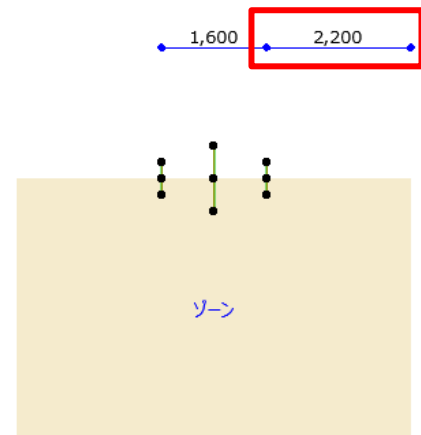
- ゾーンの登録建具配置辺の始点が「距離」の基点です。
- 「反転」にチェックを入れると、ゾーンの登録建具配置辺の終点が「距離」の基点になります。
- Archicad は、図形内側から見て右側を始点、左側を終点としています。



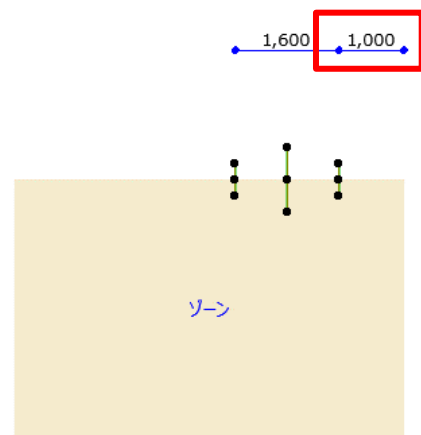
8-7-3 配置建具の「距離」を変更する

[操作手順]

- 1) 「距離」欄を選択します。



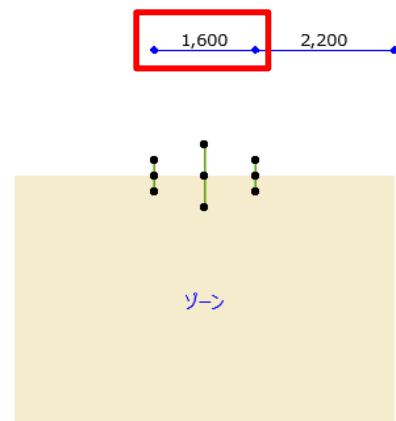
- 2) 「距離」を変更します。
- 3) Enter キーを選択します。
- 4) 「集計」ダイアログ及び、配置建具の位置及び寸法線に変更が反映されます。



8-7-4 配置建具の「幅」を変更する

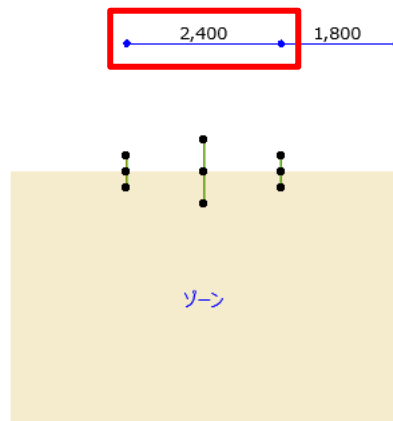
[操作手順]

- 1) 「幅」欄を選択します。



- 2) 「幅」を変更します。

- 3) Enter キーを選択します。
- 4) 「集計」ダイアログ及び配置建具に変更が反映されます。

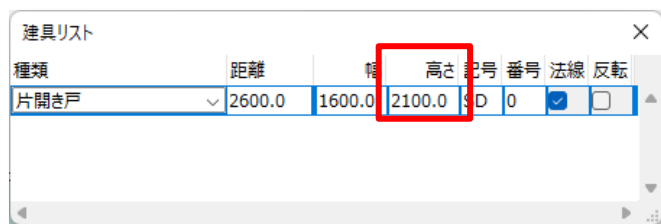


8-7-5 配置建具の「高さ」を変更する

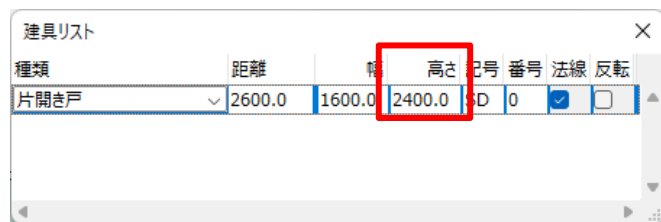
○「高さ」の変更は、変換後の窓またはドアに反映されます。

[操作手順]

- 1) 「高さ」欄を選択します。



- 2) 「高さ」を変更します。
- 3) Enter キーを選択します。
- 4) 「集計」ダイアログに変更が反映されます。

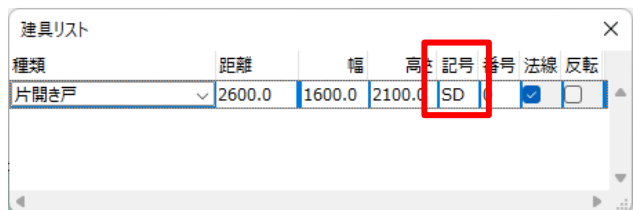


8-7-6 配置建具の「記号」を変更する

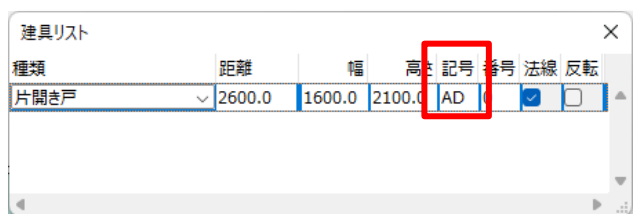
○「記号」の変更は、変換後の窓またはドアに反映されます。

[操作手順]

- 1) 「記号」欄を選択します。



- 2) 「記号」を変更します。
- 3) Enter キーを選択します。
- 4) 「集計」ダイアログに変更が反映されます。

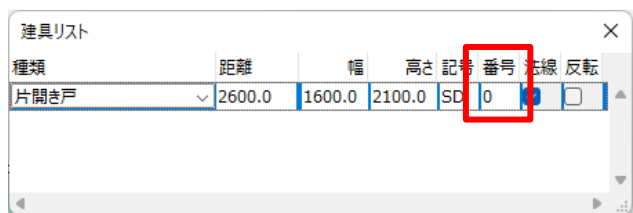


8-7-7 配置建具の「番号」を変更する

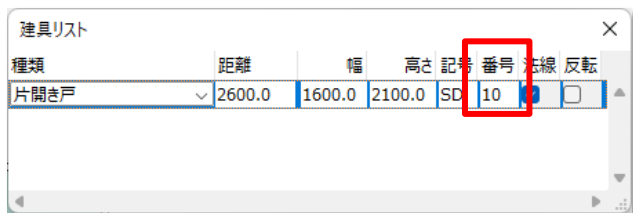
○「番号」の変更は、変換後の窓またはドアに反映されます。

[操作手順]

- 1) 「番号」欄を選択します。



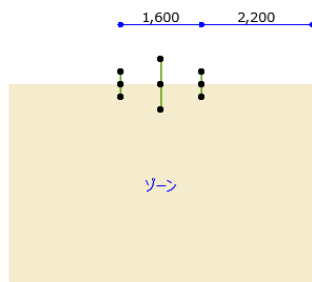
- 2) 「番号」を変更します。
- 3) Enter キーを選択します。
- 4) 「集計」ダイアログに変更が反映されます。



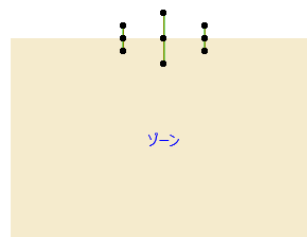
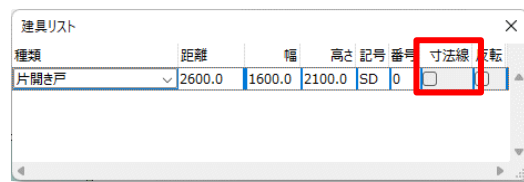
8-7-8 寸法線を非表示にする

[操作手順]

- 1) 「寸法線」のチェックを外します。



「寸法線」チェック有

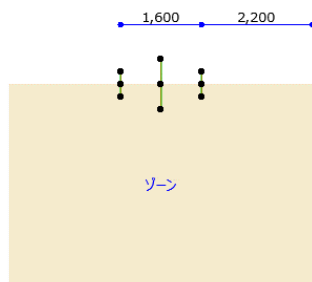
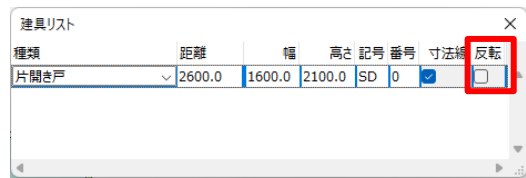


「寸法線」チェック無

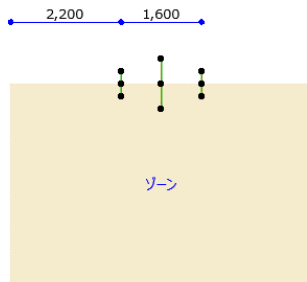
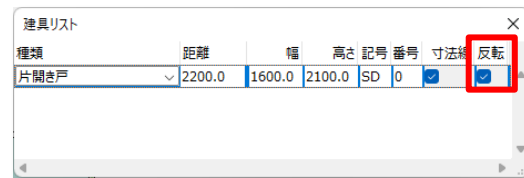
8-7-9 寸法線を反転する

[操作手順]

- 1) 「反転」のチェックを外します。



「反転」チェック無



「反転」チェック有

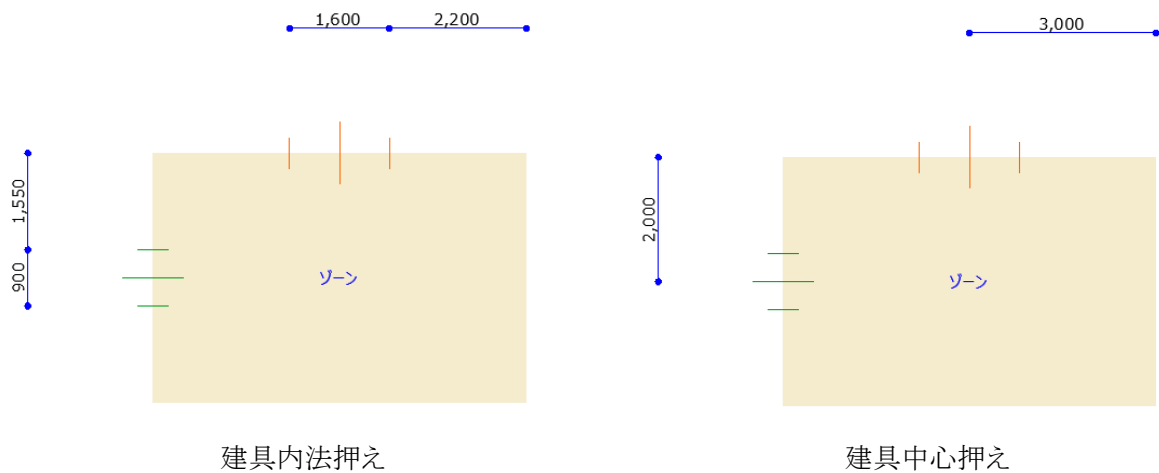
8-8 寸法線表示を切替

- 寸法線の表示を、建具内法押えまたは建具中心押えに切り替えます。
- 「建具配置計画」で作成した全ての寸法線の表示が切り替わります。

8-8-1 寸法線表示を切り替える

[操作手順]

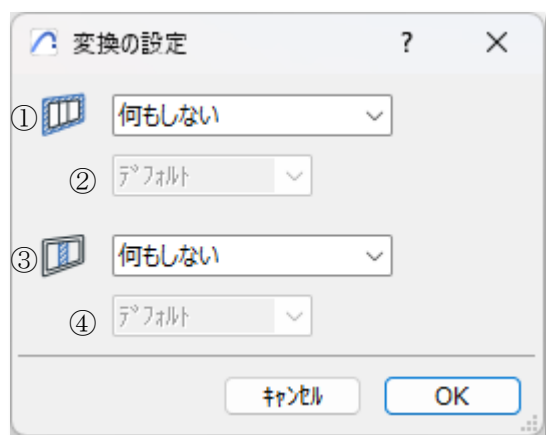
- 1) メインパレットより、「寸法線表示を切替」を選択します。
- 2) 寸法線の表示が切り替わります。



8-9 変換

○ ゾーン及び配置した建具を基に、壁、窓、及びドアを自動作成します。

8-9-1 「変換の設定」ダイアログ

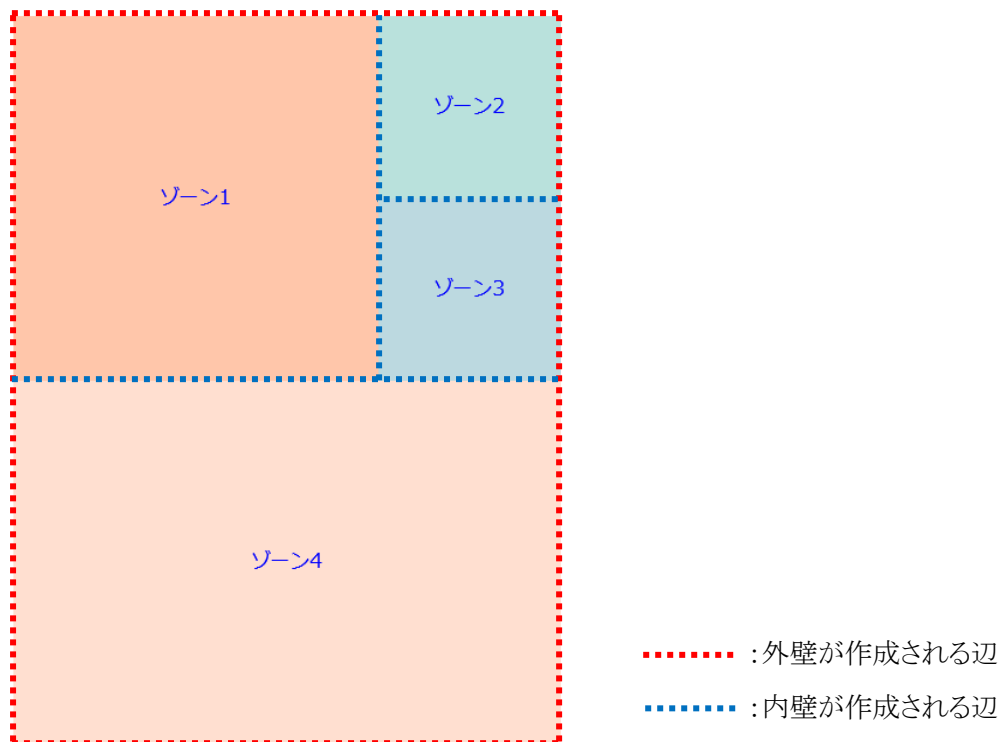


番号	項目名	概要	
①	外壁変換方法選択	外壁への変換方法を選択します	
		何もしない	外壁の作成または削除を行いません
		外壁を作成	選択した壁形状で、外壁となる壁、窓、及びドアを作成します
		外壁を削除	本メニューで作成した外壁、窓、及びドアを削除します
②	外壁形状選択	作成する外壁の形状を選択します	
		デフォルト	壁ツールのデフォルト設定で外壁を作成します
		お気に入り	壁ツールのお気に入りを選択して外壁を作成します
③	内壁変換方法選択	内壁への変換方法を選択します	
		何もしない	内壁の作成または削除を行いません
		内壁を作成	選択した壁形状で、内壁となる壁、窓、及びドアを作成します
		内壁を削除	本メニューで作成した内壁、窓、及びドアを削除します
④	内壁形状選択	作成する外壁の形状を選択します	
		デフォルト	壁ツールのデフォルト設定で内壁を作成します
		お気に入り	壁ツールのお気に入りを選択して内壁を作成します

8-9-2 「変換」によって作成される各要素

8-9-2-1 外壁及び内壁

- ゾーンの辺が基準線とみなされます。
- ゾーン同士が接していないゾーンの辺に外壁を作成します。
- ゾーン同士が接しているゾーンの辺に内壁を作成します。



- 複数のフロアにまたがるゾーン場合は、配置フロアのみ壁が作成されます。
- 作成される壁の高さの設定は、デフォルト設定に関わらず下図の通りです。

上部リンク:
2. 2FL (配置フロア + 1) ▼

0.0

3000.0

0.0

配置フロア:
1. 1FL ▼

基準レベル: GL ▶

500.0

「上部リンク」は「配置フロア+1」になります

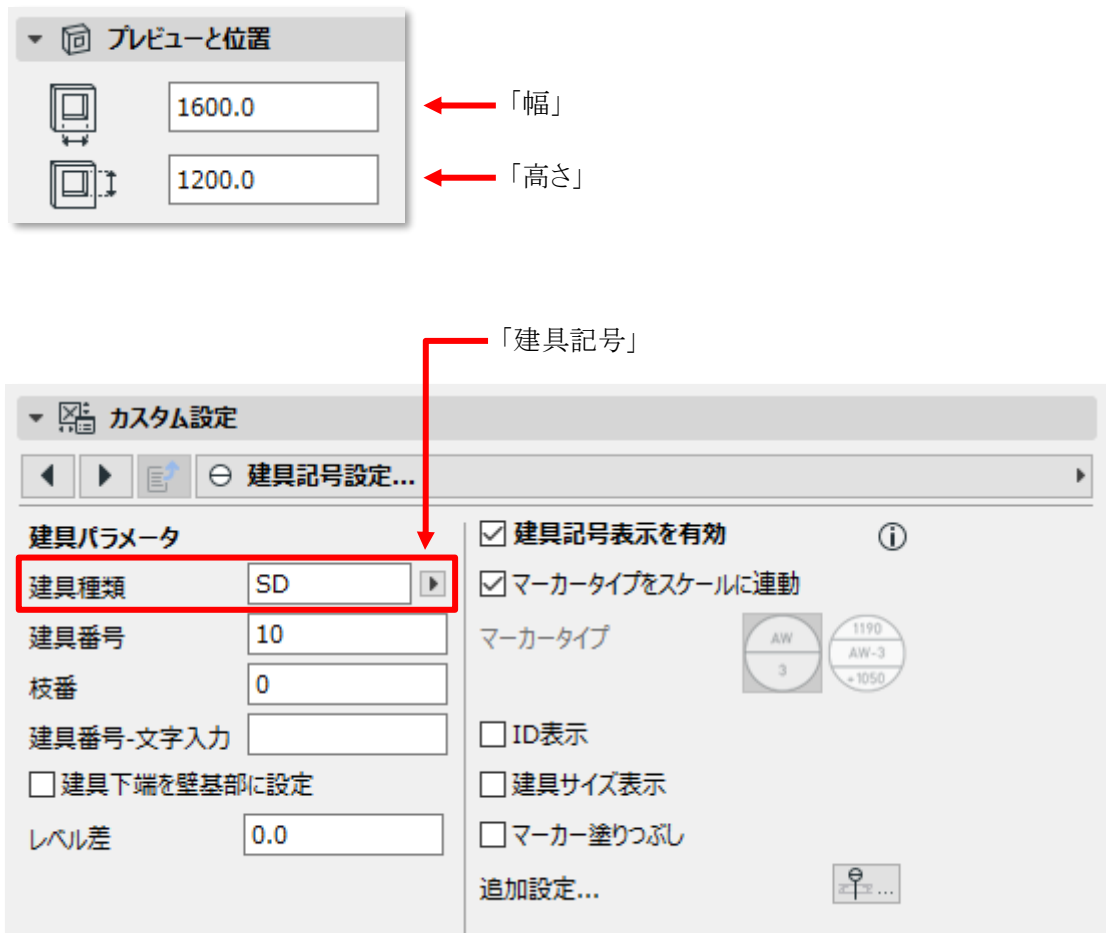
上部リンクフロアからの高さは「0」になります

配置フロアからの高さは「0」になります

「配置フロア」は集計対象となったフロアになります

8-9-2-2 窓及びドア

- 変換後の窓及びドアの「幅」、「高さ」及び「建具記号」の適用パラメーターは下記の通りです。
- 「幅」、「高さ」及び「建具記号」以外のパラメーターは、「建具配置計画」では設定できません。
- 「窓のデフォルト設定」ダイアログまたは「ドアのデフォルト設定」ダイアログより確認できます。



- ※ 「建具番号」はリストパレットから設定できます。
- ※ 「枝番」はデフォルト設定に関わらず「0」で固定です。

8-9-3 「変換」によって削除される各要素

- 「変換」で作成した壁、窓、及びドアを削除します。
- 各ツールによって作成した各要素は削除されません。

8-9-3-1 外壁

- 「変換」で作成した壁、窓、及びドアが削除されます。

8-9-3-2 内壁

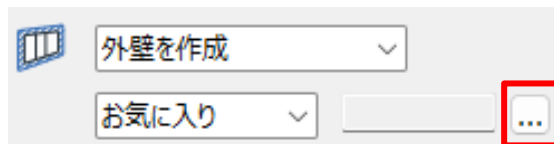
- 「変換」で作成した壁、窓、及びドアが削除されます。

8-9-4 「お気に入り」を選択する

○「お気に入り」に登録済の形状を選択して壁を作成することができます。

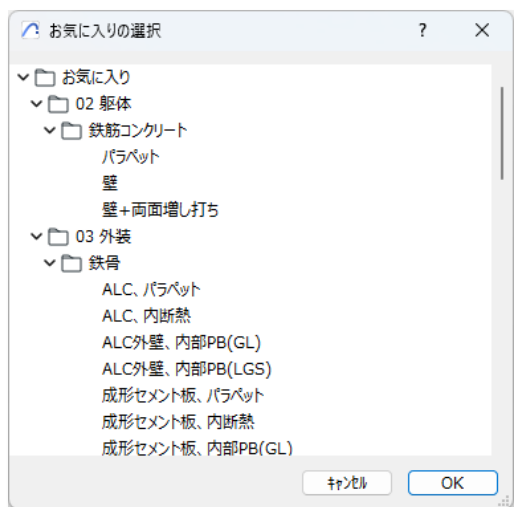
[操作手順]

- 1) 「外壁形状選択」または「内壁形状選択」プルダウンメニューより、「お気に入り」を選択します。
- 2) 「お気に入り指定」ボタンを選択します。

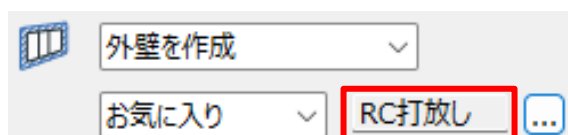


※上図は、ゾーン集計「外壁形状選択」プルダウンメニューより、「お気に入り」を選択した場合です。

- 3) 「お気に入りの選択」ダイアログが開きます。



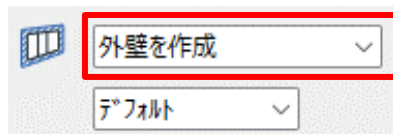
- 4) 壁の形状とする「お気に入り」を選択します。
- 5) 「OK」を選択します。
- 6) 選択した「お気に入り」が表示されます。



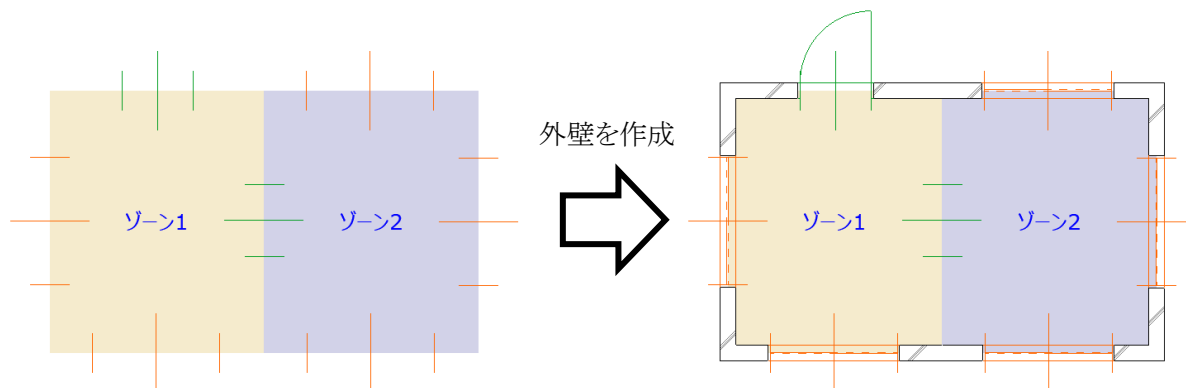
8-9-5 外壁を作成する

[操作手順]

- 1) 「外壁変換方法選択」プルダウンメニューより、「外壁を作成」を選択します。



- 2) 必要に応じて、「お気に入り」を選択します。
- 3) 「OK」を選択します。
- 4) 外壁、窓、及びドアが作成されます。



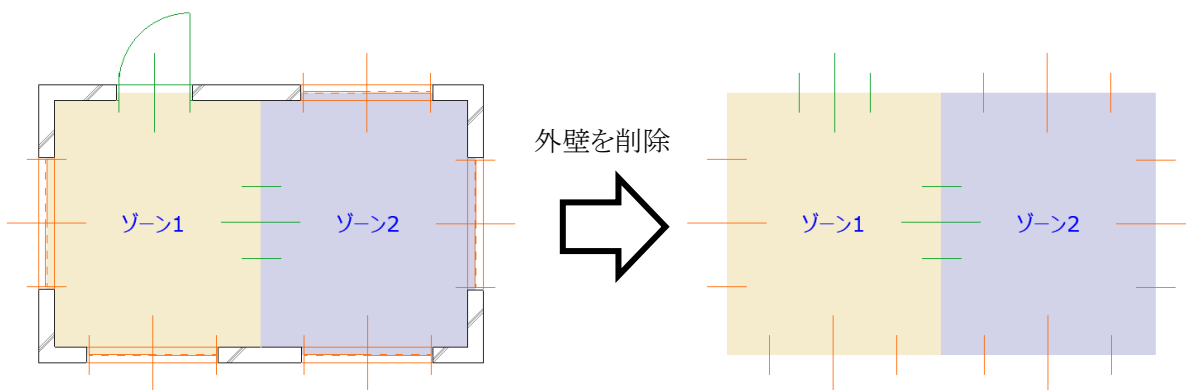
8-9-6 外壁を削除する

[操作手順]

- 1) 「外壁変換方法選択」プルダウンメニューより、「外壁を削除」を選択します。



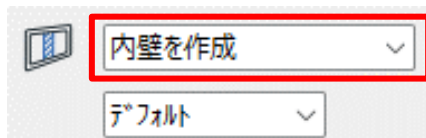
- 2) 「OK」を選択します。
- 3) 外壁、窓、及びドアが削除されます。



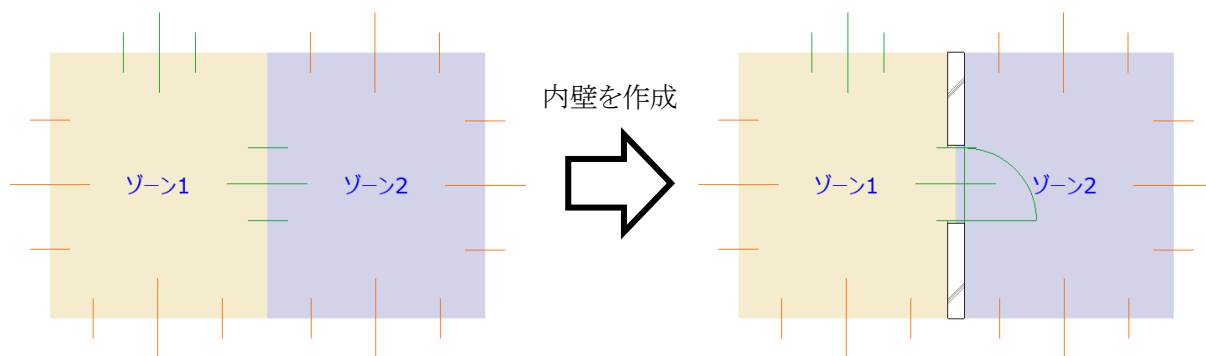
8-9-7 内壁を作成する

[操作手順]

- 1) 「内壁変換方法選択」プルダウンメニューより、「内壁を作成」を選択します。



- 2) 必要に応じて、「お気に入り」を選択します。
- 3) 「OK」を選択します。
- 4) 内壁、窓、及びドアが作成されます。



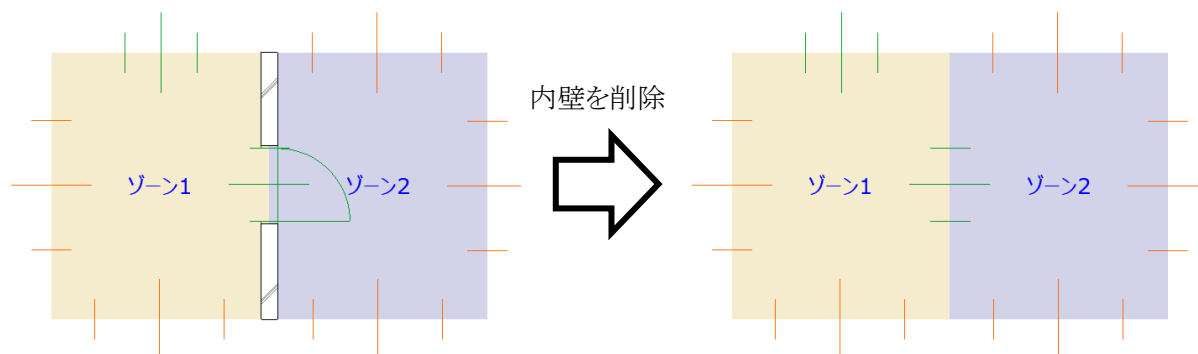
8-9-8 内壁を削除する

[操作手順]

- 1) 「内壁変換方法選択」プルダウンメニューより、「内壁を削除」を選択します。



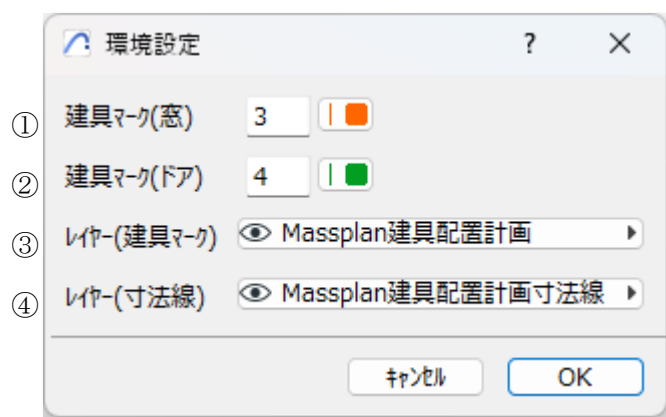
- 2) 「OK」を選択します。
- 3) 内壁、窓、及びドアが削除されます。



8-10 環境設定

○ 配置する建具の設定を行います。

8-10-1 「環境設定」ダイアログ



番号	項目名	概要
①	建具マーク(窓)	配置建具が窓の、建具マークオブジェクトのペン番号を設定します
②	建具マーク(ドア)	配置建具がドアの、建具マークオブジェクトのペン番号を設定します
③	レイヤー(建具マーク)	建具マークオブジェクトのレイヤーを設定します
④	レイヤー(寸法線)	建具配置寸法線のレイヤーを設定します

9 その他

9-1 体験版の制限

	項目	製品版	体験版
使用期限		制限なし	インストール後 90 日間
ゾーン集計	集計可能フロア	制限なし	フロア番号 1 及び 2
	カーテンウォール作成	制限なし	北面のみ作成可能
	表出力	出力可	使用不可
モルフ集計	集計可能フロア	制限なし	フロア番号 1 及び 2
	表出力	出力可	使用不可
カテゴリ集計	メニュー	制限なし	使用不可
干渉チェック	メニュー	制限なし	使用不可
ゾーン更新	メニュー	制限なし	使用不可
建具配置計画	登録建具	制限なし	2 種類のみ 登録建具の追加不可
	リストパレットを表示	制限なし	パラメーターの変更不可
	変換	制限なし	外壁のみ作成可能

9-2 各種設定ファイルの保存場所

○ 本システムで自動的に作成される各種設定ファイルは以下の場所に保存されます。

Windows 版	ドキュメント¥EPCOT Software¥ArchiCAD**¥Massplan
Mac 版	(Finder) 書類/EPCOT Software/ArchiCAD**/Massplan

※ **はバージョンを示します。

※ 上記フォルダは本システムのデータに関連するファイルが保存されるため、削除しないでください。

9-3 サポートに関して

- 本システムに関するお問い合わせは、原則としてメールのみの対応とさせて頂いております。
- 必要事項を記載の上、support@epcot.co.jp まで御連絡ください。
- 集計結果に関するお問い合わせ等、データを拝見しないと確認できない場合もありますのでご了承ください。

・お問い合わせ必要事項

保守契約番号

御社名

御氏名

御連絡先

内容(できるだけ具体的に)

-
- ・本書およびこのプログラムは、著作権上、生活産業研究所株式会社に無断で使用、複製することはできません。
 - ・このプログラムは、使用する本人がバックアップの為にコピーする場合を除き、コピーすることを禁じます。
 - ・本書およびこのプログラムの運用上のトラブルについては、責任を負いかねます。
 - ・本書およびこのプログラムの内容は、予告なしに変更することがあります。
-

MassPlan for ARCHICAD Ver14 リファレンスマニュアル

2025 年 3 月初版

製作・発行

生活産業研究所株式会社

〒153-0043 東京都目黒区東山 1-6-7 フォーラム中目黒
